

地方史情報 139

2019年9月

P D F 版『地方史情報』『地方史研究雑誌目次速報』に
引き続きご支援、ご協力をお願いします。

前号で予告のとおり、冊子版『地方史情報』の終刊号をお届けします。

地方史研究雑誌の目次データを冊子体で提供するスタイルは、1973年11月、名著出版『月刊歴史手帖』の「地方史雑誌・文献目録」（後に「地方史雑誌文献目録」）に始まり、同誌が1997年2月号をもって休刊になった後、同年6月からは岩田書院『地方史情報』の「地方史研究雑誌目次速報」として、今日まで続けてきました。

長年にわたり雑誌をご寄贈くださっている全国の郷土史・歴史研究団体、そして読者の皆様に心より御礼申し上げます。

冊子体の良さは、手に取って通覧することの楽しみにあります。しかしその反面で、情報としての速報性に欠ける欠点があります。実際に本号収録データは、最新で2019年3月号も若干ありますが、多くは2018年10月から12月号で、1年近い遅れが生じています。

そのため、かねてより岩田書院のウェブサイトで冊子版発行後にP D F 版と、雑誌入手の便を図って発行所の住所・電話・URLを一覧化した「地方史研究雑誌データベース」を公開してきましたが、今後は冊子体の頁数や刊行頻度の制約も無くなりますので、更新頻度を年6回程度に高め、常に最新データをお届けできるようにします。是非ご活用ください。

<http://www.iwata-shoin.co.jp/>

現在、『地方史文献年鑑』2018を編集中です。次年版（2019年版）からは、『地方史情報』『地方史文献年鑑』の実質的な編集をしている白鳥舎の発行、岩田書院の発売となりますが、内容も体裁も変わりません。

全国の郷土史・歴史研究団体におかれましては、これまでと同様に岩田書院まで、研究雑誌の提供をお願いします。データ採録後は従来どおり明治大学博物館に収め、公開利用に供します。

「地方史研究雑誌目次速報」と『地方史文献年鑑』は、地方史研究雑誌記事を網羅的に一覧できる唯一の媒体です。引き続きご支援、ご協力をお願いします。

飯澤 文夫

地方史研究雑誌目次速報 飯澤文夫 編

*本誌に掲載した雑誌に関するお問い合わせは、発行元に直接お願いします。

北海道・東北

◆アイヌ語地名研究会会報

〒001-0017札幌市北区北十七条西1丁目
1-1 コーポ望103 TEL011-728-6400
年5000円

◇70 2018.11 B5 10p

はんどく、なんどく 難読地名(1)

伊藤せいち
蝦夷考 表 正彦
アイヌ語地名探訪記 本間 伸子
大友堀跡地を探索 渡辺隆・記

北海道遺産(第3回) 15件を追加

「松浦武四郎による蝦夷地踏査
の足跡」など

◇71 2019.1 B5 10p

釧路町の「クロマンタ」について

中野 克良
明石一紀さん逝去／明石一紀さん
の著作目録

川の名につけられたベツとナイの

解釈 山下 栄光
第21回研究大会における質疑に関
する補遺 中野 良宣

◆文化情報 北海道文化財保護協会

〒060-0002札幌市中央区北二条西7丁目
かでの2・7ビル9階 TEL011-271-4220
hokkaido-bunkazai.jp 1961年創刊

◇370 2018.11 A4 8p

蒸気機関車クラウス15号のいま 篠原 暁
道外文化財めぐり

松浦武四郎…を訪ねて 田山 修三

シーボルトの遺した日本収集品 舟山 廣治

道文化財保護功労賞 3団体に10

月23日贈呈 手稲郷土史研究会

／松前神楽北海道連合保存会／

えりも町郷土資料館N42°の会

北海道150年関連事業 子ども民

俗芸能全道大会 帯広市「大正

宮神楽保存会」、恵庭市「恵庭

岳太鼓保存会」、利尻富士町「南

浜獅子神楽保存会」、江差町「江

差追分踊り保存会」、松前神楽

「松前神楽北海道連合保存会」

「夕張炭鉱」のことはじめ

石炭の開発と地域の盛衰 青木 隆夫

お宝に見る、この北海道150年 武

四郎から拓銀の“たくちゃん”

まで 山田 雅也

博物館ひろば アイヌ文化探求の

入り口 平取町立二風谷アイヌ

文化博物館 関根 健司

◇371 2019.1 A4 10p

厳島神社(増毛町) ガラス絵馬

源頼光図 小野 卓也

第54回 北海道文化財保護功労

新たな出発点として

手稲郷土史研究会 永井 道允

次世代への伝承 松前神楽北海

道連合保存会 本間 清治

国史跡「猿留山道」と共に

えりも町N42°の会 新松 隆

国重要文化財追加答申 旧相馬家

住宅・旧笹浪家住宅「米蔵・文

庫蔵」

宮沢賢治記念館を訪ねて 舟山 廣治

第53回全道高等学校郷土研究発表

大会が岩内町で開催 本間 愛之

北海道の測量ことはじめ

伊能忠敬の蝦夷地測量 高木崇世芝

白虎隊士金子家英の生涯を追う 鈴木 仁

博物館ひろば 本物へのこだわり

ピリカ旧石器文化館 宮本 雅通

文化審答申 史跡に「チャシコッ

岬上遺跡」、登録文化財に「旧

肥田製陶工場」／道指定天然記

念物 ヌマタネズミイルカ化石

◆北海道れきけん 北海道歴史研究会

〒063-0037札幌市西区西野七条9-2-12

田中貢方 TEL011-667-2137

homepage3.nifty.com/tm3053/

◇86 2018.10 A4 12p

解散を決議 第35回定期総会(平

成30年度)／解散の理由及び残

務整理

(承前)「屯田兵」 橋本とおる

四四二部隊を知っていますか 田中 貢



*昨年5月に開催された第35回定期総会で、
会の解散が決議された。同会は、元「人物往
来」にあった歴史研究会(現、合資会社「歴
研」)が1980年代前半に各県単位で支部を作る

ことを呼びかけたことに応じてできた会のひ
とつだと聞いている。横浜歴史研究会『歴
研よこはま』(1984年創刊)、岐阜県歴史研究
会『歴研ぎふ』(同)、多摩歴史研究会『多摩
歴研紀要』(1985年)、兵庫歴史研究会『兵庫
歴研』(同)、歴史研究会埼玉支部『歴研さき
たま』(1986年)、歴史研究会京都支部(後に
京都歴史研究会)『京都歴研会報』(同)など、
全国で「歴研」の愛称のもとに立ち上げられ
たが、今ではそのほとんどが活動停止状態に
あるようだ。本誌の創刊は詳らかではないが、
ほぼ同じ頃であろう。

解散に当たっての付帯決議で、研究会が
あった証として、「解散の理由および残務整
理」が簡潔に記録されている。解散理由は、
①会員が減少し会として活動が困難になった
こと、現在会員は15名、うち長期入院等4名
で実質11名、②会員の増加は今後とも難しい
と思われること、③現会員も高齢であり活動
に制約があることである。最終頁には、これ
まで雑誌交換をしてきた団体名が列記されて
謝辞が記され、今後資料等は送らないで欲し
いとする。残念ではあるが、潔い身の処し方
であり、これまでの活動を労いたい。終刊号
の論考は、屯田兵制度の終末を記した橋本と
おる「屯田兵」と、第二次世界大戦時にアメ
リカの日系二世によって結成された「第442
連隊戦闘団」の足跡をたどった田中貢「四四
二部隊を知っていますか」である。日系二世
が「我々はアメリカ人だ」との誇りをもって
兵役に志願したことに胸を衝かれる。

◆北方民族博物館だより

北海道立北方民族博物館

〒093-0042北海道網走市潮見309-1

TEL0152-45-3888 1991年創刊 hoppohm.org

◇110 2018.9 A4 6p

第33回 特別展 North to the

Future 北方から未来へ一日
 本人が出会ったアラスカ 野口 泰弥
 特別展開連講座 北方アサバスカ
 ンの狩猟と名誉 講師：近藤祉
 秋氏・野口泰弥 野口 泰弥
 ロビー展開連講座 東シベリアと
 日本の狩猟文化 講師：田口洋
 美氏 中田 篤
 館長講座 コトバがなくなる？！
 言語の危機と博物館のかかわり
 津曲 敏郎

◇111 2018.12 A4 8p
 第33回北方民族文化シンポジウム
 網走「環北太平洋地域の伝統と
 文化3 カムチャツカ半島・千
 島列島」 中田 篤
 研修会 アイヌ文化資料取扱研修
 会 講師：神庭信幸氏 笹倉いる美
 ロビー展 平取町立二風谷アイヌ
 文化博物館巡回展 エカシの記
 憶を辿って～昭和のアイヌのく
 らし 吉本 裕子
 講座 エカシの語りをきく 講師
 ：川奈野一信氏・吉本裕子氏 吉本 裕子

◆八戸地域史
 八戸歴史研究会（発行：伊吉書院）
 〒039-1164青森県八戸市下長2-7-19 三浦
 忠司方 TEL0178-38-7376 1982年創刊

◇55 2018.12 A5 62p 800円
 口絵 斗南藩の植立証文
 八戸地域の産業構造の変化と将来
 の成長産業は何か—これからの
 八戸は—なんで食べていくの
 か？ 高橋 俊行
 二宮金次郎像と学校 小泉 敦
 八戸の漆—八戸藩の漆植立と漆か
 きの動向を中心に 相馬 英生

みじか史
 八戸藩の俵物と鰯製品について
 田名部清一
 夏目漱石著『永日小品・山鳥』の
 モデル 市川文丸について 山内 文子
 書評 三浦忠司著『海をつなぐ道
 —八戸藩の海運の歴史』 牛米 努

◆いわて文化財 岩手県文化財愛護協会
 〒020-0102盛岡市上田字松屋敷34
 岩手県立博物館内 TEL019-661-9688
 1970年創刊

◇276 2018.10 A4 12p
 文化財が語る郷土の歴史(2)
 佐藤耕雲画「地獄之図」 近藤 良子
 文化財の観光活用について 相原 康二
 原敬記念館開館60周年
 一節目の年を迎えて 山内 昭
 崎山貝塚縄文の森ミュージアム
 一施設紹介と縄文体験事業につ
 いて 安原 誠

わが町の歴史的建造物(1) 近代
 文化を伝える三ヶ尻の宝—千田
 正家住宅と旧知事公舎 浅利 英克
 洋野町史跡に指定された西平内I
 遺跡について 千田 政博
 北上山地民俗資料館小国分館の関
 所とその活動について 高橋稀環子
 国指定名勝 イーハトーブの風景
 地(5)「鞍掛山」 井上 雅孝
 被災地の発掘調査現場から(15)
 (室内整理・まとめ) 沢田III遺
 跡 阿部 勝則

◆国史談話会雑誌 東北大学国史談話会
 〒980-8576仙台市青葉区川内27-1 東北大
 学大学院文学研究科日本史研究室気付
 TEL022-795-6064 1957年創刊

www.salt.hokai.ac.jp/nihonshi/
 ◇59 2018.12 A5 96p
 文禄五年の地震による瀬戸内海周
 辺の状況 松岡 祐也
 近世新潟町の鮮魚商「助買」と他
 所漁船 安宅 俊介
 近代日本の道路整備
 一宮城県を中心に 鈴木 康太
 歴史通信
 青森県史編さんを終えて 古川 淳一
 紹介 今泉隆雄著『古代国家の地
 方支配と東北』 鈴木 琢郎

2018年度国史談話会大会記事
 研究発表要旨
 宮司制の再検討 五十嵐健太
 秋田藩における「町触」の伝
 達について 齊藤志帆子
 戊辰戦争期盛岡藩の箱館役人
 の動向 高橋 直道
 明治初期の政党結成一東北改
 進黨を事例として 川上 理瑛
 昭和天皇の東北地方「戦後巡
 幸」 伊藤 遼
 宝暦事件と仏教忌避 藤田 寛

公開講演
 近世・近代の旅行者たち—地
 域と「人間」への視座を求
 めて 青柳 周一
 中国都城と日本古代の都 吉田 欽

◆ナジェージダ(希望)
 石巻若宮丸漂流民の会
 〒236-0052横浜市金沢区富岡西2-21-23
 大島幹雄方 TEL045-773-4643
 deracine.fool.jp/wakamiya/
 ◇41 (vol.17) 2019.1 A4 40p
 特集 若宮丸漂流民展と漂流民ツアー
 地元の壮大なドラマを市民へ

「世界一周した初めての日本人
 ～若宮丸漂流記」講演会と展
 示会 阿部 綾
 漂流民ツアーを震災被災地復興
 に 若宮丸漂流民の足跡をた
 どるツアー第一弾報告 渡辺 豊
 ロシア秘境の旅—漂流民の足跡を
 追って 日本人漂流民の足跡を
 シベリアに追う(前編) オホー
 ツク 相原 秀起
 『環海異聞』の写本を訪ねて(2)
 早稲田大学所蔵の3冊 大島 幹雄
 私説私論 飛騨屋文書からロシア
 盆唄を考える 佐藤ミドリ
 サークスのち漂流民—サンクトペ
 テルブルグの夕焼け 大島 幹雄
 クルーゼンシュテルンよ、君はサ
 ンプランシスコまで行くべきだ
 ったのでは？ 佐藤三寿夫
 仙台藩蔵屋敷と幕府隠密松尾芭蕉
 —仙台堀と仙台堀川 木村 成忠
 新刊案内 『日本幽囚記IV フヴォ
 ストフとダヴィドフの航海』
 「文化露寇事件」への新たな視点
 大島 幹雄
 フヴォストフは悪者だったのか
 ？「日本幽囚記IV」を刊行し
 て 齊藤 智之
 自著紹介 『新編 鳥島漂着物語
 18世紀庶民の無人島体験』 小林 郁
 追悼 瀬之口政志さんを偲ぶ
 齋藤博／本間英一／大野康
 世／木村成忠／大島幹雄
 多賀丸漂流民の刺し子の服があっ
 た！ 佐藤ミドリ
 牡鹿半島漂流記(5)
 HOYAPAI GO TO FRANCE 太田 和美

◆秋田近代史研究会会報

〒010-1414秋田市御所野元町6-13-1
柴田知彰方 TEL018-807-3290 1958年創刊
www.geocities.jp/akitakindai01/kaiho.htm

◇181 2018.10 A4 2p

2018／総会・秋季研究会のお知らせ
佐藤豊「重伝建の取り組みと近代の増田」、高橋務「大正期秋田県の文化財保護小史」
第1回郡役所勉強会開催「稽へ」「振古」「三関風穴」「亜爾加里」「安母尼亞」

◆秋田民俗通信 秋田県民俗学会

〒010-0951 秋田県秋田市川尻大川町2-8
秋田文化出版内 TEL018-864-3322
1974年創刊

◇124 2018.12 B5 4p

最近整理したアーカイブ(2)
馬一軍馬鑑／銭独楽一玩具銭
(加工銭) 目黒 明彦

◆秋田歴研協会誌

秋田県歴史研究者・研究団体協議会
〒010-0951秋田市川尻大川町2-8 秋田文化出版内 TEL018-864-3322 1996年創刊
akita-nct.ac.jp/~wakino/rekiken.html

◇68 2018.10 B5 14p

表紙 葉隠墓苑(秋田市) 撮影・編集部

特集 春の歴史フォーラム「戊辰戦争Ⅰ 戊辰戦争の全体像」
軍事と人事から見た秋田戊辰戦争
畑中 康博
用語解説 辛労免(しんろうめん) 半田 和彦

歴史情報 自著を語る
『雪のことば辞典』 稲 雄次

◇69 2019.2 B5 16p

表紙 岩崎絵図(部分)

特集 春の歴史フォーラム「戊辰戦争Ⅱ 民衆にとっての戊辰戦争」
戊辰戦争の中の院内銀山を抱え
医師・門屋養安の日記から 茶谷 十六
秋田新田藩から岩崎藩、そして
岩崎県に一戊辰戦争とその後の政治体制変革の渦の中で 半田 和彦
用語解説 御役屋(おやくや) 半田 和彦
歴史情報 新刊紹介 佐藤見之輔
著『秋田・八郎湖畔の歴史散歩』
秋田文化出版編集部

◆菅江真澄研究 菅江真澄研究会

〒011-0909秋田市寺内兎桜1-5-55
古四王神社社務所内 TEL018-845-0333
1981年創刊
w2.amn.ne.jp/~sugae/masumi.html

◇91 2018.12 B5 16p

没後百九十年記念事業を終えて 小笹 鉄文
菅江真澄没後百九十年記念事業の報告
菅江真澄没後百九十年記念シンポジウム(兼)全国菅江真澄研究集会／交流会／墓前祭及び足跡探訪会

青森市浅虫地区に「菅江真澄歌碑建立」 深澤 恭仁

連載 真澄の一枚(23) 安田の三度栗と土昏・雁子浜の泥炭 『粉本稿』より(大館市立栗盛記念図書館提供) 菊地 利雄

図書紹介 石井正己著『菅江真澄と内田武志 歩けぬ探訪者の探求』

◆鷹巣地方史研究 鷹巣地方史研究会

〒018-3302秋田県北秋田市鷹巣町栄太田

照内喜久雄方 年2000円 1977年創刊

◇74 2018.11 A4 75p 1000円

表紙 河田太茂蔵(1902～1989)
巻頭言 この一年の歩みから 中嶋 俊彦
七日市長岐家文書の近世日記史料 栗原 健一

北秋田郡「小作慣行調査」にみる地主・小作人関係―前田村の小作慣行と小作争議に関連して 庄司 博信
地方史の手帳「ジャッコ」溜り 一故 城口健治氏談 桜田 俊
総会講演会 北秋田市の観光行政と地域活性化 講師：北秋田市 長 津谷永光氏 文責・中嶋俊彦
歴史教室 伊勢堂岱縄文館名誉館長講座 発掘人生 その1 講師：伊勢堂岱縄文館名誉館長 富樫泰時氏

現地研修 小田野直武 佐藤義亮
を訪ねて―内陸線角館への旅 佐藤 和博
随 想

藤原泰衡に関わる四神社巡り 桜田 俊
教育に情熱を注いだ河田太茂蔵氏 小塚 嘉七
笑い続けて三千年の岩偶 澤田 昌治
法学を究めた神成嘉光の生涯 小塚 嘉七
ひろば

世界文化遺産登録に向けて―伊勢堂岱遺跡ジュニアボランティアガイド活動報告 中嶋 俊彦
天皇陛下との思い出 吉岡 興

◆北方風土 北方風土社

〒019-1541秋田県仙北郡美郷町土崎字上野乙1-254 森本彌吉 TEL0187-85-4027
1980年創刊

◇77 2019.1 A5 172p 2000円

旧石器ねつ造事件と秋田考古

―その爪痕浅からず 神宮 滋

民俗学者・富永友治の遺稿、その光明と課題―没後五〇年にあたって 小田島清朗
雷神社について 稲 雄次
常陸江戸氏研究(1) 佐竹洞中の一員たる江戸洞の自立的発展と江戸真純の華麗なる在京活動 那珂 通義
香炉木橋と神明裁判のための研究 余滴一翻刻 二階堂南竹『秋田高清水之記』から抜粋 星野 岳義
民俗語の本義―「白羽の矢」「あわまき・栗蒔き」 松橋 由雄
「武器拝借願」秋田藩長兼取締・小野崎三郎の一考察(下)―「口上」にある銃砲及び弾薬の解説

佐藤真基夫
藩主佐竹氏の久保田領内参拝―佐竹氏の神祇信仰シリーズ完 神宮 滋
史料編 進藤貞吉著『道中記』(8) 解説・翻刻・注記・編集 相馬登

◆山形県地域史研究

山形県地域史研究協議会
〒991-8501山形県寒河江市大字西根字石川西355 村山総合支庁西村山地域振興局
山形県総務部学事文書課分室 県史資料室内 TEL0237-83-1215 年2000円

◇44 2019.2 A5 89p 1000円

明治維新と尾花沢の動向 横山 昭男
古代木駅「野後駅」擬定地駒籠橋跡の発掘調査について 阿部 明彦
延沢城跡のレーザ測量と縄張図 大類 誠
鮭延愛網の政治動向と最上氏権力

胡 偉権
江戸時代における地方豪商の社会貢献活動について 横田 福子
出羽国村山郡における近世の備荒

貯蓄 栗原 健一
横山本郷雑記帳 飛渡 良子
『昭和からの玉野』を刊行して 高橋 亘
「画文集 昭和の記憶」を刊行して

小野 正敬
「尾花沢雅楽」の再興に携わって 鈴木 勲
第44回総会・研究大会の概要 文責・山内励
追悼 大友義助さんを偲ぶ 横山 昭男

◆福島県史料情報 福島県文化振興事業団
〒960-8116福島市春日町5-14
TEL024-534-9193 2002年創刊
www.history.fcp.or.jp

◇52 2018.10 A4 4p
蒲生秀行が裁定した大沼郡の山論
蒲生秀行家奉行人連署裁許状 渡邊 智裕
伊達郡森山村佐久間家と神道無念
流戸賀崎暉芳 小野孝太郎
村人たちの戊辰戦争(6) 山田 英明
会津郡叶津村における戊辰戦争の
影響 小野孝太郎

西南戦争『戦闘履歴』別働第三旅
団の戦い 藤谷 誠
朝倉鉄蔵に相談した朝河正澄 渡邊 智裕

◇53 2019.2 A4 4p
新田岩松氏と金井阪三十六騎
文政10年7月付岩松道純証状
(金山金井阪三十六騎後裔也) 小野孝太郎
大沼郡大谷村

薬師堂差図について 渡邊 智裕
近世の女性と湯治の旅 小野孝太郎
名主の交代と文書の引継 山田 英明
西南戦争『戦闘履歴』
豊後口警視隊の戦い 藤谷 誠
日本赤十字社
福島県委員部の設置過程 渡邊 智裕

◆ふぉーらむ・F 福島県民俗学会
〒965-0807福島県会津若松市城東町1-25
福島県立博物館内 2011年創刊
fukushimafolklore.jimdo.com

◇9 2019.2 A4 4p
研究会報告 平成30年度東北地方
民俗学会合同研究会「行政の民
俗調査と報告書を考える」 大里 正樹
研究会報告 地域持ち回り研究会

「いわきの暮らしと民俗学者」山口 拓
noteから 勿来関文学歴史館 企
画展「いわきの雛の吊し飾りー
塩屋呉服店の「おつるし物」」
福島県内文化財の動き 伝統を守
りつつ新しい出発を果たした
「百矢祭り」 丹野香須美
Column 相馬野馬追を深く見つ
めて12年ー30年分の野馬追映像
を編集して 板倉 世典

関 東

◆茨城の民俗 茨城民俗学会
〒310-0036茨城県水戸市新荘2-8-16
今瀬文也方 TEL029-231-4665 年3000円
1963年創刊 www.minzoku.net

◇57 2018.11 B5 128p
茨城民俗学会代表理事に就任して
飯村 保

《特集 盆》
昭和から平成の現在までの盆の変
遷ー久宅と私の住む今泉(土浦
市)を中心として 久家けい子
城里地域の盆行事 飯村 保
盆舟流し・精霊流し 大森 政美
盆行事を中心とした特色ある民俗
事象 清水 亨桐
七つの祝いと七五三
ー常総地方を中心に 松崎 憲三

茨城における浜降り祭の起源(1) 黒澤 雅博
行方市山田の祇園祭り「暴れ神輿」

近江 礼子
寺社の大同年間創建伝承(2) 松崎健一郎
妙見信仰と高萩市の妙見祭 大森 政美
鹿島神宮物忌の大生神社参向の道

程 清水 秀世
茨城のまつり見聞録(2) 長江 慶治
久慈郡「國造及郡家廳址碑」と水
戸学 樫村 弘明

茨城県の石仏・石塔研究の濫觴ー
『茨城の民俗』第八号 県内の
石仏・石塔等特集をめぐって 飯村富美子
言い伝えを破ると崇りがあった
ー吉田古墳のこと 菊池 敏明
今瀬文也先生へ
お別れの言葉、想い出など

照山洋／西野虎之介／人見實徳／
鶴尾能子／飯塚信久／大森政美／
百地康／近江礼子／黒澤雅博／萩
野谷順／加藤高蔵／板垣久美子／
武石堯／戸嶋禮助／高信幸男／清
水亨桐／谷萩八重子／先崎千尋／
木村則義／齋藤真人／兵藤保／巽
保三／林京子／木本信男／今瀬美
世／畑中武利／佐藤不二也／入江
宣子／大竹幹夫／樫村弘明／藤田
政大／一色史彦／川井禮子／小田
部富子／渡辺一夫／飯村富美子／
立石尚之／中村彦蔵／市川僂男／
中野林平／板場稔／濱田憲一／光
野志のぶ／渡辺敦子／御供文範／
久家けい子／須田文子／平宗子／
林孝／吉田憲司／伊藤勝彦／後藤
安希子／岡崎重子／瀧川三雄／石
月ひろ子／川又勝一／篠崎隆／立
原節子／城戸義明／河原井忠男／
大蔵倫博／駒橋一俊／成田勝泰／

佐久間久枝／野上光子／樫村彰／
黒坂清子／飯塚良哉／安綾子／相
澤冬樹／根本淳子／大串啓子／宮
崎博子／大久保純子／飯村保

「宍戸」の歴史と文化を歩く
第四回臨池研修 報告・松崎健一郎

◆近代史料研究 日本近代史研究会
〒305-8571茨城県つくば市天王台1-1-1
筑波大学歴史人類学系 中野目研究室内
TEL029-853-4066 2001年創刊

◇18 2018.10 A5 82p
『押切帳』考証ー「学問所改」(昌平
坂学問所の検閲)における改済
台帳の紹介 大沼 宜親
「誌友交際」と地方雑誌ー小木曾
旭晃『地方文芸史』の史料批判
を通じて 長尾 宗典
雑誌『新佐渡』の創刊ー大正期の
佐渡に関する基礎資料の分析 大庭 大輝
三宅雪嶺による『王陽明』の訂正
増補 中野目 徹

◆史 境 歴史人類学会
〒305-8571茨城県つくば市天王台1-1-1
筑波大学人文社会系内
TEL029-853-4047/4403 1980年創刊

◇76 2018.9 A5 85p 2000円
講演 正倉院ガラス器の故地 吉澤 悟
死を取り巻く環境変化の受容
ー鹿児島県与論島の事例から 菊 凜太郎
「特異な彫刻文のある」腕輪形石
製品の諸問題 久永 雅宏
社会学者・喜多野清一の履歴と調
査歴ー一年譜の提示と分析 武井 基晃

◆水戸史学 水戸史学会
〒310-0852茨城県水戸市笠原町979-42

但野正広方 TEL029-243-6910 1974年創刊
◇89 2018.11 A5 92p
記念講演要旨 「バンクーバー朝
日軍」 伝説の日系人野球チー
ムその歴史と栄光
テッド・Y・フルモト(古本喜庸)
蒲生君平生誕二五〇年・明治維新
一五〇年記念 明治維新に果た
した水戸黄門・蒲生君平の役割
阿部 邦男
水戸と金沢文庫―「後醍醐院百ケ
日御願文」をめぐる 梶山 孝夫
『大日本史』食貨志編纂における
倉庫令復原研究(補注一) 渡邊 拓也
「水戸城下屋敷割圖」に水戸藩士
を追う(5) 齋藤 郁子
新刊紹介 堀井純二氏著『『大日
本史』本紀の『日本書紀』研究』
梶山 孝夫

◆鹿沼史林 鹿沼史談会
〒322-0031栃木県鹿沼市睦町287-14 鹿沼
市立図書館内 TEL0289-64-9523 年3000円
1954年創刊 tochigi-vnpo.net
◇57 2018.2 B5 46p
鹿沼の苺栽培の先駆者 福田 純一
下粕尾「天狗沢城」「大越路古城」
「松崎城」について 恩田 浩孝
鹿沼の空爆と罹災 中島 正
百字真言鐘と南摩正蔵院 國立 恵俊
上粕尾のマンガン鉱山 安生 信夫
◇58 2019.2 B5 54p
半田富三「助役日記」 福田 純一
「下野製麻」の動力について 中島 正
二宮金次郎と鹿沼 富久田滋子
不二道孝心講の足跡 駒場 一男
元禄文化再見 國立 恵俊
資料紹介 天神坐像 北口 英雄

◆那須文化研究 那須文化研究会
〒329-2752栃木県那須塩原市三島5-1
那須野が原博物館 TEL0287-36-0949
1987年創刊
◇32 2018.12 B5 99p
石ぐらを利用した古環境解析の試
み 伴敦志／伴那津実
栃木県大田原市城館分布調査報告
(1) 山川 千博
〈大田原市黒羽地区プロジェクト調査報告書〉
織豊期の下野国黒羽城主大関氏発
給文書等について 新井 敦史
近世前期における矢倉・佐良土河
岸争論 大高 純一
二人の国文学者と「くろばね」
―記憶を記録に 小林 聖夫
大名家文書大関家文書は語る(17)
―(元治元年)十月二日付「浮浪
相果御届」 新井 敦史
地方文書は語る(17)―黒羽藩「横
沢陣屋廻状」について 高根沢広之
新刊紹介 『近世下野の生業・文
化と領主支配』下野近世研究
会編著 中村 悟
栃木県文献一覧(2017追録)(2018)

◆歴文だより 栃木県歴史文化研究会会報
〒320-0865栃木県宇都宮市睦町2-2
栃木県立博物館内 TEL028-634-1313
年4000円 1991年創刊
◇109 2018.11 A4 4p
《特集 第二八回大会報告
下野国から見る幕末・明治の社会》
第二八回大会 開催報告 堀野 周平
野村晋作氏報告「幕末期旗本知行
所にみる自警の展開―旗本畠山
氏と「愿蔵火事」を聞いて 仲沢 隼
小林紀子氏報告「武州金沢藩と下

野の村々―慶応四年を中心に」
を聞いて 平野 哲也
西村陽子氏報告「明治初期の地方
制度変遷に伴う村方文書の引継
ぎについて―栃木県内の事例か
ら」を聞いて 山本 訓志
開催中の企画展案内
大田原市那須与一伝承館 開館
11周年特別企画展「那須与一
の軌跡―中世那須氏のあゆみ」
重藤 智彬
栃木県立博物館 第122回企画
展「藤原秀郷―源平と並ぶ名
門武士団の成立」 山本 享史
◇110 2019.1 A4 4p
《特集 描かれた絵を資料としてみる》
他に類例のない「渡辺清絵日記」中野 英男
近代を描く『風俗画報』研究資料
となり得るのか 石井 和帆
新刊紹介 竹澤謙著『丸山瓦全
とちぎの知の巨人』 石川 明範

◆群馬文化 群馬県地域文化研究協議会
〒372-0831群馬県伊勢崎市山王町38-38
前澤和之方 年4000円 1957年創刊
blogs.yahoo.co.jp/gunmabunka/
◇335 2019.1 A5 96p
群馬県医学校とその生徒について
―明治前期の医学校設立による
地域医療への影響 須長 泰一
平安次第上野国の大災害と大般若
経書写―『類聚国史』『中右記』
そして『安倍小水磨経』 飯塚 聡
岩櫃城の総合調査と保存活用 吉田 智哉
吾妻の高野長英門下生 山口 通喜
動向「群馬満蒙開拓を語り継ぐ
会」学習会 東宮 春生
ぐんま絹遺産紹介(9)

永井流養蚕伝習所実習棟・永井
いと像(片品村) 金子 学
太田市新田猫絵コレクション
(太田市) 須永 光一
新刊紹介
今井昭彦著『対外戦争戦没者の
慰霊―敗戦までの展開―』 丑木 幸男
時枝務著『山岳霊場の考古学的
研究』 関口 功一
遠藤ゆり子著『中近世の家と村
落』 藤井 茂樹
口絵 新田岩松系図―群馬県立歴
史博物館蔵品資料(136) 森田 真一

◆群馬歴史散歩 群馬歴史散歩の会
〒379-2154群馬県前橋市天川大島町317-1
TEL027-223-2785 年4500円 1973年創刊
www.l6.plala.or.jp/kuzira226/
◇256 2018.10 A5 57p
口絵 有栖川宮記念公園 井野 修二
群馬の市街地学ハイキング(7)
館林市コース 館林市多々良沼
のなりたちと人々の生活
矢島祐介／中島啓治／中村庄八
／金子稔／大塚富男／大澤澄可
第二の新撰組(剣武隊)はなかった 松本 孝義
熊谷・群馬県職員 吉田嘉蔬のこ
と 井野 修二
高山彦九郎日記による歴史散歩
(62)『北行日記』(21) 正田 喜久
支部だより 藤岡支部 越後のミ
ケランジェロと良寛の里 輿水 泉
歴史散歩の報告(事務局企画)
高野山と吉野山(和歌山・奈良
県) 山崎 正
縄文の宝庫 ハヶ岳山麓(長野
県) 山崎 正

◇257 2019.1 A5 57p
 口絵 平成という地名 井野 修二
 群馬の市街地学ハイキング(8)
 沼田コース 郷土の地球史丸ごと見学 中村庄八／中島啓治／矢島祐介
 『白衣観世音建立之趣旨書』余話
 (1)一依頼は建立之趣旨書だけではなかった 田口 正美
 生田萬の乱 関甲子次郎著『生田の旗風』より 関 久
 大室城と長尾景春・その子孫 浜岡 宗一
 高山彦九郎日記による歴史散歩(63)『北行日記』(22) 正田 喜久
 歴史散歩の報告(事務局企画)
 上野国分寺と総社古墳群 山崎 正
 旅 南米ペルーのできごと 山崎 正

◆武尊通信 群馬歴史民俗研究会
 〒372-0031群馬県伊勢崎市今泉町1-1046-4
 板橋春夫方 1979年創刊

◇156 2018.12 B5 4p
 三方領知替をめぐる宿場の混乱 秋山 寛行
 近世倉賀野宿の特異性 中山 剛志

◆熊谷市郷土文化会誌
 〒360-0044埼玉県熊谷市弥生2-32 中村友多佳方 TEL048-521-1024 1957年創刊

◇74 2018.11 A5 88p
 熊谷県の設置と廃止・そして二人の県令一熊谷駅(町)での出来事を中心に 鯨井 邦彦
 「熊谷市鳥瞰図」と石原地内の製糸関連施設について(1) 平井加余子
 箕輪村の検地帳 岡田 辰男
 庚申塔は三ヶ村の境界だった 馬場 國夫
 江戸時代後期の彫物師 小林源太郎の足跡(3) 小池 博
 思い出深い香林寺 関口 一男

旧代村屋台 百年ぶりの復元 鯨井 正雄
 熊谷直実と須磨寺 柴崎 一正
 総務委員会活動報告 小池 博
 研修委員会活動報告
 平成29年度第三回研修会
 熊谷の自由民権運動と杉山藤次郎 鯨井 邦彦
 平成30年度第一回研修会
 石原地区の歴史、他 平井 隆
 平成30年度第二回研修会
 激動の明治期の日本史 鯨井 邦彦
 旅行委員会活動報告
 浜松方面の歴史探訪 林 昌己
 小幡郷と上州方面 松葉 定市
 研究委員会活動報告
 神社本殿の建築様式 平井 隆
 定期総会の記録 平井 隆
 「幡羅官衙遺跡群」が国指定史跡に
 調査研究報告「熊谷市内の神社の建築様式について」 調査研究委員会

◆埼玉史談 埼玉県郷土文化会
 〒339-0053さいたま市岩槻区城町1-7-15
 飯山実方 TEL048-757-0284
 年4000円 1929年創刊

◇328 (64-3) 2019.1 A5 36p
 埼玉県内の無縫塔について 四方田 悟
 野与党大蔵氏の一族分業 山野龍太郎
 自警妻沼町警察署略記 佐藤 繁
 資料紹介
 恵比須顔と閻魔顔 佐藤 繁
 『相模武蔵二州図』について 飯山 実
 口絵写真説明 河津省庵肖像画
 熊谷市冑山 根岸友憲氏蔵 佐藤 繁
 表紙写真説明
 石造香炉 寄居町鉢形 (四方田)
 第685回例会 春日都市見学 高橋 武夫
 第686回例会 吉見町見学 高橋 武夫

第688回例会 志木市見学 高橋 武夫
 新刊紹介
 埼玉の延喜式内社
 著者：森田悌 (飯山)
 幻の武州八十八霊場 埼玉の古寺を訪ねて 著者：大館右記 (飯山)

◆埼玉地方史 埼玉県地方史研究会
 〒330-0063さいたま市浦和区高砂4-3-18
 埼玉県立文書館内 TEL048-865-0112
 年3000円 1975年創刊
 saitama-chihoshii1952.blogspot.com

◇74 2018.12 A5 45p
 秀郷流藤原氏の大田氏と鎌倉幕府 山野龍太郎
 天保期以降の根岸友山・武香父子の軌跡一二度の捕縛の顛末 内田 満
 秋蚕事件の経緯と白根多助県令の対応 諏佐 成紀
 コラム 地方史の広場
 犬の馬場という地名 高柳 茂
 新刊紹介 埼玉県地域史料保存活用連絡協議会編『自治体史編さん以降の地域史料管理』 大橋 毅顕

◆昔風と当世風 古々路の会
 〒343-0027埼玉県越谷市大房1006-4-410
 津山正幹方 TEL048-976-9387
 1973年創刊

◇103 2018.12 B5 206p
 《兵庫県美方郡香美町村岡地区合同調査特集》
 「天空の村」の自然環境と暮らし 松田香代子
 天空の村・香美町祖岡地区の合同調査を終えて 森 隆男
 祖岡に生きて九〇年
 ある古老の軌跡 河合 久和
 女性の労働一兵庫県美方郡香美町

村岡区大字祖岡の事例 早川美奈子
 祖岡わさびの話 谷川 隼也
 ライフヒストリーからみる祖岡の暮らし 菊池 恭平
 山が育む食物誌 山崎 祐子
 祖岡の住まい雑感 採図・文 宮崎勝弘／聞き取り 宮崎玲子
 祖岡の民家と古文書「大照山論」 椿原 佳恵
 蔵に込められた「家」の意識 森隆男／劉羽虹
 但馬祖岡の年中行事など 関 廣好
 兵庫県美方郡香美町村岡区祖岡の年中行事と境界・地名 西連寺 匠
 兵庫県美方郡香美町村岡区祖岡での聞き取り調査 森岡 弘典
 祖岡の今昔 林 奈菜子
 祖岡での出会い 下境 芳典
 祖岡からみる婚姻儀礼 清水 智子
 祖岡へき地保育所
 一兵庫県美方郡香美町 むらき数子
 祖岡で行われてきた弔いの習俗 西尾 嘉美
 但馬杜氏、嫁入り道中唄、ムラ境論争の開書一兵庫県美方郡香美町祖岡 佐志原圭子
 祖岡の歌 茶谷恵理子
 祖岡の民俗芸能 柴田 久徳
 歌がとりもつ芸踊りと酒造り 北河 直子
 村に伝わる芸能とこれから 安田 悠莉
 祖岡の農業と民具 溝辺 悠介
 「地域産業」としての祖岡のくらし
 一聞き取り調査と民具調査から 茶谷まりえ
 兵庫県美方郡香美町村岡区祖岡の交易・交通と狩猟 鈴木 秋彦
 天空の村に居住する一兵庫県美方郡香美町村岡区祖岡 津山 正幹
 村岡区祖岡探訪記 五十嵐 稔
 民俗学と研究会活動(4) 地方“発”

民俗学研究の先駆け「土の鈴会」	今野 大輔
追悼 長野晃子さん	
長野さん“最後の手紙”	五十嵐 稔
長野晃子先生を偲ぶ	森 隆男
長野晃子先生を悼む	森岡 弘典
長野晃子さんからいただいたもの	むらき数子
啓示と導き	
長野晃子先生を偲ぶ	関 廣好
長野晃子さんありがとうございました	鈴木 秋彦
長野晃子先生の思い出	谷川 隼也
長野先生追悼文	
一神輿を担ぐロボット	下境 芳典
追悼・会の後ろ楯の長野晃子さん	津山 正幹
長野晃子さんの代表著作本／長野晃子さんの合同調査への参加／長野晃子さんの『昔風と当世風』への掲載論文・報告	
ニュースから(1)～(20)	
津軽もつけのムラ の調査から	
第四五回合同調査の報告	神 かほり
◆我孫子市史研究センター会報	
〒270-1132千葉県我孫子市湖北台5-15-17	
岡本方 TEL04-7149-6404	
abikosisiken.main.jp	
◇201 (通508) 2018.11 A4 18p	
特集 会報第200号発行を記念して	
会報第200号発行を記念して	東 日出夫
平成13年(2001)市史研再スタート	
	荒井 茂男
編集した200号たち	岡本 和男
会報第200号を記念して	関口真喜子
市史研月報第200号記念	
一失われた5年間	田中 康弘

会報第200号発行を記念して	中嶋 正義
会報第200号発行を記念して	吉田 忠義
我孫子北近隣センターとの共同企画「講演とまち歩き」開催	金成 典知
我孫子の社寺を訪ねる(33)	
日秀地区(1) 将門神社	山本 包介
歴史探訪部会 11月の活動報告	
歴史探訪：街歩き「かまくら道湖北の古道に行く」	長谷川秀也
◇202 (通509) 2019.1 A4 22p	
新年のごあいさつ	関口 一郎
我孫子古代史の魅力について	星野 征朗
ミニ講演会 開催報告「近代手賀沼の自然と人生」三谷和夫会員	宮本 研三
古戸天満天神宮の明治36年「奉額句集」	近江 礼子
我孫子の社寺を訪ねる(34)	
日秀地区(2) 観音寺	山本 包介
歴史探訪部会主催『新四国相馬霊場八十八ヶ所を訪ねる』出版記念「相馬霊場札所参り」満願成就	中澤 雅夫
「相馬霊場札所参り」に初めて参加して	菊田 征男
「我孫子助郷人馬出入一件留帳」を読み直す	金成 典知
『会誌創刊号』『体験記 私たちの戦中・終戦直後史』の制作進捗状況	谷田部 隆
歴史探訪部会 12月の活動	
相馬霊場の札所参り13	長谷川秀也
◇203 (通510) 2019.2 A4 10p	
市企画課へ郷土資料館について「意見書」提出！	東 日出夫
『我孫子の石造物』余話	
一今村昌人氏の野帳	近江 礼子
歴史探訪部会 2月座学の御案内	

「関宿」を、「地域構造」から探る一近世関東の内陸水路の物流	長谷川秀也
◇204 (通511) 2019.3 A4 12p	
歴史講演会「坂東の要 古代の我孫子を知る」を聴いて	宗岡 恒雄
歴史講演会「坂東の要 古代の我孫子を知る」を聴いて	石井 俊子
我孫子市中里の初午祭	近江 礼子
我孫子市における「大山信仰」(1)	近江 礼子
◆佐倉の地名 佐倉地名研究会会報	
〒285-0843千葉県佐倉市中志津6-21-13	
田中征志方 TEL043-489-7439	
年2000円 2012年創刊	
◇21 2019.1 A4 12p	
志津の地名について(9)	田中 征志
町の中に町有り	松平喜美代
地名を訪ねる会レポート 志津地名の残る「四街道を訪ねる」	平田恭一郎
印旛沼の岸辺と地名や字	千葉 智雄
私のイタリア旅行記	小川 眞資
古代社会と馬	瀬田 華貴
弥富の歴史あれこれ	
干鰯道(ほしかみち)	伊藤 清
◆史談八千代 八千代市郷土歴史研究会	
〒276-0046千葉県八千代市大和田新田452-20 鈴木康彦方 TEL047-459-2506	
年3000円 1976年創刊	
◇43 2018.12 B5 145p	
《特集 旧村下高野の総合研究》	
第1部 特集 旧村下高野の総合研究	
近世の下高野村	
下高野の概要	菅野 貞男
近世初期の臼井城主(下高野の領主)	青田 博之

領主川口氏の系譜と知行地・	
禄高	菅野 貞男
下高野村の検地・村高および年貢	斎藤 惇
下高野村の宗門人別帳にみる家族構成	青田 博之
下高野村棟梁家に伝わる「大工秘傳巻」	牧野 光男
天明3年の佐倉藩農民一揆と下高野村	小林 詔三
下高野村の神社と寺院	荒川 好弘
下高野の信仰と民俗	
今に伝わる民俗行事	畠山 隆
下高野のボンテン飾りと天道念仏	巖 由美
下高野の念仏	村田 一男
下高野のムラの石造物	巖 由美
郷土の偉才・小島泰堂	菅原 賢男
下高野の古代遺跡	田中 巖一
第2部 研究・活動	
八千代市の古代製鉄遺跡研究	田中 巖
大和田円光院の元禄七庚申塔の銘文などの補遺・訂正	巖 由美
歴史を楽しむ活動「歴史散策報告」	山口 忠
◆千葉史学 千葉歴史学会	
〒263-0022千葉市稲毛区弥生町1-33 千葉大学文学部内 TEL043-251-1111 年4000円 1982年創刊 chibareki.blog.fc2.com	
◇73 2018.11 A5 107p	
在豪接收日系企業記録の「里帰り」	安藤 正人
『金沢文庫研究』九九号の一齣	
一河合正治と永原慶二	佐藤 博信
旧侯爵木戸家資料のなかの桂小五郎・山尾庸三の佐倉来訪回想文	
書	土佐 博文

東金の相撲世話人伝十郎の探索 米谷 博
大網白里市デジタル博物館の公開
について 武田 剛朗
元龜年間における千葉氏と里見氏
の抗争に関する一考察―「長崎」
地名をめぐって 遠山 成一
近世後期における佐倉炭の生産と
流通―旗本戸田氏知行所の御林
を事例に 土屋 雅人
大会講演 社会科歴史教育論から
みた新学習指導要領―小中高を
通じた歴史学習の課題 鈴木 哲雄
新刊紹介
至徳堂を知る会編著『至徳堂物
語』 筑紫 敏夫
渡辺尚志著『殿様が三人いた村
葛飾郡幸谷村と関家の江戸時
代』 上條 静香
宮原武夫編著『続船橋の歴史散
歩』 山添 麻子
見城悌治著『留学生は近代日本
で何を学んだのか―医業・演
芸・デザイン・師範』 中澤 恵子
見学記
小津史料館見学記 吉田 武幸
町田市立自由民権資料館企画展
「「五日市憲法草案」と多摩の
自由民権」 矢嶋 毅之
例会報告
古代史部会 文責・石渡芳樹
近世史部会 竹中友亮／文責・小田真裕
千葉歴史学会第三七回総会・大会
報告
◆利根川文化研究 利根川文化研究会
〒101-8301東京都千代田区神田駿河台1-1
明治大学史資料センター 阿部裕樹気付
TEL03-3296-4329 1991年創刊

www7a.biglobe.ne.jp/~tonebun/
◇42 2019.1 B5 76p
皇居造営に伴う物揚場の整備と鉄
路、附道路整備―宮内庁宮内公
文書所蔵資料から 野中 和夫
慶長期の京都高瀬川開発に関する
文書について―山城国紀伊郡東
九条村長谷川家資料から 伊藤 康晴
幕末維新期における災害史料と下
総行徳―利根川東岸式覧の記載
を手がかりに 菅野 洋介
「常陸川」の再検討 原 淳二
巡検報告 利根川・布川地区の巡
検「布川河岸」を歩く 酒井 智晴
書評・新刊紹介
中根誠著『常陸 俳諧散歩―活
躍する遊俳たち』 古田 吉光
大館右喜著『幻の武州八十八霊
場 埼玉の古寺をたずねて』 村上 昭彦
煎本増夫著『いま、天皇を考え
る―再び戦争を起こさないた
めに』 阿部 裕樹
五十嵐行男監修・印西歴史愛好
会編『印西大師八十八か所め
ぐりで郷土の歴史を楽しむ』 村越 博茂
北原糸子著『日本震災史―復旧
から復興への歩み』 川名 禎
◆房総石造文化財研究会会報
〒275-0001千葉県習志野市東習志野5-30-4-
404 木原律子方 TEL047-473-3540
年3000円 1980年創刊
◇140 2019.1 B5 8p
12月 見学会参加記「鎌ヶ谷市栗
野・佐津間を歩く」 大塚 武彦
行事の報告
平成30年度 石仏ゼミナール
資料紹介 護王神社の猪 木原 律子

◆松戸史談 松戸史談会
〒270-0021千葉県松戸市小金原7-10-20
松田孝史方 TEL047-342-1764 年5000円
1961年創刊 www.matsudoshidankai.net
◇58 2018.11 B5 103p
巻頭の言葉
松戸が終の棲家になる 松田 孝史
源頼朝と“からめき”の瀬 花輪 茂道
小金地区の芭蕉句碑を訪ねて 脇坂 順雄
ナポレオン三世の馬
近代の身体性 古木 均
1920年代の村の生活と文化を伝え
る「土村文書綴」の紹介
棚井行隆／山野邊富士雄
松戸市幸田「明治5年の上知(ア
ゲチ)」 田嶋 昌治
江戸川左岸の新田開発を学ぶ 塩尻 英児
明治新政府の徴兵制と松戸 松田 孝史
明治維新と小金牧・佐倉牧の開墾
(2完) 瀧川 敦子
維新150年を想う 没150年新撰組
局長近藤勇 墓参 佐藤敬一郎
松飛台の今昔 中山 栄造
女体神社を知っていますか 鈴木 恵治
史談俳壇 脇坂順雄／松田孝史／石川
光学／花輪茂道／寺尾暁太
郎／田沼國男／塩尻英児
松戸市立図書館のこれまでを振り
かえる 松本 芽生
古墳時代における「上葛飾」の動
静 杉浦 隆之
松戸の境界性 荒木 知
がん患者「孤立させない」 小野塚利雄
小金一古墳の発掘調査 松田 孝史
東漸寺に二基旗本の墓碑 塩尻 英児
文化の灯、下谷に電灯ともる 塩尻 英児
文化祭 講演と芸能 プリンス・
トクガワの熱き夢(齋藤洋一)と

千葉大・落語研究会
松戸史談会勉強会 生街道(鮮魚
街道)について(要旨) 松田 孝史
定期総会後の講演 松戸地域の幕
末から明治への動き(要旨) 松田 孝史
松戸市民参加の勉強会・要旨(パ
ートナー講座) 紙敷が語る先
史のくらし―坂之台と中内遺跡
の発掘から 講師：松戸市教育
委員会学芸員 須賀博子氏 須賀 博子
松戸史談会会員勉強会(要旨)
プリンスとサーカス―徳川昭武
と高野廣八のパリ万博 古木 均
◆アーカイブ通信
ネットワーク・市民アーカイブ
〒190-0022東京都立川市錦町3-1-28-301
TEL042-540-1663 年6000円 2014年創刊
www.c-archive.jp
◇14 2018.11 A4 8p
市民活動資料―深読み・裏読み・
ナナメ読み 扉をこじあけた市
民たち―伊方原発行政訴訟と情
報公開 平野 泉
公開ディスカッション「原点」か
ら考える(4) 市民活動資料を
活用する!―市民アーカイブ多
摩の今後を見すえて
第4期緑蔭トーク報告
第2回 くになちの住民運動私
記 山家利子
第3回 戸籍と日本社会―「国
民」を縛り続ける制度 遠藤
正敬さん
ミニコミ紹介
緑と清流 川のしんぶん
玉川の自然を守る会 柴田 隆行
たまりば通信 楽えんだより

フリースペースたまりば 友兼 大輔
市民アーカイブ多摩の資料棚から
(10) 地域誌 増沢航／江頭晃子
私と市民活動資料(10) 人々が紡
ぎ、残した資料を後世に 齋藤 眞弘
記憶と記録の場をめぐる旅(12)
吉野作造記念館 記念館がつな
ぐデモクラシーの思想と行動 町村 敬志

◆あしなか 山村民俗の会

〒330-0854さいたま市大宮区桜木町4-201-2
塩野谷明夫方 TEL048-465-7818 年5000円
1939年創刊 www8.ocn.ne.jp/~sanmin/

◇313 2018.10 B5 52p

表紙解説 藤井長治郎・画「河童
と雑水」(紙芝居) 矢口 裕康
九州の河童、そして宮崎の河童
一聞き書き記録から 矢口 裕康
中江岩戸神楽の現在一阿蘇市波野

湯川 洋史

宿場町・大村松原付近の風習一昭
和三十～四十年代、旧長崎街道
沿いの暮らしと民俗 井上 義雄

宝満山覚書
一二、三の問題をめぐって 時枝 務
阿波の霊峰・剣山

一表口からの思い出 松家 晋
見島に日本在来和牛を探訪する
一山口県萩市 山田 哲郎

隠岐島前「海上の神火」一焼火神
社探訪の回想と山村民俗の会 岡倉 捷郎
山里だより(29) 死を予知した話

一丹波美山から 西浦 左門
旅の草ぐさ(26) 女は神人、男は
海人一沖縄・久高島 杉崎満寿雄

「山村民俗の会」創立八十周年に
寄せて
“あしなか”との出会い 伊東 洋子

『あしなか』の思い出 岸 茂三
記念切手 小海 敏雄
足半は野山に似合う 杉崎満寿雄
首から上の「イシガミ問答」 関 啓司
祝・八十周年に寄せて 滝沢 禮子
親父の思い出 宮崎 孝志
『あしなか』と私 柳生 康史
山村民俗の会創立八十周年を祝
う 矢吹 一幸
小野洸さんのこと 山田 哲郎

文献紹介 ヒナタ族とカゲ族一人
間とは何か 青木自由治著
◇314 2019.2 B5 18p

表紙解説 北条時宗版画「清戸の
金山様」(清瀬市中里) 編集室
松平定信制作・谷文晁画筆『公余
探勝図』(後編)一誕生の時代的
背景と、描かれた風景をさぐる
(3) 鷲頭 隆

赤井温泉の話
一横浜市金沢区釜利谷東 大喜多紀明
「北条性神版画」と『永江写真』
一『あしなか』一六八輯・表紙
絵の正体 関 啓司
事務所余話(2) ある沼の冬景色 塩野谷明夫
文献紹介 民俗に学んで六〇年一
純粹培養民俗学徒の悪戦苦闘
福田アジオ著

◆解放研究／明日を拓く

東日本部落解放研究所
〒111-0024東京都台東区今戸2-8-5
TEL03-5603-1863 1993年創刊
www.hblri.org

◇30/117 (43-2 通200)

2018.10 A5 195p 2000円
一茶の世界から詠む被差別民
長吏・かわた 太田 恭治

近世下野国の被差別民
一字都宮藩の実態 武末 広美
『旧大宮市域小頭家文書』と五反
田・古文書を読む会
『旧大宮市域小頭家文書』と五
反田・古文書を読む会につい
て 吉田 勉
史料『旧大宮市域小頭家文書』
付・史料リスト

石井昭一郎・松本勝・吉田勉 編
五反田・古文書を読む会に参加
して 石井昭一郎／伊藤淳二／大橋友
子／瀬尾健／多久彰紀／平嶋彰彦／
古河邦子／古河誠／松本勝／吉田勉

部落解放同盟埼玉連大宮市部長
松島一夫さんに聞く 松本 勝
五反田・地域コミュニティを知
る 松本 勝

◇118 (43-3 通201)
2018.12 A5 94p 1000円

《特集 石田貞さんを偲ぶ》
石田貞さんを偲ぶ
一特集にあたって 松浦 利貞
石田先生の思い出 片岡 明幸
石田貞さんを偲んで キム イル
追悼 石田先生から学んだこと 中條 克俊
石田先生 本当にありがとうございました
いました 須永 規彦
埼玉の部落の歴史と実態

埼玉県同和教育研究協議会
武州吉見領を歩く一鈴木家文書に
見る番人の実態 石田 貞
東日本部落解放研究所第三三回総
会記念講演
被抑圧衆との交流三〇年
一人権の普遍性を問われて 安田 耕一
インドを理解するための用語

◆足立史談

足立区教育委員会足立史談編集局
〒120-0001東京都足立区大谷田5-20-1
足立区郷土博物館内 TEL03-3620-9393

◇609 2018.11 A4 4p

大千住 美の系譜展から 名倉素
朴翁と柴田是真《神楽採物図》
郷土博物館(多田・奥村)

道具としての屏風 奥村麻由美
はい、文化財係です。(5)

救われた江戸時代の道しるべ 佐藤 貴浩

◇610 2018.12 A4 4p

千住の狂歌師 関屋里元について
(大千住展図録原稿補遺) 山崎 尚之
寿装としての「源氏香」

一村越向栄《双鶴図》 畑江 麻里
はい、文化財係です。(6)
千住宿高札 佐藤 貴浩

◇611 2019.1 A4 4p

8メートルの百獣図
一千住掃部宿石出家資料から 多田 文夫
千住に残る狩野派の足跡

石出家資料の粉本 小林 優
はい、文化財係です。(7)
足立区の埋蔵文化財 佐藤 貴浩

◇612 2019.2 A4 4p

戦後足立の芸術家 漫画家にして
水彩画家、丹野雄司 小林 優
行政文書に見る足立区の水害記録

(1) 山崎 尚之
はい、文化財係です。(8)
本田家文書 佐藤 貴浩

◇613 2019.3 A4 4p

昭和二十五年頃の東濶江小学校(1)
渡邊 梅子
行政文書に見る足立区の水害記録

(2) 山崎 尚之
企画展「戦国足立の三国志」 宮城

氏・舎人氏・武蔵千葉氏」キャラクター登場！

◆足立史談会だより
〒120-0001東京都足立区大谷田5-20-1
足立区郷土博物館内 TEL03-3620-9393

◇368 2018.11 A4 8p
終戦直後の日本の教育改革の原点
米国教育使節団の報告書(31)
続・編 堀川和夫
保存樹が見てきた町の歴史
ヒイラギ(舎人氷川神社境内)
練馬郷土史研究会会報「勝海舟からみた西郷どん」―七月例会の報告(10月10日から転載)／勝海舟あつての西郷(矢沢)
埋没した戦後の記憶双書Ⅰ
中小企業態だった頃の本造二回建足立区役所物語(3) 千寿陰士著
河合栄治郎墓の清掃 青山霊園・河合栄治郎墓 参加者：学童疎開の会 木嶋孝行会長・堀川・相川・矢沢
葛西離子について
郷土芸能大会に関連して
◇369 2018.12 A4 8p
終戦直後の日本の教育改革の原点
米国教育使節団の報告書(32)
続・編 堀川和夫
保存樹散歩 保存樹が見てきた町の歴史 常善院のメオトイチョウ、興野神社のイチョウ
11月探訪 武蔵国国衙を訪ねる
埋没した戦後の記憶双書Ⅰ
中小企業態だった頃の本造二回建足立区役所物語(4) 千寿陰士著(安藤義雄)

埋没した戦後の記憶双書Ⅱ
続・中小企業態だった頃の本造二回建足立区役所物語(1) 千寿陰士著(安藤義雄)
◇370 2019.1 A4 8p
終戦直後の日本の教育改革の原点
米国教育使節団の報告書(33)
続・編 堀川和夫
こんな活動もしています 史談会内外での郷土史学習 淵江地区ウォーキングと歴史散歩 伊藤 博
1月探訪 七福神を歩く 深川案内・永田俊夫さん
埋没した戦後の記憶双書Ⅱ 続・中小企業態だった頃の本造二回建足立区役所物語(2) 千寿陰士著(安藤義雄)
◇371 2019.2 A4 8p
小さな神社のちっちゃな行事
ちびっこ豆まき大会
終戦直後の日本の教育改革の原点
米国教育使節団の報告書(34)
続・編 堀川和夫
「学童疎開」から学ぶ
花・ツマモノ栽培 博物館制作のビデオから学ぶ「本来のセリづくり」「足立の花卉栽培」「栗原のツマモノ栽培」
埋没した戦後の記憶双書Ⅱ 続・中小企業態だった頃の本造二回建足立区役所物語(3) 千寿陰士著(安藤義雄)
ちょっと一息・いかが
一八歳と八一歳
◇372 2019.3 A4 8p
終戦直後の日本の教育改革の原点
米国教育使節団の報告書(35)
続・編 堀川和夫

こんな活動もしています 史談会以外での活動 今回は永田俊夫さんです 紅葉の保存樹林など案内
流山を歩く／一茶 流山にて詠む
埋没した戦後の記憶双書Ⅱ 続・中小企業態だった頃の本造二回建足立区役所物語(4) 千寿陰士著(安藤義雄) 第十一話 天皇皇后両陛下のお成り／第十二話 斎藤区長の区葬
埋没した戦後の記憶双書Ⅲ 続々・中小企業態だった頃の本造二回建足立区役所物語(1) 千寿陰士著(安藤義雄) 再度のモノローグ／第一話 二十三区を悩ませた米山さん

◆あるむぜお 府中市郷土の森博物館
〒183-0026東京都府中市南町6-32
TEL042-368-7921 1987年創刊
www.fuchu-cpf.or.jp/museum/
◇126 2018.12 A4 8p
水とともにくらしのむかし(3)
鵜飼でアユ獲り 佐藤 智敬
最近の発掘調査 カイコの病原体検査に使った乳鉢 宮西町二・五丁目、片町二丁目 湯瀬 禎彦
NOTE 郷土の森博物館における小学校利用 本間 隆幸
府中の身近な昆虫絵巻(3)
蝶の冬越しフォーム 中村 武史
展示会案内 特別展 あしもとネイチャーワールド 渡る冬鳥大捜査線 中村 武史
史料に見る府中の事件簿(3)
是政村 VS 菅村 花木 知子

◆板橋史談 板橋史談会
〒174-0075東京都板橋区桜川2-27-3
大澤鷹邇方 TEL03-5398-2682 1966年創刊
www.sites.google.com/site/itabashishidankai/
◇298 2018.11 B5 16p
表紙写真解説 節分会 天祖神社
写真と文・井上富夫
戦時中の千社参り・鎮守様・氏子様 石塚 輝雄
六蔵祠供養祭 井上 富夫
私の思い出写真(2)
「三つ葉を川で洗う夫婦」 石田 太郎
板橋文化財便り 旧粕谷家住宅
「秋の収穫祭」室礼教室 長能由紀子
地域図書紹介 『板橋マニア』板橋区監修(フリック・スタジオ)
文責・井上富夫
◇299 2019.2 B5 24p
表紙写真解説 上赤塚氷川神社の田遊び 写真と文・井上富夫
文化財保護報法が改定された頃
一板橋区西台遺跡調査異聞 小林 保男
板橋区向原第二住宅団地建設の頃 桜井美代子
『惜別の歌』と東京第二陸軍造兵廠 井上 富夫
板橋区民文化祭史跡巡りに参加して 佐野 温子
思い出の庚申様に再会して―史談会に入って良かったこと 加藤百合子
板橋文化財便り
「武蔵常盤小径」のパネル展示 大澤 鷹邇

◆奥武蔵 奥武蔵研究会
〒175-0092東京都板橋区赤塚7-18-7
https://www.okumusashi.club
◇424 2018.11 B5 23p
つたえてゆきたい物語り 小泉 重光

『ものがたり奥武蔵』によせて 吉田美知子
伊豆国の工匠の足跡(2) 酒井 直樹
五常ノ滝の名の由来 小泉 重光
「奥武蔵野」か「奥武蔵」か 藤本 一美
山徒然(2) 関口 洋介
◇425 2019.1 B5 28p
《創立70周年》
温故知新ふたたび 小泉 重光
当会の進むべき方向について 大石 真人
新年を迎えて 大川 満代
新年度にあたり 吉田美知子
70周年記念寄稿
謎の長沢背稜＝天目山 成川 茂雄
山徒然(3) 関口 洋介
18年度 河田賞 該当者なし／18
年度 山行賞／18年度 集会賞
小泉重光氏
◇426 2019.3 B5 22p
夢の途中 小泉 重光
天目山(西谷山)・大黒・小黑論考
藤本 一美
堂平山森林火災について 関口 洋介
創立70周年に想う 吉田美知子
山徒然(4) 関口 洋介

◆北区史を考える会会報
〒115-0052東京都北区赤羽北1-3-10
大澤栄美方 TEL03-3907-0040 1986年創刊
◇131 2018.11 B5 8p
第429回 月例研究会 雑談会 終
戦前後2 川上・高橋・竹村・
野上・馬場・藤巻 報告・馬場永子
第430回 月例見学会
豊島の名所・旧跡を歩く
報告・山田美登里／写真・川上明
絵島始末 豊島 信夫
「真頂院」と「諏訪神社」 藤巻 洋三
◇132 2019.2 B5 10p

第37回定期総会 報告・林健一
第431回 月例研究会 第34回赤羽
文化センター祭報告 赤羽工兵
隊の足跡(1) 上野 基次
第432回 月例研究会 廃橋される
十条跨線橋の移転存続と展示を
求め 有馬 純雄
第433回 月例研究会
湯たんぼの話 伊藤 紀之

◆儀礼文化ニュース 儀礼文化学会
〒160-0012東京都新宿区南元町13-7
TEL03-3355-4188
◇212 2018.12 A4 8p
催事スケッチ 来訪神の祭り 古
態をとどめる貴重な年越しの行
事 なまはげ 12月31日夜、と
しどん 12月31日夜 写真・文 渡辺良正
平成30年度地方大会「谷地八幡宮
の林家舞楽」
儀礼文化研究会 平成30年度第1
回報告 湖南省の少数民族・花
瑶族の伝統の服飾文化―儀礼と
の関わりに注目して(阮將軍)／
「物語」の伝承における地域遺
産制度の役割―遠野遺産認定制
度と認定太宰府市民遺産を事例
に(山川志典)
特集(儀礼文化学会会員取材報告)
福島民俗芸能(2)―『金沢黒沼
神社の十二神楽』 丹治 逸雄
会員を訪ねる
生國魂神社／今宮戎神社
レポート
儀礼文化講座(平成30年度第3
回) 仏教「中国仏教におけ
る念仏、日本仏教における念
仏」 講師：松尾恒一

儀礼文化講座(平成30年度第4
回) 古典芸能「古典芸能に
おける御祝儀物」 講師：前
原恵美
儀礼文化講座(平成30年度第5
回) 華道「いけばな以前」
講師：由水幸平

◆月刊神田画報 カンダデザイン
〒101-0064東京都千代田区猿楽町2-2
澤田ビル206 TEL03-3296-7121
◇130 2018.10 A4 4p
昔むかしの神田探訪(48) 風流か
な、鈴虫売りの元祖は神田にあ
り 酔馬 主水
◇131 2018.11 A4 4p
昔むかしの神田探訪(49) 神田の
老舗『浅田鮎』と堀内敬三 酔馬 主水

◆現在学研究 現代学研究会
〒145-0072東京都大田区田園調布本町16-
12-101 高久舞方 2018年創刊
◇1 2018.10 A5 100p
『現在学研究』創刊にあたって
《特集 生活文化における衛生観》
衛生観を特集するにあたって 高久 舞
衛生という語の持つ意味と衛生観
の形成 越志 真希
インドネシア炭鉱における労働安
全衛生教育について―日本人の
技術移転と継承 安井 万奈
日本人とキルギス人の清潔さや汚
さに対する感覚の違い
アクマタリエワ・ジャクシルク
トイレ空間からみた韓国人の清潔
感 倉石 美都
イマドキ保育園の衛生事情 高久 舞
道祖神碑石の編年試論 倉石 忠彦

書評 市川秀之・中野紀和・篠原
徹・常光徹・福田アジオ編著
『はじめて学ぶ民俗学』 倉石あつ子

◆十條村研究 榎本龍治
〒114-0034東京都北区上十条3-29-21
シェルムアイ303 TEL03-3905-4699
◇5 (通27) 2018.10 A5 23p
丸参富士講による「伊藤伊兵衛」
の継承および断絶 榎本 龍治
コラム 地藏坂の迎え火のこと 榎本 龍治

◆城郭だより 日本城郭史学会会報
〒174-8691東京都板橋区 板橋北郵便局
私書箱50号 TEL03-3967-1948 年6000円
1993年創刊
◇104 2019.1 A4 6p
甲府城址が国史跡に
元旦、雪の城郭寺院から―但馬出
石城ほかの城郭寺院をさぐる
東海地方の城郭寺院から
最近の注目される城郭図書から
鳥取市教育委員会文化財課編
『因幡の山城』、中澤克昭・河西
克造編『甲信越の名城を歩く』、
中井均・春風亭昇太・斎藤慎一
著『歴史家と嘶家の城歩き』、
斎藤慎一著『戦国時代の終焉』
最近の城郭ニュースから 石積み
を多用する多気北畠氏遺跡

◆杉並郷土史会史報
〒167-0022東京都杉並区下井草3-12-9
新村康敏方 1973年創刊
www.sugi-chiiki.com/rekishikai/
◇272 2018.11 A4 10p 400円
地下鉄荻窪線～丸ノ内線 木村 輝郎
例会記 吉田松陰の墓

長沢利明先生 (新村)
 史跡探訪ウォーキング 坂道の多
 い町赤坂から東京ミッドタウン
 迄の史跡を訪ねる 服部 建人
 西郷と愛加那との娘・大山菊子の
 写真? 新村 康敏
 私の本棚から(55) 大宮八幡の社
 から 大宮八幡宮宮司 鎌田紀
 彦著 新村 康敏
 ◇273 2019.1 A4 10p 400円
 愛新覚羅浩展 開催さる
 杉並郷土資料館 新村 康敏
 改元あれこれ 真板 道夫
 新年おめでとうございます 新村 康敏
 ◇274 2019.3 A4 10p 400円
 荻窪の記憶～大田原公園周辺一〇
 〇年の歴史(1) 松井 和男
 中野旧囲町～天沼一丁目 旧陸軍
 軍事施設群 原幸夫／木村輝郎
 東京文化財ウィーク二〇一八
 杉並能楽堂から中野長者ゆかり
 の地を訪ねる 服部 建人
 「石山太柏一武蔵野の風景画人と
 杉並」展 郷土博物館分館で開
 催
 ◆西郊民俗 西郊民俗談話会
 〒160-0016東京都新宿区信濃町17-1
 大島方 年2000円 1957年創刊
 seikouminzoku.sakura.ne.jp
 ◇245 2018.12 B5 23p
 神奈川県中郡大磯町の「高麗の山
 神輿」 川邊絢一郎
 本性寺の樹木葬
 一東京都新宿区須賀町 大島 建彦
 東京都南多摩地域における粉屋踊
 りの伝承の現況一町田市根岸町
 を中心として 清水 亨桐

葛飾区立石の熊野神社と清明伝承
 小池 淳一
 現代の「あの世」について考える
 高橋 成
 ◆全日本郷土芸能協会会報
 〒106-0032東京都港区六本木4-3-6
 三河台ハイツ206 TEL03-6434-9434
 年2000円 1995年創刊 www.jfpaa.jp
 ◇93 2018.10 A4 20p
 五島神楽 長崎県五島市(国指定
 重要無形民俗文化財) 中村 秀記
 文化庁委託事業「平成30年度文化
 庁戦略的芸術文化創造推進事
 業」「ぼくたち、わたしたちの
 ニッポンの祭り2018」
 伊勢大神楽と現代日本を歩く(5)
 風の暮らし、土の暮らし 神野 知恵
 地域×芸能ニューウェーブ 獅子
 の創作に根源を見る 讃岐獅子
 舞保存会(香川県さぬき市 十
 川みつる代表)
 会員紹介 秋保の田植踊保存会
 宮城県仙台市 沼田 孝
 空白の沖縄芸能史(19) 嗚呼!我
 青春の唄が聞こえる 中坪 功雄
 初の海外公演
 小鹿野歌舞伎保存会 山口 清文
 地芝居見聞(28)「秋川歌舞伎あ
 きる野座 二宮神社生姜祭公演」
 北河 直子
 地芝居あれこれ(31)
 高雄歌舞伎と気良歌舞伎 蒲池 卓巳
 人形芝居体験記 北河 直子
 BOOKS 良書紹介
 『太鼓の文化誌』著・山本宏子
 ◇94 2019.1 A4 20p
 勝山左義長 福井県勝山市(県指

定無形民俗文化財) 榎家淳一郎
 「獅子博物館三十年祝賀会」&「第
 4回全日本獅子舞フェスティバ
 ル白岡'18」の開催 高橋 裕一
 与那国マテリ行 小岩秀太郎
 地域×芸能ニューウェーブ 他分
 野、国際的交流 横浜都筑太鼓
 /次代への伝承 金津流野手獅
 子躍/変わりゆく伝統芸能/三
 陸国際芸術祭2018(サンフェス)
 地芝居見聞(29)「南部町内船歌
 舞伎 定期公演」 北河 直子
 横尾歌舞伎 サハリン公演 高井 勇
 地芝居あれこれ(32)
 万人講を受け継ぐ雄略歌舞伎 蒲池 卓巳
 伊勢大神楽と現代日本を歩く(6)
 風の暮らし、土の暮らし 神野 知恵
 会員紹介 滑田鬼剣舞保存会
 岩手県北上市滑田地区 高橋 忠男
 二子鬼剣舞 フランス公演 八重樫嘉道
 BOOKS 良書紹介 『日本の祭り
 解剖図鑑』著者:久保田裕道 (小岩)
 ◆大道芸通信 日本大道芸・大道芸の会
 〒157-0061東京都世田谷区北烏山2-3-9-101
 光田憲雄 TEL03-3307-2146
 www.k5.dion.ne.jp/~daidoge/ /
 ◇322 2018.11 A4 2p 100円
 「秋田蘭画」と「覗き絵」
 ◇323 2018.12 A4 2p 100円
 女相撲は神代から
 ◇324 2019.1 A4 2p 100円
 『擲銭青楼占』
 ◇325 2019.2 A4 2p 100円
 歌念仏から歌比丘尼 けころ
 ◇326 2019.3 A4 2p 100円
 深川江戸資料館主催 第11回江戸

の物売りと大道芸 開催
 ◇327 2019.3 A4 2p 100円
 『熙代勝覧』が載せる生業(9)
 ◇328 2019.3 A4 2p 100円
 深川江戸資料館主催 第11回江戸
 の物売りと大道芸 開催分
 ◆多摩地域史研究会会報
 〒207-0033東京都東大和市芋窪4-1735-1-
 103 梶原方 1991年創刊
 tamatiken.web.fc2.com
 ◇132 2018.11 B5 4p
 第100回例会報告 相模国分寺・
 国分尼寺と周辺の歴史探訪 馬場 善信
 ◇133 2019.2 B5 18p
 第101回例会報告 研究発表
 武蔵野台地における後期旧石器
 時代の開始一府中市武蔵台遺
 跡を中心に 尾田 識好
 武蔵村山の弥生時代一弥生時代
 後期後半の新資料紹介 高橋 健樹
 地域史情報室 江戸東京たてもの
 園の展示案内「武蔵野の歴史と
 民俗―「武蔵野郷土館」がのこ
 したモノたち」/八王子郷土資
 料館 平成30年度特別展「八王
 子のおまじない 今も昔も願い
 はおなじ」/新宿歴史博物館
 所蔵資料展「新宿の歴史2019
 特集 尾張徳川家富山屋敷とそ
 の周辺」
 ◆多摩のあゆみ たましん地域文化財団
 〒186-8686東京都国立市中1-9-52
 TEL042-574-1360 年600円 1975年創刊
 www.tamashin.or.jp
 ◇172 2018.10 A5 114p
 《特集 武蔵武士団の盛衰》

武蔵武士団の登場 鎌倉 佐保
 考古学からみた武蔵武士の本拠 浅野 晴樹
 板碑にある武士 伊藤 宏之
 武蔵武士団の南北朝時代 田中 大喜
 武州白旗一揆の展開と在地社会の
 変動一点描・室町期の武蔵武士
 湯浅 治久
 洋風建築への誘い(61) 相模川中
 流 上野原・相模原・座間 伊藤 龍也
 建物雑想記(56)
 海鼠壁の擬洋風建築 酒井 哲
 古文書は語る(49) 明治維新にお
 ける八王子千人隊の解体とその
 動向―伊藤家文書「慶応四辰年
 二月廿八日達書控」より 馬場 憲一
 多摩の食文化誌(29)
 伝統食と長寿 増田 昭子
 多摩の金融史(7)
 多摩中央信金の昭和二〇年代 佐藤 政則
 多摩のみほとけ(35) 調布市 祇
 園寺 鉄像僧形八幡神坐像 齊藤 経生
 本の紹介
 青梅市郷土博物館編『青梅市史
 史料集第五十七号 永久田家
 務本傳(一)』 畑 尚子
 町田市民文学館ことばらんど編
 『没後10年 編集者・谷田昌
 平と第三の新人たち展』 池田 雅延
 金子淳著『ニュータウンの社会
 史』 橋場万里子
 ◇173 2019.2 A5 114p
 《特集 多摩の団地》
 多摩地域の公団団地(U R 賃貸)の
 開発概要 藤沢 毅
 牟礼団地、完成の頃、そして建
 て替え 編 集 部
 府中市における団地コミュニティ
 の定着 田中 藤司

「団地の時代」における「自治」
 と「共同」―初期の小平団地自
 治会の活動を例として 大岡 聡
 東京多摩公団住宅自治会協議会の
 あゆみ 片岡 規子
 多摩地域における団地の成立とそ
 の社会的背景 金子 淳
 洋風建築への誘い(62) 錦町のエ
 メラルド 立川市嶋田邸 伊藤 龍也
 建物雑想記(57)
 錦町の洋館付き住宅 酒井 哲
 古文書は語る(50) 武州御嶽山の
 長州出兵への冥加金上納―金井
 家文書「御進発冥加金上納届書」
 「同 受取書」より 馬場 憲一
 多摩の食文化誌(30)
 雑煮は多彩なり 増田 昭子
 多摩の金融史(8) 三鷹の中小企
 業金融と多摩信金―『みたか商
 工名鑑』(1977年版)を用いた分
 析 新井 大輔
 多摩のみほとけ(36)最終回 八王
 子市 真覚寺 銅像薬師如来倚
 像 齊藤 経生
 本の紹介
 練馬区立石神井公園ふるさと文
 化館編『特別展 鳥瞰図―空
 から見る大正昭和の旅―』 藤本 一美
 清瀬市郷土博物館編『清瀬から
 富士を目指した人々 清瀬の
 富士講』 篠原 武
 真慈悲寺調査ボランティア編
 『幻の真慈悲寺を追い求めて
 vol.1、vol.2』 深澤 靖幸

◆伝 え 日本口承文芸学会
 〒150-8440東京都渋谷区東4-10-28
 國學院大學文学部 飯倉義之研究室

年4000円 1987年創刊 ko-sho.org
 ◇64 2019.2 B5 6p
 組踊誕生300年 狩俣 恵一
 第75回日本口承文芸学会研究例会
 「シンポジウム：関敬吾の口承
 文芸観」 報告・立石展大
 各地の語り・語り手・語りの場の紹
 介(8) 渋谷民話の会 杉栄子／中島昭子
 ◆東京産業考古学会 NEWSLETTER
 〒174-0046東京都板橋区蓮根2-29-10 新蓮
 根団地105 多田統一方 FAX03-3964-8548
 ／〒352-0011埼玉県新座市野火止4-8-43
 柚須紘一方 FAX048-479-7490 年2000円
 tias3.web.fc2.com
 ◇133 2018.11 A4 6p
 報告「タニタ博物館見学会」
 文・写真 奥原一三
 報告 見学会「野木町ホフマン輪
 窯等」(「まつわる話」を含めて)
 文・写真 八木司郎
 文献紹介 『戦後日本の復興の記
 録 上巻』・『戦後日本の復興の
 記録 下巻』 杉田米行編著 多田 統一
 報告 見学会「江戸東京たても
 の園」 文 堀内仁之
 産業遺産を訪ねて(18) 青森銀行
 旧本店―県立郷土館の一部とし
 て保存活用 文・写真 平井東幸
 文献紹介 『伝統木造建築事典』
 高橋昌巳・小林一元・宮越喜彦
 編著 多田 統一
 茨城県石岡市の赤煉瓦建築物(14)
 「青柳新兵衛商店 煉瓦塀」
 文・写真 八木司郎

◇134 2019.1 A4 6p
 報告 研究会「セルロイド金型の
 考古学」 講師：佐藤功氏 文・平井東幸

報告 講演会「金属印刷の歴史と
 技術遺産としての保存活用」
 講師：小林俊樹氏 文・多田統一
 報告 見学会「野木町ホフマン輪
 窯等」(3) (「まつわる話」を含
 めて) 文・写真 八木司郎
 文献紹介 『自動車用材料の歴史
 と技術』 井沢省吾著 文・多田統一
 新刊紹介 図録『日本を変えた千
 の技術博』 企画・監修：国立
 科学博物館 編集：日本経済新
 聞社 文・平井東幸
 報告 見学会「エコプロ2018」
 文・多田統一
 産業遺産を訪ねて(19) 旧済生館
 本館―山形市郷土館として保存
 公開 文・写真 平井東幸
 文献紹介 『水の土木遺産 水と
 ともに生きた歴史を今に伝え
 る』 若林高子・北原なつ子共
 著 文・多田統一
 茨城県石岡市の赤煉瓦建築物(14)
 「青柳新兵衛商店 文庫蔵」
 文・写真 八木司郎

◆東京大空襲・戦災資料センターニュース
 〒136-0073東京都江東区北砂1-5-4 政治経
 済研究所 TEL03-5857-5631 年2000円
 2002年創刊 www.tokyo-sensai.net
 ◇34 2019.2 A4 8p
 センター、新時代へ 早乙女勝元
 東京大空襲を語り継ぐつとい 東
 京大空襲・戦災資料センター開
 館17周年
 体験記録集 刊行座談会
 早乙女勝元／竹内静代／仁瓶治
 代／西尾静子／藤間宏夫／佐藤
 昌男／早乙女愛／比江島大和

夏休み特別企画「みんなで学び、伝えよう！ 東京大空襲」開催報告 仁瓶 治代
資料は語る一満洲からの軍事郵便 井上 直子
センターで体験を語って 吉田由美子
ガイドボランティアを体験して 猪又 和子
展示リニューアルの現状報告 山辺 昌彦
2019年第1回特別展のお知らせ
沖縄戦遺品展『遺品が語る沖縄戦』

◆東京の文化財

東京都教育庁地域教育支援部管理課
〒160-0023東京都新宿区西新宿2-8-1
TEL03-5320-6862 1979年創刊
◇125 2018.9 A4 8p
東京文化財ウィーク2018が始まります！
大名庭園と御茶屋
文化財を活かす(世田谷区) 成城・旧山田家住宅の保存と活用
文化財を活かす(日野市) 地域資源としての文化財―『TOYODA BEER』と『桑ハウス』
旧前田家本邸洋館のリニューアルオープンに向けて

◆練馬郷土史研究会会報

〒179-0072東京都練馬区光が丘5-2-3-806
鎌田茂男方 TEL03-3977-3091
1956年創刊
◇370 2018.10 A4 2p
豊島氏関係史料を読む(23)「豊島・宮城文書」所収、二通の北条氏房印判状について 伊藤 一美
昭和史雑感 昭和天皇と将軍達(30) 三、東条英機(4) 鎌田 茂男

◇371 2019.1 A4 4p
豊島氏関係史料を読む(24)「豊島・宮城文書」所収、二通の北条氏房印判状について(2) 伊藤 一美
練馬の城を往く(21) 練馬の城を地名で探る 堀之内(東大泉)、箕輪(谷原)、立ノ山(大泉学園町) 八巻 孝夫
昭和史雑感 昭和天皇と将軍達(31) 三、東条英機(5) 鎌田 茂男

◆練馬区地名研究会会報

〒176-0014東京都練馬区豊玉南3-24-4
飯塚芳男方 TEL03-3992-0264
年2500円 1987年創刊
◇123 2019.1 B5 4p
第125回例会「敦煌 万里の長城の尽きるところ」 三輪 主彦
地名観察会 千川用水の上下石神井村分水跡 案内・下島邦夫

◆練馬区立石神井公園ふるさと文化館

分室だより
〒177-0045東京都練馬区石神井台1-33-44
石神井松の風文化公園管理棟内
TEL03-5372-2572
www.neribun.or.jp/furusato.html
◇22 2019.1 A4 4p *終刊
分室企画展「練馬区ゆかりの漫画家展―1970年代を中心に」
コラム 台風の日 葛城 明彦
今月の作品 『辞書になった男 ゲンボー先生と山田先生』 佐々木健一著
分室だより終刊のお知らせ
◆練馬古文書研究会会報
〒176-0022東京都練馬区向山3-21 保戸塚

太地方 TEL03-3999-8871 1985年創刊
www.7b.biglobe.ne.jp/~tagame-y/
◇61 2018.11 B5 4p
竹下忠左衛門に関する文書の発見 本橋 竹文
戸外学習 西東京市の郷土史を巡って(旧田無地域を中心に) 寒河江耕作

◆東日本部落解放研究所ニュース

〒111-0024東京都台東区今戸2-8-5
TEL03-5603-1863 1986年創刊
www.hblri.org
◇95 2019.1 A4 22p
第32回研究・交流会開催 秦野
市本町公民館・ほうらい会館
全体会《地元報告》 神奈川の部落解放運動の現状と課題 中村 彰信さん 文責・吉田勉
全体会《記念講演》 神奈川の部落史研究のこれまでとこれから 鳥山洋さん 文責・平嶋彰彦
第1分科会 歴史(近代) 神奈川の融和運動をめぐって 報告1「融和運動の思想的基盤に関する一考察 1920年代の神奈川青和会を事例として」大高俊一郎さん／報告2「小学校教師としての長島重三郎 融和運動とのかかわりから」真辺駿さん 文責・吉田勉
第1分科会 歴史(近世)「小頭太郎右衛門の白山権現造営記録 被差別部落の信仰と地域社会のかかわりを探る」久保田宏さん 文責・横山陽子
第2分科会 教育 差別と向き合う一子ども、若者たちに部落のことをどう伝えるか 報告1「大島学習教室を始めて20年」

吉田恵一さん、報告2「横浜翠嵐高等学校定時制での生徒支援」原えりかさん、報告3「部落の話をするまでに」上野法隆さん 文責・松浦利貞
フィールドワーク 秦野のフィールドワーク ガイド：三川哲伸さん、久保田宏さん 文責・平嶋彰彦

◆民具研究 日本民具学会

〒221-8686横浜市神奈川区六角橋3-27-1
神奈川大学日本常民文化研究所内
TEL045-481-5661 年5000円
www.soc.nii.ac.jp/nmg/
◇158 2018.11 B5 70p
桂真幸論文「紀年銘唐箕の認定法についての問題点」批判 内藤 大海
射的・撞球・パチンコ―地方都市金沢における「射幸／社交」の文化史 大門 哲
三学会合同研究会「野良道具 フィールド・デバイス世界をつくる」に参加して 岩野 邦康
第151回日本民具学会研究会「製茶産業に関わる民具の今日までの展開」に参加して 北村 敏
書評『吉ヶ原の民具―収集・調査・整理の記録』新潟県三条市発行 池田 孝博
展示批評 埼玉県立歴史と民俗の博物館企画展「田んぼ 埼玉、人と水の風景」 浜野 達也

◆民衆史研究 民衆史研究会

〒162-8644東京都新宿区戸山1-24-1
早稲田大学文学学術院 大日方研究室内
1962年創刊
◇96 2018.12 B5 100p 1500円

《特集 近世民衆の生活と道徳規範》
 特集にあたって 民衆史研究会委員会
 表彰の「表」と「裏」
 ー「善行」を考える 菅野 則子
 幕末維新期の江戸町方住民におけ
 る孝行と自己意識 早川 雅子
 書評 柴田純著『考える江戸の人
 々 自立する生き方をさぐる』上野 大輔
 二宮尊徳にみる富者の貧者救済論
 ー「助合」から「国恩」まで 早田 旅人
 書 評
 工藤敬一編『中世熊本の地域権
 力と社会』 金井 静香
 近藤祐介著『修験道本山派成立
 史の研究』 長谷川賢二
 須田努著『三遊亭円朝と民衆世
 界』 宮 信明
 小川原正道著『西南戦争と自由
 民権』 友田 昌宏
 道場親信著『下丸子文化集団と
 その時代 一九五〇年代サー
 クル文化運動の 光芒』 高田 雅士

◆民俗建築 日本民俗建築学会
 〒162-0843東京都新宿区市谷町2-33
 法政大学デザイン工学部建築学科内
 TEL03-5228-1496 年9000円
 www.folkhouse.org
 ◇154 2018.11 B5 94p
 巻頭言 民俗建築の比較研究展望
 杉本 尚次
 2018年度大会発表研究論文
 香月徳男氏住宅(香櫓亭)の特徴
 土田 充義
 奥能登の大型民家からみる能登
 Ⅲ型、奥能登型の変容に関す
 る研究 村田 一也
 日本人の和室に対する意識：ア

ンケート調査報告 鈴木あるの
 聖福寺塔頭の山門 佐藤 正彦
 香月徳男の民家研究とその成果
 土田 充義
 一般社団法人日本民俗建築学会
 第45回大会報告 黒光 貴峰
 見学会報告
 薩摩半島の麓集落を訪ねる 鯨坂 徹
 民俗建築アーカイブ(15) 1947年
 10月の岡山市街の写真
 民俗建築アーカイブ担当
 研究会報告 ロシア・世界文化遺
 産キジ島木造教会堂修理研修の
 内容について 日塔 和彦
 One Shot Minka(22)
 世界遺産 琉球の首里城 朴 賛弼
 View 民家(50)
 紀州屋根屋の道具を見る 長岡 正宏
 2017年度一般社団法人日本民俗建
 築学会学会賞(竹内芳太郎賞) 事務局
 新刊紹介
 『喜多方一人々の心に響くまち』
 小澤弘道ほか著 津山 正幹
 『神をまつる神社建築 玉殿の起
 源と発展』 山田岳晴著 堤 涼子

◆明治維新史研究 明治維新史学会
 〒261-0014千葉市美浜区若草1-4-1
 神田外国語大学 町田明広研究室
 2004年創刊 www.ishinshi.jp
 ◇16 2019.1 B5 70p
 近世「名前」の終焉と近代「氏名」
 の成立ー官位の通称利用の破綻
 とその影響 尾脇 秀和
 太政官三院制の成立過程
 ー明治四年の制度取調 小幡 圭祐
 近代日本における維新「志士」記
 念祭の展開ー坂本龍馬・中岡慎

太郎没後記念祭を中心に 高田 祐介
 追悼文 三上昭美先生を想う 牛米 努
 書評 齊藤紅葉著『木戸孝允と幕
 末・維新一急進的集権化と「開
 化」の時代一八三三～一八七七』
 田口 由香
 新刊紹介
 神谷大介著『幕末の海軍ー明治
 維新への航跡』 山田 裕輝
 友田昌宏編著『東北の近代と自
 由民権ー「白河以北」を越え
 て』 田崎 公司

◆小田原史談 小田原史談会
 〒250-0021神奈川県小田原市早川160
 青木良一方 年3000円 1961年創刊
 odawara-shidan.hustle.ne.jp
 ◇255 2018.10 A4 28p
 講演録 伊豆と北條水軍
 ー「小田原海賊」のこと 鈴木 裕篤
 北条所縁の城趾(下田・丸山城址)
 巡り紀行 田中 豊
 戦争が終わった。三中被誕生した
 宍倉 正弘
 こゆるぎの現代詩人たち(2) で
 きの悪いおふくろ・貞松瑩子 村山 精二
 二宮尊徳と『論語』(6) 岩越 豊雄
 小田原史談会セミナー報告 小田
 原市内の発掘調査 講師：山口
 剛志氏
 『小田原史談会セミナー』のご案内
 内 小田原の民俗資料から分か
 ることー郷土文化館所蔵品より
 講師：保坂匠氏
 片岡日記 昭和編(14)
 昭和3年10月 片岡永左衛門
 ◇256 2019.1 A4 28p
 伯父・井上三綱の思い出 戸田 節子

画家・井上三綱の芸術 田代 勉
 四中(現・城南中)誕生の頃
 四中初代校長の思い出 山本 房吉
 観測装置は手作り
 語り手：松岡輝宏さん
 俺は四中でラッパ吹いたよ
 話し手：風間亨さん
 三綱さんと四中一年頭の挨拶に
 かえて 松島 俊樹
 酒伝童子絵巻ー京文化と小田原 深野 彰
 二宮尊徳と『論語』(7) 岩越 豊雄
 片岡日記 昭和編(15)
 昭和3年11月 片岡永左衛門

◆神奈川県立公文書館だより
 〒241-0815横浜市旭区中尾1-6-1
 TEL045-364-4456 1994年創刊
 www.pref.kanagawa.jp/cnt/fl040/
 ◇39 2018.11 A4 4p
 開館二十五周年を迎えて 堀江 信夫
 企画展示「明治維新と神奈川県」
 『金河奇勝(かながわきしょう)』
 から 齊藤 達也
 収蔵資料紹介 旧優生保護法関係
 資料 「昭和45年度優生保護審
 議会記録」「優生保護法法規綴」
 歴史的公文書の閲覧について 齊藤 達也

◆鎌倉 鎌倉文化研究会
 〒248-0016神奈川県鎌倉市長谷3-11-2
 観音ミュージアム内 TEL0467-22-6100
 1959年創刊
 ◇125 2018.12 A5 110p 1500円
 御家人保野氏の考察 森 幸夫
 浄智寺の二つの鍵ー梵鐘から見え
 る北条氏の風景 河田登志夫
 近世鎌倉禅僧伝(2)ー海門元東 三浦 浩樹
 『亀谷山記録』(18) 鎌倉古文書研究会

『鹿山公私諸般留帳』(50) 三淵美恵子
 神奈川の窓(42)
 ー「地方史研究」から 井上 隆男

◆かまくら女性史の会 Newsletter
 〒248-0012神奈川県鎌倉市御成町18-10
 NPOセンター鎌倉気付
 メールボックス26 2013年創刊

◇59 2018.10 A4 2p
 「特別の教科 道徳」始まる！？
 ～教科書も評価も 郡司 春乃
 女性史の会が陳情書を9月3日に
 提出するまでの、過程ならびに
 報告 (横松)
 緊急講演会の記録 「鎌倉近代史
 資料の収集・保存・活用方法」
 講師：高野修氏 (高階)

◇60 2018.11 A4 2p
 エリアナ・バヴロバは、靖国に合
 祀されたか 横松佐智子
 文書館がほし〜い(17)
 アーカイブズと地域社会(1) (多和田)

◇61 2018.12 A4 2p
 バレエ教師 ナデジタ・バヴロバ
 の生涯 西 弘子
 文書館がほし〜い(18)
 アーカイブズと地域社会(2) (多和田)

◇62 2019.1 A4 2p
 パヴロバ家資料と資料整理の経過
 について 曾原 糸子
 文書館がほし〜い(19)
 アーカイブズと地域社会(3) (多和田)

名越やすらぎセンター専門講座にて (前田)

◇63 2019.2 A4 2p
 東北復興支援10年プロジェクト 石崎 和子
 本の紹介 『地域女性史研究ーこ
 こに生きここを超える』折井美
 那子氏 (横松)

◇64 2019.3 A4 2p
 無から有へ〜文書館の活動 山根 信子
 文書館がほし〜い(20) 資料レス
 キュー活動と「地域資料」 (多和田)
 「旧町立鎌倉図書館」の現状およ
 び今後についてともに考え、語
 り合う集いから (高階)

◆県史史談 県史史談会
 〒243-0033神奈川県厚木市温水342 内藤
 佳康方 TEL046-247-1751 1961年創刊

◇58 2019.1 A5 38p
 猪俣弥八、その知られざる生涯 岩崎 稔
 根岸村の競馬場 経緯遍歴 千葉 弘
 県史史談に投稿をして十八年 千葉 弘
 「相模橋」の変遷について 橋川 明
 平成30年度事業報告 総会・史跡
 めぐり

◆コロス 常民文化研究会
 〒254-0016神奈川県平塚市東八幡4-15-6
 西海賢二 年1000円 1979年創刊

◇155 2018.11 B5 6p
 三遠信美流れの結節点ー限界の山
 村暮らしから(3) ー中馬街道・
 稲荷講を中心にして 西海 賢二

◇156 2019.2 B5 6p
 三遠信美流れの結節点ー限界の山
 村暮らしから(4) 小馬寺考ー
 近世後期の小馬寺の勧化と近村
 との関係を中心にして 西海 賢二

◆市史通信 横浜市史編集室
 〒220-0032横浜市西区老松町1 横浜市中
 央図書館地下1階 TEL045-251-3260
 2008年創刊 www.city.yokohama.lg.jp/city-
 info/yokohamashi/gaiyo/shishioriyo/
 ◇33 2018.11 A4 12p

成長と閉塞の時代
 ー YOKAHAMA 1968 平野 正裕
 「学生鳥人」森謹吾 百瀬 敏夫
 半井清と飛鳥田一雄ー二人の市長
 の人物像わめぐって 羽田 博昭
 閲覧資料紹介
 『横浜の映像』(1969年刊) 平野 正裕

◆首都研ネットワーク 首都圏形成史研究会
 〒231-0021横浜市中区日本大通3 横浜開
 港資料館気付(吉田律人・西村健)
 TEL045-201-2169 年3000円

◇82 2018.11 B5 4p
 第110回例会 テーマ 書評会
 牛米努『近代日本の課税と徴収』
 ／第111回例会 川崎市域の地
 域史関係報告、中村元氏『近現
 代日本の都市形成と「デモクラ
 シー」ー20世紀前期／八王子市
 から考える』書評(予定)／小研
 究会 首都西郊研究会 講演会
 「首都西郊と軍事空間」吉田律
 人「大山街道の軍事化と地域社
 会」、羽田博昭「横浜と神奈川
 県県央部の日本軍施設」
 情報ネットワーク 展示会情報
 小研究会の活動状況 首都西郊研
 究会、首都圏災害史研究会、マ
 イクロヒストリー研究会

◇83 2019.2 B5 4p
 第111回例会 報告 菊地悠介・
 伊藤哲平「川崎における地域形
 成の過程ー古代から近代を概観
 して」、報告 佐々木恵海「20
 世紀前半の川崎市における住宅
 政策と都市行政の展開」、書評
 会 中村元『近現代日本の都市
 形成と「デモクラシー」ー20世

紀前期 八王子市から考える』
 ／2019年度総会・第112回例会
 マイクロ・ヒストリー研究会関
 連シンポジウム「自治体史編さ
 んの現状と課題(仮)」
 情報ネットワーク 展示会情報
 新刊案内 大矢悠三子『江ノ電沿
 線の近現代史』 松本 洋幸
 小研究会の活動状況 首都西郊研
 究会、首都圏災害史研究会、マ
 イクロヒストリー研究会

◆湘南考古学同好会々報
 〒251-0044神奈川県藤沢市辻堂太平台2-3-
 19-104 寺田兼方 1980年復刊
 shounankouko.jimbo.com

◇153 2018.12 B5 28p
 古代の城柵を巡る 川嶋実佳子
 卒論要約 諸磯式と北白川下層Ⅱ
 式の折衷土器ー折衷土器から見
 た縄文時代前期後半の型式間交
 渉 佐藤 亮太
 心の考古学まで(15) 前方後円墳
 に関する考察ー前方後円墳に埋
 葬された人々 古要 祐慶
 引地川兩岸踏査報告 成澤 亮
 伯耆で暮らして
 国史跡米子城跡について 浜野 浩美
 8月の臨時例会に参加して 天野 弘一
 秋の勉強会 『伊勢原市上粕屋・
 子易遺跡について』を拝聴して
 原 喜一郎
 東京都埋文センター企画『蒼海わ
 たる人々ー考古学から見た東京
 の島々』を見学する 米 諄
 2017年藤沢市・隣接市町考古学関
 係主要出版物一覧 伊藤郭・編
 ◇154 2019.1 B5 20p

『第36回 藤沢市遺跡調査発表会』
 の開催に当たって 寺田 兼方
 稲荷台地遺跡群・天神原(N67)遺
 跡―第6次調査 横山 太郎
 立石(N6393)遺跡―第3次調査 渡辺 昭一
 高倉枯藪遺跡 第4次調査 今泉 克巳
 天神添北遺跡 第8次調査 松坂 悟
 大庭城(N6211遺跡)の調査 香川 達郎

◆都筑・橘樹地域史研究 都筑・橘樹研究会
 〒194-0044東京都町田市成瀬1-23-7
 中西望介方 2012年創刊
 ◇2 2018.12 A4 159p
 南武蔵の二三の板碑 坂本 彰
 蓮法寺所蔵の板碑類について 相澤 雅雄
 七五三祓をめぐると修験の
 相論―戦国期鶴見川流域におけ
 る庶民生活との関連で 中西 望介
 天正十九年都筑郡岡上村検地帳を
 読む(2) 池上 裕子
 高室院使僧が訪れた村 小股 昭
 開発利権としての秣場をめぐると農
 民・領主・幕府―幕府倒壊前夜
 の武蔵・相模 入会秣場開発プ
 ロジェクト(2) 久世 辰男
 都筑郡山内村忠魂碑について 林 浩一
 星宿山蓮華蔵院王禪寺所蔵「本坊
 ・塔中檀方并諸雜記」解説 菱沼 一憲
 翻刻「本坊・塔中檀方并諸雜記」
 都筑・橘樹研究会 活動のあゆみ
 (2) 中西 望介

◆日本地名研究所通信
 〒213-0001川崎市高津区溝口1-6-10
 川崎市生活文化会館4階 TEL044-812-1106
 1993年創刊 chimei.people.co.jp
 ◇92 2018.10 B5 8p
 「かは」る川と地名 関 和彦

地名研究所の日々を顧みて 鈴木 茂子
 川崎地名研究会と共に歩まれた鈴
 木さん 相澤 一男
 「館林」の語源 澤口 宏
 群馬地名研究会―三十年の歩みを
 回顧して 澤口宏／井野修二
 ◇93 2019.2 B5 8p
 元号と地名の二文字 関 和彦
 市民参加の地名調査―伊那市の取
 り組み 伊那市の古い地名調査
 の取り組みに至るまで 白鳥 孝
 ふるさと再発見だった「古い地名
 調査」 竹松 亨
 「伊那谷」を学ぶ地名研究の活動 原 董
 遠野での再会を楽しみに 第三八
 回全国地名研究者大会参加への
 呼びかけ 菊地 恒雄
 新潟の雄 長谷川勲さん逝く 菊地 恒雄
 書籍紹介 『ニソの杜と若狭の民
 俗世界』金田久璋著

◆日本の石仏
 日本石仏協会(発売:青娥書房)
 〒224-0037横浜市都筑区茅ヶ崎南1-3-10-
 409 前川勲方 TEL045-943-4409
 年8000円 1977年創刊
 www.sekibutukyokai.jp
 ◇166 2018.12 A5 64p 2000円
 表紙 諏訪湖遠望と三十三観音石
 仏 長野県岡谷市湊四丁目 小
 坂観音堂 写真と文・高野幸司
 巻頭随想 平成最後のお便り
 若い世代に希望を託して 坂口 和子
 《特集 動物に乗る神仏像》
 埼玉県動物に乗った神様・仏様 門間 勇
 伊那・諏訪の動物に乗る石仏 下平 武
 上山市の石造馬鳴菩薩 加藤 和徳

動物に乗る神仏像巡検 平井 一雄
 下総・関宿藩の愛宕権現塔 石田 年子
 鯨に乗った地震様 渡邊三四一
 調査報告 茨城県岩間町(現笠間
 市岩間地区)における子安信仰
 の現状 光野志のぶ
 地域おこしに「庚申待」を企画 宮内 七生
 古渡天満宮の磨崖獅子 中野 高通
 石仏スケッチ(如意輪観音2体)
 長野県南佐久郡南牧村広瀬地区 坂田 澄男
 越前の双体神像 滝本やすし
 石仏だより ひとり石仏部第41号
 凄い覆面レスラー・ミル・マス
 カラスだ! 長野県茅野市 すぎたみちゆき
 「川上岩男文庫」を上宝夢工房に
 新設 川上 岩男
 石仏入門(20) 庚申塔(3) 門間 勇
 名号塔の知識(31)
 中部東海の名号塔 岡村 庄造
 第118回石仏見学会報告 埼玉県
 狭山市 入間川地区の穴あけ石
 造物伝説と盃状穴を訪ねて 寺内 慎一
 第119回石仏見学会報告 梶田 道行
 埼玉県小川町
 日本石仏協会主催 一泊見学会報
 告 ハヶ岳南麓の石祠型道祖神
 と諏訪の貞治仏巡り 前川 勲
 第四〇回石仏公開講座を終えて
 第一講「写真風土記 民俗」 前川 勲
 講師:蔵地心氏
 第二講「石仏の文化を次世代に伝
 えるには」講師:内藤理恵子氏 岡田 均
 第三講「インドの石像の歴史」
 講師:石上善徳氏 中森 勝之
 第四講「国塔半島の石仏造像事情

について―熊野磨崖仏を中心に」
 講師:村松哲文氏 中野 高通
 ◆扣之帳 扣之帳刊行会
 〒250-0021神奈川県小田原市早川60
 青木良一方 TEL0465-22-8852 年2500円
 2003年創刊
 hikaenochou.world.coocan.jp/mysitel/
 ◇62 2018.12 A5 128p 500円
 アウトサイダーの禪僧・穴風外 安藤 嘉則
 諏訪市貞松院に眠る松平忠輝 今川 徳子
 小田原藩領東筋三十三村仕法の経
 緯 尾上 武
 続・ボクの映画館(16)
 ダニー・ケイの『五つの銅貨』平倉 正
 近現代における二宮ゆかりの文学
 者たち 石井 敬士
 橋本樸々『諸佛画集』(7) 橋本 樸々
 小説 川崎長太郎日誌(7)
 廃業した抹香町と老人 芳賀喜久雄
 真言の人・空海(7) 茂木 光春

◆民具マンスリー
 神奈川大学日本常民文化研究所
 〒221-0802横浜市神奈川区六角橋3-27-1
 TEL045-481-5661 年3500円 1968年創刊
 ◇608 (51-8) 2018.11 A5 24p 350円
 白鷹紬の絣巻器 守谷 英一
 楽器の演奏による野生動物の行動
 管理―奈良公園における鹿寄せ
 を事例に(上) 東城 義則
 民具短信 とべむかしのくらし館
 の夜着コレクション―「昔の夜
 着展」開催報告 宮本 直美
 ◇609 (51-9) 2018.12 A5 24p 350円
 和歌山県東牟婁郡における磯漁の
 実態―太地町を事例として 今川 恵
 関秀志の民具研究

ーシリーズ 民具と出会う(5) 佐野 賢治
 民具短信 ノコギリガマー近世か
 ら用いられている稲麦刈り用の
 鋸鎌 桂 眞幸
 ◇610 (51-10) 2019.1 A5 24p 350円
 中日本の唐箕について
 一唐箕展を終えて 岡本大三郎
 民具短信
 クラフトとしての挽物の世界
 一舟見検二の木の器 小椋 裕樹
 松戸市立博物館「東北の伝統こ
 けし」コレクション紹介 山田 尚彦
 北海道の木彫り熊
 一八雲町を中心に 大谷 茂之
 書籍紹介 滝沢秀一著『越後妻有
 の民俗一私のメモ帳』 鈴木 通大
 ◇611 (51-11) 2019.2 A5 24p 350円
 販売から見る農具の流通(一)
 一縄ない機について 桂 眞幸
 気仙沼地方のコリョウと漁撈民具
 (2)一アワビカギ 小野寺佑紀
 ◇612 (51-12) 2019.3 A5 24p 350円
 民具実測図作成の意義と課題 小島 孝夫
 小島環禮の民具研究一シリーズ
 民具と出会う(6) 鈴木通大／浜野達也
 民具短信 民具研究の可能性の遠
 心力と求心力 全京秀／沢・神野知恵
 第22回常民文化研究講座・国際研
 究フォーラム「アジア民具研究
 の可能性一民具体系と生活構造
 の比較から一」に参加して 川邊 咲子
 第51巻総目次
 マンスリー掲示板 仙台市歴史民
 俗資料館 特別展「コメどころ
 仙台一コメの生産と消費の歴史」
 ◆悠 久
 鶴岡八幡宮悠久事務局(発売:おうふう)

〒248-0005鎌倉市雪の下2-1-31
 TEL0467-22-0315 1980年第二次創刊
 ◇155 2018.11 A5 130p 680円
 《特集 荒神信仰と竈神》
 エッセイ かつおぶし 柳原 一成
 荒神信仰と竈神 飯島 吉晴
 竈神と土製支脚 内田 律雄
 中世芸能と荒神信仰
 一中世神楽の現場から 斎藤 英喜
 荒神信仰と曼荼羅 高橋 悠介
 愛染明王の名をもつ三宝荒神像一
 秋田・道川神社像をめぐる 石川 知彦
 東北地方の竈神 小谷 竜介
 竈神信仰の地域性 高見 寛孝
 八幡宮紹介
 武水別神社(長野県千曲市八幡)
 新刊紹介 『田の神石像・全記録』
 一南九州の民間信仰 八木幸夫
 著／『竹田からくりの研究』山
 田和人著
 ◇156 2019.2 A5 160p 680円
 《特集 実朝公神忌八百年》
 エッセイ 鎌倉と奈良 岡本 彰夫
 源実朝と幕府体制の確立
 一実朝と時代背景 坂井 孝一
 実朝と神仏 末木文美士
 実朝の調べと表現一源実朝と王朝
 和歌と万葉調と 荒木 優也
 実朝の実朝をめぐる人びと
 一御家人を中心に 高橋 典幸
 『金槐和歌集』を読む
 一先行歌との関係を中心に 久保田 淳
 『金槐和歌集』における百人一首
 歌 渡部 泰明
 『金槐和歌集』の魅力 尾崎左永子
 源実朝讃歌 岡野 弘彦
 源実朝公略年譜
 八幡宮紹介

八幡神社(静岡市葵区羽鳥)
 新刊紹介 『古代の神社と神職』
 神をまつり人びと 加瀬直弥著
 一『神田祭の都市祝祭論』戦後
 地域社会の変容と都市祭り 秋
 野淳一著
 ◆歴研よこはま 横浜歴史研究会
 〒232-0022横浜市区南区高根町2-8-12-1001
 木村高久方 1984年創刊
 ◇77 2018.11 B5 82p
 《特集 テーマ「明治維新」》
 幕末の分岐点となった小御所会議
 竹村 紘一
 近代日本の先駆者 小栗上野介 丸山 雅子
 元漁師が日本開国に貢献
 ジョン万次郎 加藤 導男
 勝てば官軍 瀬谷俊二郎
 能役者・梅若実の明治維新 近藤 政次
 明治維新一八幡大菩薩と廃仏毀釈
 高尾 隆
 土佐藩士の職務異動から幕末・明
 治維新期の時勢を読む 中村 康男
 社会福祉の先駆者 赤帽子三楽 木村 高久
 徳川氏へ鞍替えした秀吉股肱の武
 将・堀尾吉晴 竹村 紘一
 「大和守日記」家康ひ孫大名の生
 活と人生(1) 長尾 正和
 奈良西大寺(興正菩薩観尊編) 栗 光行
 血塗られたモンゴル帝国史 真野 信治
 古歌をたずねて(7)「古今和歌集
 ・仮名序」の冒頭文 丹下 重明
 安芸竹田家の遺跡を訪ねて 高野 賢彦
 名物「秋田了戒」 原 靖雄
 江戸時代の窓ガラス 高橋 正一
 写真の中の井伊直弼像 中島 賢治
 「いわさきちひろ絵描きです」展
 を見て 藤盛 詔子

「水戸徳川家ゆかりの地を訪ねる」
 旅行に参加して、考え思ったこ
 と 植木 静山
 石造龍吐水手鉢 雨宮美千代
 車窓雑記(2) 佐藤 猛夫
 関ヶ原の戦い
 ～平成最後の夏に想うこと 東谷 由紀
 北海道旅行
 ダブル＝台風・地震遭遇記 古谷 多聞
 横浜雑感二題 鈴木美恵子
 平成三十年度上期行事報告
 春季歴史散歩「谷中界隈に幕末
 ・明治を偲ぶ」 宮崎 幸世
 平成三十年度歴史探訪の旅「水
 戸徳川家ゆかりの地を訪ねる」
 桑原代津子
 第二回「こども歴史教室」の開
 催 (編・記)
 こども歴史教室発表を終えて
 ～子育て奮闘記 東 愛子
 追悼の辞 心友の死を悼む
 石関貞治さん 菅原啓一郎

中 部

◆観 賞 新潟文化財観賞会
 〒950-0852新潟市東区石山3-12-19
 斎藤寿一郎方 TEL025-286-1740 年4000円
 ◇40 2019.2 A5 83p
 同時代史料のなかの洋食レストラ
 ン元祖ミオラ 青柳 正俊
 歴史的建造物の価値とその読み解
 き 清水 徹
 にいがたの遺跡を守る
 一文化財保存運動の三十五年 木村 英祐
 平成三十年文化財観賞会研修旅行
 について
 山形県庄内地方の文化財を訪ね
 て 野本 健一

長崎県与板地区の文化財を訪ね
て 藤井 保男
第十一回越佐地方史談話会報告 野上 正栄

◆高志路 新潟県民俗学会
〒950-2022新潟市西区小針6-29-1
鶴巻武則方 TEL025-231-6100 1935年創刊
https://fsnp.mints.ne.jp

◇410 2018.11 A5 48p
地名の由緒と土地争いー越後国蒲
原郡谷内新田村の「ドンチ池」
を導入に代えて 星野 岳義
日本農業遺産決定
越後二十村郷の民俗的背景 広井 忠男
五月節句とショウブタタキ 金田 文男
『未木抄』“雪竿”歌の作者一誤読・
孫引きが架空人物を産み出すと
いうこと 鶴巻 武則
通年夏毛色のまま色付いている野
兔の特殊名ナベウサギなどー野
兔の異名・特殊名シリーズ(10)
天野 武
小報告 口寄せ 佐藤 和彦
書評 『越後妻有の民俗一私のメ
モ帳』 滝沢秀一著 鈴木 秋彦
資料紹介
『加茂市史』資料編5 民俗
斎藤義信氏を悼む 岩野 笙子
◇411 2019.3 A5 50p
《特集 鈴木牧之の周辺》
北越雪譜から秋山紀行へ 佐藤 和彦
『耽奇漫録』の牧之提供雪具
一頓・雪帽子・蓑・履物 鶴巻 武則
熊から受けた恩を忘れた報い
「北越雪譜 熊人を助く」その後
高橋 実
小報告
二面の欄間 高橋 郁子

岩波文庫『嬉遊笑覧』の『北越
雪譜』記事 鶴巻 武則
鶏で水中の亡骸を探す 佐藤 和彦
信仰習俗の変化 金田 文男
五十嵐東氏を悼む 鈴木 秋彦
新潟県民俗学会ウェブサイトの移
転について 岩野 邦康

◆新潟県文人研究 越佐文人研究会
〒959-0438新潟市西蒲区下山340-2
TEL025-688-5335 1998年創刊

◇21 2018.11 B5 259p
グラビア特集
片野松外とその周辺展より／佐
渡ゆかりの書文化展より／良
寛顕彰史上の画人 長井雲坪
展より
詩書画の交差する表現・片野松
外の人と作 岡村 鉄琴
佐渡の書文化初探・つれづれな
るままに 岡村 鉄琴
良寛と長井雲坪 岡村 鉄琴
明治二十年長善館と鈴木家 中野目 徹
明治三十四年 巖谷一六 越佐に
おける漢詩交流ー『新潟新聞』
所載作品を中心として 柴田 清継
魚住荊石の墓碑を訪ねて 木村 重圭
『相馬御風書簡集』
一妻テル宛て書簡について 金子善八郎
田原謙斎先生の書と浅田莊太郎先
生 登木口 進
歴史・文化を活かした地域教育と
地域おこし 太田 和宏
郷土の偉人・酒博士 二ノ倉 隆
漢詩人としての吉田東伍 田 春娟
一漢詩人阪口五峰との関わり
江戸琳派の画家 池田孤村の生地
は 旗野 博

松岡譲研究の現状及び長岡市郷土
史料館所蔵資料の紹介 劉 東 波
會津八一関係の最近情報 池内 力
良寛と趙州十二時歌 本間 明
鵬斎の北越醉跡点描 李 銘宗
小尾勘五郎・上田友助と『新潟真
景』 齋藤 倫示
山崎良平先生の角田・柏崎・糸魚
川・小千谷・富岡中学校教諭・
校長時代(1) 細井 昌文
日露戦争従軍書簡 江端 完治
森春濤の来越について 田宮 覺
五十嵐淳明 五世の孫 山田 城介
書家・高橋松願に関する断片的記
述 岡村 鉄琴
平野秀吉が学んだ巻小学校と恩師
萩原盤根・井上幹二郎 横田 善衛

◆ふるまち良寛てまり庵通信
〒951-8063新潟市中央区古町通2-538
TEL025-378-2202
www.kokodo.co.jp/ryokankai/temarian/
◇25 2019.1 A4 6p
「天上大風」の碑をたずねて
付録 良寛遺墨シート
長歌 かなたには 解説・小島正芳
言霊 言語常易出 行事常易虧
良寛百態 高橋郁丸・画
一期一会 良寛愛語会

◆まきの木 巻郷土資料館友の会
〒953-0041新潟市西蒲区巻甲3069-1
TEL025-672-6757 年1500円 1978年創刊

◇109 2018.10 B5 12p
黒鳥兵衛 近 武郎
「鋏」の形態変遷について一補遺 細井 佳浩
平成30年 春の研修旅行「長岡市
与板地域の歴史文化を訪ねて」山賀 誠

◆良寛だより 全国良寛会会報
〒951-8112新潟市中央区南浜通2 北方文
化博物館新潟分館内 TEL025-222-2262
1978年創刊

◇162 2018.10 A4 16p
良寛像「寂夜」(野田九浦・画)
リレーエッセイ
良寛つれづれ(11) 出合い 木島 勉
良寛遺墨鑑賞(10)
漢詩 中秋歩月 小島 正芳
折々の良寛(51) 第41回全国良寛
会総会 佐渡大会開催 長谷川義明
全国良寛会佐渡大会を終了して 齋藤 正
各地良寛会だより(3) 良寛愛護
会の巻 会名は良寛謹書の「愛
語」から 高杉 幹夫
備中玉島と良寛さん(3) 良寛さ
まと、玉島・円通寺(下) 田邊 宏三
相馬御風の良寛(11)
帰郷について 金子善八郎
良寛百二十年記念「良寛展」秘話
会津八一の相馬御風あて書簡
柳本 雄司
玉元賀 良寛賛 本間 勲
良寛 托鉢の歌 素描(下) 吉田 福恵
良寛記念館の館長に永寶卓氏が就
任 永寶 卓
トピックス 雪梁舎美術館「捧賢
一追悼 良寛と村山半牧展」/
中野邸記念館「良寛名品展」 小島 正芳
新刊紹介 『相馬御風書簡集』(上
・下巻 糸魚川市教育委員会刊)
吉井 清一
良寛を訪ねて(11)
郷里への途 糸魚川 吉井 清一

◇163 2019.1 A4 16p
「良寛様と子供達」(三浦文治・画)
みうら・ぶんじ(明治39年～平

成6年)
 リレーエッセイ 良寛つれづれ(12)
 良寛と三浦文治先生、そして渡
 辺秀英先生 中山 輝也
 良寛遺墨鑑賞(11)
 扇面和歌 あきのよは 小島 正芳
 折々の良寛(52) 一般財団法人良
 寛会の発足 長谷川義明
 各地良寛会だより(4)
 分水良寛会の巻 氏田 公基
 良寛に学ぶ(上) 子供への愛情
 (「チャンダナ」より転載) 加藤 僖一
 盛会に良寛・貞心尼 手まり茶会
 長岡良寛の会が初めて開催 安達 武男
 恒例 秋の役員会開催 宮迫 勇
 相馬御風の良寛(12)
 権力にどう対応するか 金子善八郎
 江戸時代の良寛の本一「発句類題
 越後獅子一・二」 岡田 守
 備中玉島と良寛さん(4)
 円通寺の伽藍と石碑 永原 千秋
 新刊紹介 『良寛を今に伝えた・
 小林二郎伝』(喜多村園子著)、
 『良寛の俳句～その面白さ』(金
 山有絃著)、『良寛 軽やかな生
 き方』(境野勝悟著) 柳本 雄司
 良寛を訪ねて(12)
 生家を通り過ぎ郷本に 吉井 清一

◆富山史壇 越中史談会
 〒930-0115富山市茶屋町33-2 富山県公文
 書館内 ℡076-434-4050 1954年創刊
 ◇187 2018.11 A5 66p 1300円
 近世中期越中国砺波郡の朝鮮人御
 用一享保四年砺波郡十村衆の駅
 馬仕立を中心に 横山 恭子
 富山藩の京都屋敷と大坂蔵屋敷 栗三 直隆
 史料紹介

『乙夜之書物』に記された「佐々
 成政のさらさら越え」 萩原 大輔
 富山県関係の米騒動史料(補遺)
 近藤 浩二
 追悼・稲垣剛一先生 太田 久夫
 書評と紹介
 川崎晃著『万葉の史的世界』 木本 秀樹
 書評 高野靖彦著『安政飛越地震
 の史的研究―自然災害にみる越
 中幕末史』 近藤 浩二
 平成30年度研究発表大会発表要旨
 白山平泉寺と九頭竜川流域の寺
 社 阿部 来
 明治期の芦峯寺・燭堂破却と燭
 尊への信仰 細木ひとみ
 考古資料・文献から見た富山城
 ・城下町の食文化について
 納屋内高史／宮田康之
 人別帳からみた近世後期の井波
 町 小西 昌志
 最近の地方史情報 中条 充子

◆とやま民俗 富山民俗の会
 〒930-0881富山市安養坊56甲-1 富山市民
 俗資料館内 年4000円 1974年創刊
 ◇91 2019.1 A5 16p
 富山の螺旋水軍とその活用につい
 て 吉田 俊介
 富山県魚津市古鹿熊民俗抄(3)―
 昆虫・魚類・両生類・爬虫類・ム
 ラに出入りする者のことなど 森 俊
 昭和初期、旧西砺波郡若林村(小
 矢部市)西中の馬耕 加藤 享子

◆北陸石仏の会会報
 〒939-1315富山県砺波市太田1770
 尾田武雄方 ℡0763-32-2772
 年3000円 1993年創刊

◇56 2018.12 A4 10p
 一石六観音 滝本やすし
 コレラと石仏 尾田 武雄
 富山市茶屋町「鎮火碑」の由来 平井 一雄
 聖徳太子の彫像 滝本やすし
 第57回例会報告
 一津幡町の石仏めぐり 池田 紀子

◆若越郷土研究 福井県郷土誌懇談会
 〒918-8113福井市下馬町51-11
 福井県立図書館内 ℡0776-33-8860
 年3500円 1956年創刊
 ◇307 (63-2) 2019.2 B5 88p
 「南越雑話」(4)―翻刻と現代語訳
 「南越雑話」輪読会
 坂井市の伝説と昔話(2)
 一語れるものに 枋谷 洋子
 公文書に見る今立吐醉の履歴 青木 孝文
 グリフィスの福井時代の学生たち
 (2)―山形伸芸 沖 久也
 橋本左内肖像画再考
 一「偉人像」を読み解く(2) 長野 栄俊

◆地域と社会 佐藤弘
 〒402-0005山梨県都留市四日市場902-3
 2017年創刊
 ◇4 2018.12 B5 16p
 水かけ論について 寛文の上谷村
 検地帳を読む(2) 金田準之助
 近代山梨県経済における日露戦争
 恐慌後の農村不況の状況 深澤 竜人

◆飯田市歴研ニュース 飯田市歴史研究所
 〒395-0803長野県飯田市鼎下山538
 ℡0265-53-4670
 www.city.iida.lg.jp/soshiki/39/201700601.html
 ◇97 2018.12 A4 4p
 資料展示コーナーの紹介 川路の

歴史を探る―旧川路村役場文書
 の調査成果より 宝暦4(1754)
 年「下川路村・時俣村・今田村
 天龍川争論絵図」、大正12(1923)
 年「下川路村第六区養蚕組合第
 二回育蚕品評会審査宝庫報告
 書」、昭和17(1942)年「分村開
 拓民関係綴」、昭和20(1945)
 年「豊川工廠古原部隊終結関係
 書類(天竜一号)」
 伊那谷の兵士たちの思いを想像す
 る 上河内陽子
 旧山本村役場文書調査を開始し
 した 太田 仙一
 地域史講座を開講しました「川
 路村の養蚕業に生きた人々の歴
 史」 田中 雅孝
 「伊那谷の世界史」を編む試み
 円卓会議への期待 板垣 雄三
 歴史研究所の現場からから一大原
 薬局史料調査を通して思うこと
 羽田 真也

◇98 2019.2 A4 4p
 歴史研究所と地域連携
 一設立15周年を迎えて 羽田 真也
 地図史料のデジタルアーカイブ構
 築に向けて 福村 任生
 「お蚕様の先生」の近現代
 一天龍社資料を通して 太田 仙一
 リレーミニエッセイ(17) 箕輪町
 長岡で区有文書を調査していま
 す 吉田 伸之
 研究活動助成報告会を開催します
 「ミチューリン会機関紙に見る
 農業技術運動の展開と変容」壬
 生雅穂さん、「琴原神社にかか
 る史実を調査し文書化と、文化
 として後世に引き継ぐ」川路琴

原神社氏子総代会		
◆伊那 伊那史学会		
〒395-0081長野県飯田市宮ノ上4048		
TEL0265-22-6017 年5500円		
◇1086 (66-11) 2018.11 A5 50p 550円		
口絵 大鹿村福德寺本堂の仏像		
(薬師・阿弥陀如来坐像)一仏像		
が物語る福德寺の創建年代	北村 尚幸	
北条薬師堂大乘妙典一石字塔と道		
樹禅師一薬師堂にて国仙禅師に		
よる道樹三回忌法要	鈴木 信孝	
富田絹の創始者一筒井キサノ(旧		
姓橋爪)の「仕事おこし」の発		
想と実践	知久 一彦	
天竜川左岸の御社宮司神(2)		
一伊那谷南部の小字から(9)	今村 理則	
田中芳男・義廉兄弟編集の小学読		
本と嫁入り本について	吉澤 健	
思い出の昭和(6) 物で遊ぶ	神村 透	
思い出の昭和(7)		
昭和五年生まれの小学校時代	篠田 正信	
下伊那日録(2013年10月～12月)	寺田 一雄	
◇1087 (66-12) 2018.12 A5 50p 550円		
口絵 白山寺日蔵の仏涅槃図	織田 顕行	
諏訪建国事情	桐原 健	
天竜川左岸の御社宮司神(3)一伊		
那谷南部の小字から(10)	今村 理則	
飯沼北条薬師庵の一石塔改修工事		
と文化財保護	岡田 正彦	
宮下相次郎「事務日誌(明治期)」		
(4) 和合(阿南町)で鉄道(中央		
線)敷設の測量が行われた	松澤 英男	
思い出の昭和(8) 通学苦勞話(2)		
	三石 尊	
思い出の昭和(9) 昔日の思い出		
	棚田 芳雄	
下伊那日録(2014年1月)	寺田 一雄	

伊那 第六六巻総目録		
〈2018.1〉より〈2018.12〉まで		
◇1088 (67-1) 2019.1 A5 50p 550円		
《民俗特集》		
口絵 風越山麓にあった五重塔と		
三重塔	櫻井 弘人	
風越山をめぐる信仰		
一重陽の節供とオクンチ	櫻井 弘人	
飯田大火の記憶と町屋の被災・復		
興の記録から	松上 清志	
赤子の着物(2) 麻の葉模様の着		
物とお宮参りの着物	片桐みどり	
御祝棒一遠山上町の事例から	北原いずみ	
飯田市上久堅越久保の事念仏の思		
い出	西澤 洸	
◇1089 (67-2) 2019.2 A5 50p 550円		
口絵 龍江大平薬師堂の薬師如来		
立像	織田 顕行	
平田国学と飯田下伊那(上)	青木 隆幸	
水戸の浪士通行と人々の負担	伊坪 達郎	
鷲流峡を跨ぐ「天龍橋」と地域の		
人々の生活一第四代橋完成を機		
に改めて見直す(3)	大原千和喜	
落語家圓丈師匠の著書から狛犬に		
関心をもって	木下 浩志	
史蹟を訪ねて緑の旗は行く		
第463回郷土巡礼「飛鳥・奈		
良・京都の旅」		
伊那史学会史跡探訪		
奈良・京都の旅 旅行記	原田 望	
感動の奈良・京都の旅一当地と		
のかかわりにふれて	山内 尚己	
旅行に参加して	木下懿都子	
飛鳥・奈良・京都の旅に参加し		
て	丹治 ヒロ	
史跡巡礼の旅に参加して	小島 稔	
義仲寺の山吹姫の供養塚と下條		
村の一石五輪塔	岡田 正彦	

◇1090 (67-3) 2019.3 A5 50p 550円		
口絵 下市田獅子舞の獅子曳きは		
いつ頃、なぜ採り入れられたの		
か	橋都 正	
増野原開拓七十年～満州から未開		
の増野原に挑む(1)	芦部 公一	
平田国学と飯田下伊那(下)	青木 隆幸	
調査報告 飯田市山本地区のたば		
こ倉について	中山 京子	
平谷村の新盆行事「たいとばし」	宮下 英美	
天竜川左岸の御社宮司神(4)		
一伊那谷南部の小字から十一	今村 理則	
下伊那日録(2014年2月～4月)	寺田 一雄	
◆伊那路 上伊那郷土研究会		
〒399-4501長野県伊那市西箕輪3180		
山口通之方 TEL0265-73-5538 年5000円		
◇742 (62-11) 2018.11 A5 40p 500円		
『古今書院』創設者・西春近村出		
身の橋本福松(10)一教員から実		
業家へと歩んだその波乱の生涯		
に学ぶ	三上 徹也	
ネパール シタ・ダルマ小学校贈		
呈式 ヒマラヤトレッキング		
アンナブルナ山群	清水 満	
思い出の人・思い出の事(25) 伊		
那高女で愛唱された「月見草」		
の歌	桃澤 匡行	
伊那市が取り組む古い地名調査		
(12)	竹松 亨	
伊那谷のイカル		
一民俗の窓を通して(34)	吉田 保晴	
古文書の窓(136)		
宗門改の厳しさ	松澤英太郎	
図説・上伊那の民俗(19) 石曾根		
諏訪神社獅子舞(飯島町石曾根)		
	三石 稔	
◇743 (62-12) 2018.12 A5 40p 500円		

《広域特集》		
〈第43回上伊那歴史研究会県外実地踏査報告		
遠州静岡と上伊那とのつながりを探る一秋		
葉信仰や早太郎伝説を視点に〉		
秋葉みちから静岡県へ	田村 栄作	
秋葉神社上社に参る	竹若 康雄	
賀茂真淵記念館と秋葉街道	春日利比古	
早太郎伝説への仮説	杉田 純治	
秋葉総本殿可睡齋を訪ねて	高木 幸伸	
秋葉街道・中央構造線をゆく	吉田 保晴	
一度は参詣しなかった秋葉神社へ		
	下平 哲	
秋葉信仰 解けた疑問	小澤 敏美	
暑い空の下での出来事	久保田 諒	
三峰川の洪水に立ち向かってきた		
青島区の秋葉講、その他の信仰		
行事	矢島 信之	
発見! @資料「朝鮮同胞に對する		
内地人反省資録」	矢澤 静二	
古文書の窓(137)		
御柱祭催行についての返答書	松澤英太郎	
ふるさとの子育て(34) 毒母	大槻 武治	
『伊那路』第62巻総目次 上伊那郷土研究会		
図説・上伊那の民俗(20) 鞍掛の		
デーモンジ(辰野町北大出鞍掛)		
	三石 稔	
◇744 (63-1) 2019.1 A5 40p 500円		
日露戦争における上伊那地方の出		
征兵士と農村社会の一樣相	伊藤 修	
中央アルプス地名考(2)		
中央アルプスから流れ下る滝	吉田 保晴	
「第19回上伊那郷土研究交流の集		
い」報告	吉田 保晴	
交流の集いに参加して	佐藤 花子	
宮田宿を歩き、昔を思う		
一昭和初期の宮田宿	岸本多恵子	
宮田村の代田家寄贈品概要	小池 勝典	
古文書の窓(138)		

火元人の入寺御免を 下平すみ子
◇745 (63-2) 2019.2 A5 40p 500円
《井月特集》
小泉恂之介講演「井月と一茶」を
聴いて 宮澤 宏治
伊那市の経塚について(3)―「キョ
ウヅカ地名」を中心に 伊藤 和也
伊那谷が取り組む古い地名調査
(13) 竹松 亨
伊那谷の校歌探索(1) 伊那史学
会主幹 原田島村先生 春日利比古
文化短信 武井寛太郎を顕彰した
『辰野町資料』発行 桃澤 匡行
古文書の窓(139)
酒屋稼ぎ鑑札頂戴願い 三浦 孝美
図説・上伊那の民俗(21) 道祖神
の祭り(伊那市高遠町山室宮沢)
三石 稔
◇746 (63-3) 2019.3 A5 40p 500円
《民俗特集》
無形民俗文化財として活かし、継
承する 三石 稔
中川村の銭不動―「千匹絵馬」と
「軍人の絵馬」 中崎 隆生
美味しい上伊那の食 田中 佳乃
伊那谷のシジュウカラの仲間
―民俗の窓を通して(35) 吉田 保晴
見つけた伊那市横山「春日社奉
額句合」の記録 清水 満
古文書の窓(140)
乳母の世話の話 三浦 孝美
図説・上伊那の民俗(22)
お日待ち(飯島町日曾利) 三石 稔
書籍紹介 『長野県中・南部の石
造物』、『長野県道祖神一覧』 中崎 隆生

◆信濃 信濃史学会
〒399-0036長野県松本市村井町南1-28-35

年10200円 TEL0263-58-1213
www.shinano-shigakukai.jp
◇826 (71-11) 2018.11 A5 92p 1150円
《近現代特集》
「伊藤泰輔日記」が語る二・四(教
員赤化)事件―上伊那地域の事
例にみる 矢澤 静二
戦時体制下におけるリング出荷組
合と主産地形成 横山 憲長
1937年10月初旬の国際世論の転換
―盧溝橋事件から南京占領まで
鈴岡 潤一
◇827 (71-12) 2018.12 A5 84p 1150円
《地域特集 木曾の古代中世》
木曾日義の古代・中世遺跡から
美濃国小吉蘇村⇒信濃なる大野
保⇒信濃国大吉蘇荘 神村 透
『信州下向記』と中世の南木曾 遠山 高志
木曾路における「送挙状」
―機能論的文書論 村石 正行
美濃国恵奈郡絵上郷・絵下郷と吉
蘇路 福島 正樹
中世荘園制下の栽桑と検注 渡邊 太祐
書誌紹介 柴辻俊六著『織田政権
の形成と地域支配』 村石 正行
『信濃』第70巻総目次
◇828 (72-1) 2019.1 A5 84p 1150円
《民俗学特集号》
奥三河における近世後期の疫神祭
祀―愛知県豊根村の鍵取り屋敷
文献を通して 松山由布子
『風俗画報』の民俗資料性
―近代に記録された民俗事象 石井 和帆
身体に触れる
―スキンスリップの文化 倉石 美都
京都における盆行事の展開
―六道参りを中心に 武井 成実
◇829 (72-2) 2019.2 A5 90p 1150円

松本藩(県)から筑摩県への移行期
における病院・医学校政策の転
回 塩原 佳典
満蒙開拓青少年義勇軍送出と郡市
教育会の教師たち(上)―信濃教
育会上伊那教育部会を中心にし
て 本島 和人
地方自治における戦前期公民観に
ついての史的考察 清水 一明
鎌倉期における信濃知久氏につい
ての覚書 花岡 康隆
研究余滴 木百年妻深井氏墓碑銘
―北信濃化政文化の遺産 高橋 敏
◇830 (72-3) 2019.3 A5 106p 1150円
《特集 学生フレッシュ論文入選作》
報告 懸賞「学生フレッシュ論文」
審査経緯報告 小松 芳郎
特賞 近世後期手習塾における学
習とその成果―下総国葛飾郡藤
原新田「安川舎」を事例に 竹中 友亮
佳 作
撰関期の国分寺・国文尼寺一功
過定「神社仏寺条」と修造 羽毛田紀音
近世大名の家格
―松代藩真田家を事例に 山下 祐樹
阿部信行と昭和戦前期の日本政
治 大久保瑞彦

◆千 曲 ふるさとに学ぶ 東信史学会
〒386-0024長野県上田市大手2-7-13
上小教育会館内 TEL0268-24-2182
年3000円 1974年創刊
◇167 2018.10 A5 66p
真田氏の初祖の解明は―「山家郷
地頭」の属性究明に戻せ 櫻井 松夫
濁川源泉部を埋没させた浅間山天
明噴火物の正体 江川 良武
小諸城下荒町朝鮮種人参事件 坂口みのり

歴史随想 桑と養蚕 丸山 正俊
窓 わがまちの歴史文化を知ろう
遊ぼう―第17回小諸町並みミュ
ージアム開催 牧野 和人
連載講座
古文書解説講座 第158回 牧 忠男
扉写真と解説
軽井沢町にある石仏群 金井喜平次
◇168 2019.2 A5 56p
天正の真田・徳川間の緊張と小諸
富士見城 寺島 隆史
信濃国分寺と付属施設 尾見 智志
「旗塚」の現況について
塚原吉政／小駒はるみ
軽井沢・雲場池の起源と推移
江川良武／大久保保
窓 重要伝統的建造物群保存地区
海野宿 海野宿保存会活動を伝
える 宮下 知茂
連載講座
古文書解説講座 第159回 斉藤 洋一
扉写真と解説
登録有形文化財 龍洞院架道橋
平林 大樹

◆長野 長野郷土史研究会
〒380-0905長野市七瀬南部14-7
TEL026-224-2673 年4000円 1964年創刊
www.janis.or.jp/users/kyodoshi/
◇311 2018.12 A5 72p 800円
口絵・表紙解説
古牧地区と西長野の地藏盆 小林 玲子
北信濃の俳諧を指導した小林迎祥
(1) 矢羽 勝幸
善光寺と周辺の地藏盆 小林 玲子
長野の祇園祭(御祭礼)
平成の屋台巡行 小林竜太郎
資料 ながの祇園祭屋台巡行の記

録
ナノグラフィカが関わる西之門町
の歳時記 栢木 希望
最近読んだ歴史小説から(6) 鬼頭 康之
小説『モリのいる場所』執筆の記
録 小林 雄次
郷土史の視界(12)
『一茶発句集』と今井彦右衛門 小林 一郎
生きた町の歴史を知ろう(17) 三
十三年続いたNHK長野放送局
お昼前番組の終了 小林竜太郎

◆長野県民俗の会会報

〒384-2104長野県佐久市甲135 田澤直人
方 TEL0265-88-6927 年5000円 1978年創
刊 nagano-minzoku.chu.jp

◇41 2018.11 A5 132p
講演記録 民俗学とは何か―多様
な姿と一貫する視点 島村 恭則
葛藤する双体道祖神像
―道祖神像容碑を読む試み 倉石 忠彦
死はどう認識されたのか
―長野県のタマヨビ儀礼から 宮本 尚子
開田高原の昭和三〇年代の草地利
用 浦山 佳恵
現代における理想の生き方を探
る―アンケート調査の結果をも
とに 安藤 有希
伝説の変化と民俗社会―安曇野市
豊科真々部の行人塚伝説をめぐ
って 福澤 昭司
三遠南信の亡霊塔
―怨霊信仰と供養の形を探る 下平 武

◆長野県民俗の会通信

〒384-2104長野県佐久市甲135
田澤直人方 TEL0265-88-6927 年5000円
nagano-minzoku.chu.jp

◇268 2018.11 B5 10p
七条道祖神社 倉石 忠彦
北安曇郡池田町と松川村のオフネ
にかかわる祭礼(1) 白井ひろみ
四柱神社「エビス講」の今・昔 渡辺 宏
書誌紹介 小畑紘一著『祭礼行事
「柱松」の民俗学的研究』 市東 真一
◇269 2019.1 B5 12p
松本ロゲイニングへの木遣り参加
―伝統芸能の可能性 太田 真理
移住者三割のむら
―上田市野倉を訪ねて 土田 拓
平成三〇年度総会概要報告 (三石)
安藤礼二氏「折口信夫の『翁』」を
拝聴したことなど 深澤和歌子
「折口信夫の翁」をお聞きして 福澤 昭司
葉書でつぶやくコーナー “偽銘”
の碑石―『長野県道祖神碑一覧』
から 倉石 忠彦

◆岐阜市歴史博物館だより

〒500-8003岐阜市大宮町2-18-1 岐阜公園
内 TEL058-265-0010 1985年創刊
◇101 2019.2 A4 8p
表紙 国宝 池大雅《十便図》よ
り「釣便」/国宝 与謝蕪村《十
宜図》より「宜暁」
特別展「川端康成と東山魁夷 美
と文学の森」
歴博セレクション「鵜飼―描かれ
た漁獵」
加藤栄三・東一記念美術館「日展
出品作と下絵」
加藤栄三・東一記念美術館「所蔵
作品展～新収蔵作品から」
博物館ニュース 岐阜市歴史博物
館分室原三溪記念室 子ども向
けワークシート『三溪すごろく』

作成しました！
館蔵資料紹介 白衣観音・般若心
経印籠 水谷華山作

◆月刊通信ふるさとの民俗を語る会

民俗文化研究所
〒438-0086静岡県磐田市見付3532
TEL0538-32-3546 年2000円 2007年創刊
www4.tokai.or.jp/child-cj/
◇138 2018.11 A4 4p 300円
島田上踊りに参加して 花柳照波弥
◇139 2018.12 A4 4p 300円
屋台と歴史と変遷 立花 爾

◆遠州常民文化 遠州常民文化談話会会報

〒437-0211静岡県周智郡森町城下618-1
山内薫明方
◇242 2018.11 A4 18p
『佐久間の民俗』の刊行によせて 名倉慎一郎
畑梨の霜月祭 伊藤久仁俊
西国三十三所御詠歌 伊藤久仁俊
佐久間町吉沢八幡社の祭 伊藤久仁俊
小相月・八幡神社の祭り 伊藤久仁俊
◇243 2018.12 A4 18p
『佐久間の民俗』報告書刊行記念
の集い 中山 正典
2018年井川の焼畑農業の会活動へ
の参加報告 鈴木 勝見
奥三河の農耕儀礼(177)一年中行
事と農家のしきたり(7)
文・伊東文弘/絵・前田百合子

◆赫 夜―カグヤ

富士山かぐや姫ミュージアム博物館だより
〒417-0061静岡県富士市伝法66-2 TEL0545-
21-3380 museum.city.fuji.shizuoka.jp
◇73 2019.2 A4 4p
第56回企画展「富士が見守る交流

の道 古代東海道と富士山ジャ
ンクション」 藤村 翔
夏のテーマ展「幻の宿場町 中吉
原宿～謎に包まれた40年間」 杉本 寛郎
富士山の玉手箱「平成に旅立った
富士のふもとの巨星たち」 佐野あき沙
静岡県富士山世界遺産センター・
富士山かぐや姫ミュージアム共
同企画展「富士山の女神 かぐ
や姫」 秋山 裕貴
ミュージアムキャラクターアワー
ド2018 ふじかぐちゃん第2位
の快挙！／ふじかぐちゃんやラ
ッピング自転車車が寄贈!!
文化財防火デーに旧稲垣家住宅で
消火訓練 高林 晶子
一品展示室 蚊帳

◆静岡県近代史研究 静岡県近代史研究会

〒422-8529静岡市駿河区大谷836
静岡大学人文社会学部法学科 橋本誠一研
究室 TEL054-238-4544
年4000円 1979年創刊
◇43 2018.10 A4 196p 1500円
《特集 原口清先生追悼号Ⅱ》
静岡県近代史研究会総会記念講演
原口史学に学ぶ―『原口清著作
集』(全5巻)の編集から 勝田 政治
原口清先生遺稿より
明治維新史研究の一視点(『歴
史評論』第150号、1963年2月、
春秋社)
岡田良一郎について(明治史料
研究連絡会『明治史料』3、
1960年6月)
前島豊太郎について(明治史料
研究連絡会「明治史料通信」
第25号、1959年9月25日)

静岡県の百年をどう見るか (19
68年9月12日 静岡新聞夕刊)
原口清先生略歴
原口清オーラルヒストリー：その
人生と歴史学を語る
原口清ヒストリー研究会・編

◆静岡県近代史研究会会報

〒422-8529静岡市駿河区大谷836
静岡大学人文社会科学部 橋本誠一研究室
年4000円

◇482 2018.11 A4 4p 100円
11月例会レジュメ ある自治体行
政30年史の試み—『富士市史通
史編(行政)』の紹介をかねて 橋本 誠一
総会報告

会務報告／今後の会務方針

原口清先生の昔の文章を掲載しま

す。(3) 書評 家永三郎『革命
思想の先駆者—植木枝盛の人と
思想—』について 原口清(『民
科静岡支部ニュース』№26
1956.2.10)

◇483 2018.12 A4 4p 100円
12月例会レジュメ 漁場利用の史
的変遷と海村における利益分配
—テングサ漁を行う伊豆白浜・
須崎、台湾新北市の海女を事例
に 齋藤 典子

◇484 2019.1 A4 4p 100円
1月例会レジュメ 近世・近代に
おける有東木の生業—有東木村
名主・戸長役場文書の調査を通
じて 岡村 龍男

原口清先生の昔の文章を掲載しま
す。(4) 1955年 ある日の調査
から 原口清(『民科静岡 歴史
支部ニュース』№11 1955.12.15)

書籍紹介 一條三子著『学童集団
疎開—受入れ地域から考える』鈴木 雅子

◇485 2019.2 A4 4p 100円
2月例会レジュメ 韓国の高度成
長とベトナム戦争—米国安全保
障ファイルでみる「知られざる
真相」 朴 根好
鳥羽・伏見の戦犯と静岡藩 樋口 雄彦

◇486 2019.3 A4 4p 100円
3月例会レジュメ
萩野太作日記から見る静岡大火
と勤労奉仕 飯塚ひかる
日本刑事警察の組織体制と捜査
手法について—1930年代から
日中全面戦争開始前後まで 野間 龍一
短 感 羽間 昭夫

◆静岡県地域史研究会報

〒421-3103静岡市清水区由比750-306
北村啓気付 年4000円 2011年創刊
◇222 2019.1 B5 4p
「転法輪三条家」の存続とその呼称
土屋比都司

10月例会報告要旨
遠江松井氏の基礎的研究 鈴木 将典
11月例会報告要旨 大石泰史著
『今川氏滅亡』書評会 森田 香司

◇223 2019.2 B5 4p
桶狭間行軍 今川義元生誕五百年
によせる 原田 千尋

7月例会報告要旨 静岡藩商法会
所・常平倉の機能—「(商法会所)
日記」の分析を中心に 岡村 龍男

11月例会報告要旨 大石泰史著
『今川氏滅亡』書評会 第二章・
第三章 糟谷 幸裕

12月例会報告要旨 戦国期におけ
る富士山興法寺の動向 松本 将太

◆静岡県民俗学会会報

〒424-0053静岡市清水区渋川1-9-6-101
web.thn.jp/s-folklore/

◇169 2018.10 A4 4p
第1回例会のお知らせ 鈴木勝晃
氏「小規模博物館の存在意義と
役割—資料館やまびこの活動活
性化と地域への貢献より」、井
上卓哉氏(発表題名は未定)

川柳のドンデンジャン 勝間田仁美

◇170 2019.1 A4 6p
平成30年度第2回例会 内野の火
伏念仏見学会

第1回例会報告 (大嶋)
調査報告 山随権現の幡廻し 渡邊 好洋

◆静岡歴研会報 静岡県歴史研究会

〒422-8045静岡市駿河区西島363-55
篠原旭方 TEL054-286-8659

◇153 2018.11 B5 16p
てんやわんや、珍事続出の旅でし
た 長野・山梨県珍道中 一泊
二日史跡見学会 大川 誠一

第121回研究会 中村典夫氏の「駿
河の石部御蔵と石部湊」の概要
／石川豊子氏の「私のふるさと
の戦前・戦後の歴史」の概要／
森田幸雄氏の「梶原平三景時亡
き後の入江一族」の概要
信長と家康の決戦場の遠江へ 若
き日の家康を偲んで 日帰り史
跡めぐり 大川 誠一

追悼 佐藤吉男氏の死を悼む
追悼 石川豊子氏の死を悼む

◆あつた 熱田神宮宮庁

〒456-8585名古屋市熱田区神宮1-1-1
TEL052-671-4151 www.atsutajingu.or.jp

◇160 2018.11 A5 32p

熱田雑集(16) 太田 正弘
創祀千九百年記念造営事業の回顧

(17) 小久保雅広
熱田神宮スカウトと台湾スカウト
との交流について 南部 将也

◇261 2019.1 A5 32p
熱田雑集(17) 太田 正弘
創祀千九百年記念造営事業の回顧

(18) 小久保雅広

◆郷土文化 名古屋郷土文化会

〒466-0064名古屋市昭和区鶴舞1-1-155
名古屋市鶴舞中央図書館 TEL052-741-9822
年3000円 1946年創刊

◇231 (73-2) 2019.2 A5 94p 1500円
林董一先生の御ことども 服部 仁
林董一先生を悼む 津田 豊彦
断夫山の伝説

—熱田神宮との関連より 辻村 全弘
織田信秀の没後 太田 輝夫
名古屋城三の丸の役割

名古屋城下処々(1) 小林 元
小井田商人考
—紙屋文左衛門の場合 半田 実

愛知県初代警察本署長
長州藩士栗屋和平 澤柳倫太郎
「名古屋市守山区上志段味の歴史」

補遺(7) 大野 哲夫
愛知県内の主な市の市章について
の紹介 加藤 政雄

鷹場に関する規定
—永田市蔵の筆記から 松井 雅文
「津島のまち歴史探究」に参加し
て 横山 住雄

◆新編西尾市史だより 西尾市

〒445-0847愛知県西尾市亀沢町480 西尾

市岩瀬文庫内 西尾市教育委員会事務局
文化振興課 西尾市史編さん担当
TEL0563-56-6660 2015年創刊

◇5 2019.2 A4 8p

判明！佐久島の地層の堆積年代

内田義和／吉村暁夫／山本康孝
こちら近・現代部会です。 宇佐美正史
調査報告

二つの城館跡の位置が判明 石川 浩治
主な活動記録 編さん委員会／編
集委員会／考古部会／古代・中
世部会／近世部会／近・現代部
会／自然部会／美術工芸・建造
物部会／民俗部会

特別講座「市史編さんの現場から
Ⅲ」

◆銃砲史研究 日本銃砲史学会

〒114-0014東京都北区田端3-1-12 コスモ
プレイス田端403 栗原洋一方(連絡先)
年10000円 1968年創刊 www.fhaj.jp

◇386 2019.1 A4 98p

モミシノ(火縄銃のリーマ)の構造
と成分について

中江秀雄／五十嵐芳夫／峯田元治
報 告

(新発見)小栗又一忠高の鉄砲

峯田元治／瀧上昭治

T V番組のための火縄銃性能実

験(T V番組取材への対応) 青木 孝
陸軍火薬研究所における銃砲用

火薬の歴史―無煙火薬(後) 栗原 洋一
見学会報告 「小江戸川越を散歩
しませんか」 峯田 元治

資料紹介 江戸鉄砲小道具の世界

「セセリ」 小西 雅徳

◆蓬 左 名古屋市蓬左文庫

〒461-0023名古屋市東区徳川町1001

TEL052-935-2173 1980年創刊

housa.city.nagoya.jp

◇96 2018.11 A4 8p

蓬左文庫典籍研究会の活動 廣瀬 憲雄

展示室1・2 企画展 書は語る

―30センチのエスプリ

展示室1・2 企画展 ひなを楽

しむ―旧家のひな飾り

徳川慶勝の襲封とその背景 木村 慎平

表紙 鶴の草子 作者不詳 1冊

29.2cm×22.3cm 末松 美咲

◆まつり まつり同好会

〒496-8049愛知県愛西市塩田町砂山25

TEL0567-37-0441 年5000円 1961年創刊

◇80 2018.12 A5 74p 2500円

《特集 祭礼と造花》

口絵・表紙写真 滋賀県甲賀市多

羅尾のハナバイ(里宮神社) 撮影・江木淳人

造花と習俗―滋賀県甲賀市のハナ

バイを事例に 江木 淳人

祭礼における造花について 東條さやか

念仏を唱えない念仏踊り―山形県

置賜地方と栃木県・茨城県の念

仏踊りの比較から 坂本 要

◆まつり通信 まつり同好会

〒496-8049愛知県愛西市塩田町砂山25

TEL0567-37-0441 年5000円

◇598 (58-6) 2018.11 B5 8p 600円

表紙写真のことは 仏向寺の開山

忌踊り念仏 山形県天童市小路

(旧時宗一向宗) 11月17日 坂本 要

菊にまつわる文化と伝承(1) 大森 恵子

壱岐の大大神楽見学記 田中 青樹

新刊紹介 名古屋城下の山車行事

調査報告書 名古屋市教育委員
会発行／暴れ牛と神さびる熊―
供犠と霊送りの民俗誌 星野紘
著

学会情報

民俗芸能学会平成30年度大会

◇599 (59-1) 2019.1 B5 8p 600円

表紙写真のことは 平得のタンド

ゥリー(種子取祭) 沖縄県石垣

市平得 1月 成人の日前後の

土日 坂本 要

菊にまつわる文化と伝承(2) 天野 卓哉

新刊紹介 あしなか 第参百拾参

輯(創立80周年記念) 山村民俗

の会 西南日本特集／高志路

第410号 新潟県民俗学会

東海民俗情報 第49回東海民俗研

究発表大会／真桑人形情報 平

成31年真桑人形浄瑠璃上演の情

報

◆もりやま 守山郷土史研究会

〒463-0075名古屋市守山区市場15-12

道木正信方 TEL052-791-2304

年3000円 1982年創刊

◇38 2019.1 B5 208p

江戸時代の村界復原の試みと結果

加藤 武彦

名古屋城三の丸の生活 小林 元

愛知の陸軍病院一名古屋陸軍病院

・臨時名古屋第二陸軍病院・豊

橋陸軍病院 伊東 重光

山田郡彷徨(6)

一流域の村々の歴史 徳田百合子

阿弥陀三尊来迎図 藤森 宏美

コモンジョ 西尾 春子

資料紹介

小幡村御觸留(30)―明治八年

御用留(6) 守山郷土史研究会

春日井郡大森村文書(3) 道木 正信

村井李次郎日記抄(1) 道木 正信

守山郷土史研究会の歩み(38)

守山郷土史研究会

変貌する瀬戸線(10) 荒川 康彦

◆伊勢郷土史草 伊勢郷土会

〒516-1103三重県伊勢市津村町786-7

1973年創刊

◇52 2018.11 B5 93p 1300円

《創立五〇周年記念号》

伊勢郷土会設立五十年

つぎの半世紀をめざして 濱口 圭一

伊勢音頭再考

―民謡の近現代をめぐる― 濱千代早由美

伊勢古市参宮街道資料館所蔵・伊

勢音頭の錦絵 世古 富保

初種石新論

―明和年間の石曳記録を読む― 石井 昭郎

寺子屋考察 (1) 束脩と謝儀につ

いて／(2) 寺子の日課・休日に

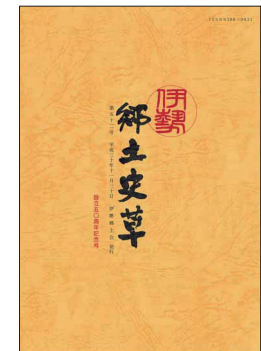
ついて 吉田 興治

古文獻紹介

河島倫興著・伊勢国旧跡聞書 岡谷 昌行

伊勢郷土会第525回例会

奈良方面見学会 中村 保



伊勢郷土会のあゆみ・伊勢郷土会
々則 阿形 次基
伊勢郷土史草 既刊目録(抄)・郷
土会例会記録(抄) 阿形智恵子
*伊勢郷土会は、1969年に故間宮忠夫前会長
らが伊勢古文化同好会として設立し、2年後
に現名称に改めたものである。会誌『伊勢郷
土史草』も確実に号を刻んで52号を迎えた。
会則の目的に、「伊勢市を中心とする地域に
おける歴史、民俗、文化財、天然記念物等
に関する調査研究を行い、会員相互の学習活
動によって郷土の文化向上と発展に寄与す
る」とある。創立以来、月例会は541回に
及び、会活動の中核をなしている。会員数
は80名を超えている。50周年の記念事業
は、記念講演会、谷口永三著『宇治山田
覚書』や三重県文化振興基金を活用した
『伊勢の石造物集』などの刊行、古地図
『山田惣絵図』ほかの復刊、伊勢市内の
石造遺物調査、伊勢市生まれの詩人北園
克衛顕彰詩碑の建立など多彩である。現
会長の浜口圭一は巻頭文で「時代の変革に
よって郷土の佇みに変化が生じるのは必
然であり築き上げられてきたわが郷土の文
化遺産の保護と町の環境に留意せねばなら
ないことは今後増々肝要」であるとして、
つぎの半世紀に向けた決意を表明している。
着実な歩みを期待したい。

◆皇學館大学研究開発推進センター年報
〒516-8555三重県伊勢市神田久志本町1704
TEL0596-22-6466 2015年創刊
<http://www.kogakkan-u.ac.jp>

◇5 2019.1 A4 148p *事業報告のみ

◆織豊期研究 織豊期研究会
〒514-8507三重県津市栗真町屋町1577
三重大学教育学部 日本史研究室内
TEL059-231-9218 年1500円 1999年創刊

◇20 2018.10 B5 126p 1500円
巻頭言 『織豊期研究』の二十年 藤田 達生
特集 織豊期の権力集中と儀礼・
格式
織田家臣と安土 平井 上総
織豊期の権力集中と儀礼・格式
豊臣政権の首都儀礼と大名 谷 徹也
豊臣政権期における鷹と鷹狩の
位相 福田 千鶴
伊賀惣国の再検討―「伊賀郡・伊
賀奉行人惣連署起請文写」から
笠井 賢治
伊勢亀山城三重櫓について 松島 悠
書 評
松浦義則著『戦国期越前の領国
支配』 佐藤 圭
深谷幸治著『織田信長と戦国の
村―天下統一のための近江支
配―』 藤田 恒春
高橋成計著『織豊系陣城事典』高田 徹
回想録
『織豊期研究』第20号に寄せて
わたしと名古屋にみなさん 伊藤 真昭
「織豊期」という学術用語 伊藤 裕偉
織豊期研究会は私の自己研鑽の
場であった 上嶋 康裕
戦場調査法の思い出 太田 光俊
寛容な学術雑誌 尾下 成敏
ふた昔ほどまえ 河内 将芳
若葉のころ 小久保嘉紀
五山への沈黙 斎藤 夏来
織豊期研究会の立ち上げの頃と
下村信博氏の思い出 白峰 旬
『織豊期研究』回想 高田 徹
『織豊期研究』創刊の頃 高橋 修
『織豊期研究』20号の刊行にあた
って 高橋 成計
織豊期研究会の恩恵 津野 倫明

織豊期研究会回想 長屋 隆幸
回 想 西島 太郎
織豊期研究会で学んだこと 羽柴 亜弥
シンポジウム謎の報告者 福田 千鶴
『戦場論』科研の頃 藤田 達生
『織豊期研究』刊行二十周年、
お祝い申し上げます 藤田 恒春
『織豊期研究』二〇号に寄せて 本多 隆成
織豊期研究会に感謝 本多 博之
二十年の区切り 三鬼清一郎
織豊期研究会での活動の思い出 水野 智之
織豊期研究会の現在的意義と私 光成 準治
私の織豊期研究会との思い出 山下 智也
あつという間の二十年 山本 浩樹

近畿

◆湖国と文化 びわ湖芸術文化財団
〒520-0806大津市打出浜15-1
TEL077-523-7146 年2520円 1977年創刊
www.biwako-arts.or.jp
◇165 (42-4) 2018.10 B5 96p 584円
《特集 街道とまちづくり》
座談会「街道とまちづくり」
木村至宏／加藤賢治／石川亮
東海道水口宿の取り組み 吉久 義則
中山道守山宿の取り組み 杉本 信也
中山道愛知川宿の取り組み 西澤 基治
宿場まつり
写真：長井泰彦氏 編集 室
中山道を巡る
写真：長井泰彦氏 編集 室
ぶらり近江はっけん伝(6) 安土
は近江源氏・佐々木家が400年、
守護を務め、のち織田信長が天
主の城を造り、天下布武を宣言
した。安土町にビルはまだない、

昔のままの町があった 岸野 洋
大津京、万葉をうたう(10) 防人
の歌 厳しく辛い心境を赤裸々
に歌う 文と曲・林博通／画・鈴木靖将
インタビュー 湖と生きる 話題
を呼ぶ現代美術作家 吉田美希
子さん
聞き手・植田耕司／写真・長井泰彦
芸術研究家 待(まつ)文麻呂の芸
能話(6) 淡海節
談話室(24) 北緯35度線と私 植田 耕司
リサイクルのススメ「生ゴミの山
を宝の山に！」(3) 企業編 吉田 栄治
森が育む(13) 一石四鳥！ 保育
士の卵たちにサポートを呼びか
け 丸橋 裕一
北から南から
大庄屋敷敷を一般公開 松村 太平
田舎の暮らしを見に行こう！ 松村 太平
山中町樹下神社の祭り「お膳も
ち」 大木 文雄
竹生島の蓮華会 眞壁 四郎
歴史の玉手箱(9) 大津市誕生
岡本 和己
みちくさ近江(7) 「幻の銘茶」が
紡ぐ新たな茶縁(東近江政所町)
三宅 貴江
おもしろ近江考古学(17) 火頭形
三尊塙仏(大津市穴太廃寺) 松浦 俊和
湖国藝術紀行(21)
昭和3年の大嘗祭 八田 正文
◇166 (43-1) 2019.1 B5 96p 584円
《特集 朝鮮通信使と近江》
総論 近江の記憶 世界の記憶 仲尾 宏
朝鮮人街道をゆく 門脇 正人
八幡と馳走～2年前から町普請 鳥野 茂治
彦根と馳走～「三使の宿」から 竹内 真道
食卓、交流で豊かに 高正 晴子

海を越えた『交隣提醒』 佐々木悦也
芳洲ミュージカル13年 嘉瀬井弘美
芳洲と対馬～人と人、結ぶ哲学 小島 武博
交流の古層～近江の中の朝鮮文化
木村 至宏
朝鮮通信使と芳洲ゆかりの地 編集 室
みちくさ近江(8) 対馬～雨森
記憶を継ぐ人々 三宅 貴江
インタビュー 湖と生きる
陶芸家 神農巖さん
聞き手・三宅貴江／写真・長井泰彦
ぶらり近江はっけん伝(7) いま
も、ゆったり時間が流れている。
白壁、水路、蔵、水田、杜寺の
屋根、家訓…、てんびんの里、
近江商人発祥のまち、東近江市
五個荘である。ぶらり、街並み
を歩いた。 岸野 洋
芸術研究家 待文麻呂の芸能話(7)
江州音頭の今
大津京、万葉をうたう(11)
節をつけて歌われた万葉歌
文と曲・林博通／画・鈴木靖将
森が育む(14)
『里山保育』を全国に発信！ 丸橋 裕一
リサイクルのススめ「生ゴミの山
を宝の山に！」(4) 総括編 吉田 栄治
近江の懐(8) 主要街道の結節点
草津宿 加藤賢治／石川亮
歴史の玉手箱(10)
近江商人と近江米 大月 英雄
おもしろ近江考古学(18) 角杯形
土器(栗東市小槻大社10号墳) 松浦 俊和

◆戦国史と人 女風林火山
戦国史と人を学ぶ会／武田勝頼・松姫探究
会
〒520-0528滋賀県大津市和辻高城289-11

首藤義之方 年1400円 1987年創刊
◇62 2019.1 B5 82p
《特集 木曾義昌の正室真理姫と末娘伊摩》
本能寺の変時の本能寺、茶屋四郎
次郎邸、伝・信長首洗いの井(井
戸)等の位置 首藤 義之
『武田氏家臣団人名辞典』の「武
田晴信娘」項の疑問点 首藤 義之
木曾義昌と真理姫(武田信玄の三
女)夫妻に末娘「伊摩」がいた！
一京の転法輪三條家や米沢藩で
暮らしていた伊摩・義次母子の
生涯 首藤 義之
真理姫(信玄三女、木曾義昌室)は
京で暮らしていたことがあった
のか 首藤 義之
戦国史重要史料の紹介―[本藩新
史 四](写本。市立米沢図書館
蔵)を読む 編集 室

◆彦根城博物館だより
〒522-0061滋賀県彦根市金亀町1-1
TEL0749-22-6100 1988年創刊
www.hikone-castle-museum.jp
◇123 2018.11 A4 4p
テーマ展 近代の書聖／日下部鳴
鶴―新出資料を中心に
展示案内 テーマ展 近代の書聖
日下部鳴鶴―新出資料を中心に、
特別公開 筆と筆道具、テーマ
展 武家の備え―井伊家伝来の
弓具日
彦根藩小姓役の勤め方記録 渡辺 恒一

◆京都民俗 京都民俗学談話会
〒603-8301京都市北区紫野北花ノ坊町96
仏教大学文学部 八木透研究室気付
TEL075-491-2141 年4000円 1984年創刊

◇36 2018.11 A5 196p
祇園祭神輿渡御の担い手の変遷
―近代・「四若」を中心として 中西 仁
「残念さん」信仰―幕末維新期に
発生した流行神をめぐる 岡本 真生
近世随筆における「狐」伝承
アルカラス・ジョルジオ
中世後期京都における談義の論争
的性格 長崎 健吾
陰陽道における牛頭天王信仰
―「中世神話」としての『簠簋
内伝』 鈴木耕太郎
島ずしの現状と成立―江戸の握り
ずしのその後の潮流 日比野光敏
柳田國男の「新体詩の恋」
―女性史学の原点 武笠 俊一
資料報告
播州屋台の担ぎ方と担ぎ棒の研
究 山田 貴生
描かれた幕末大阪城と庶民の生
活―『華城八景』とその原画
『錦城甘勝』 岸田 史生

◆古代史の海 「古代史の海」の会
〒573-0084枚方市香里ヶ丘6-4-9
上遠野浩一方 年4000円 1995年創刊
www.7ocn.ne.jp/~kodaishi/
◇93 2018.10 A5 64p 1500円
巻頭言 「海中」の意味 中村 修
拝仏派の人々 寺西 貞弘
「方～里」表記をめぐる(6) 中村 修
百済観音の飛鳥時代(16) まとめ
山下 輝幸
記紀神話の歴史的形成過程の考察
(3)―三輪君形成試論 河越 尚司
アンデス通信(46)「エンハ
(enqa)」と「魂魄」―アンデス
世界と東アジア世界の接点を探

して 市木 尚利
石村智『よみがえる古代の港』を
読んで 尾関 章
◇94 2019.1 A5 64p 1500円
巻頭言 津田左右吉を読み直す 上遠野浩一
特集 『日本書紀』撰進1300年記念
(1)
『日本書紀』の元史料―大草香
皇子事件をめぐる 荊木 美行
中国史書からみた『日本書紀』
の構想 西川 寿勝
アンデス通信(47)
天野博物館のドリスさん 市木 尚利
田島公「古代美濃国本巣・席田両
郡の景観復元の一駒―舶来山南
麓に屯倉の存在の可能性を探る」
を読んで 尾関 章
新刊紹介 『天皇陵古墳を歩く』
今尾文昭著 上遠野浩一
「白鳳期」についての一考察 山下 輝幸
弟国宮・再論 中村 修

◆史迹と美術 史迹美術同致会
〒606-8048京都市上京区下立売通小川東入
西大路町146 中西ビル内
TEL075-462-4292 年8000円 1930年創刊
https://www.shibikai1930.com
◇889 (88-9) 2018.11 A5 36p 916円
日本庭園・石造美術あれこれ(3)
椿山荘般若寺型石燈籠(下) 尼崎 博正
大徳寺塔頭大源庵の絵図 小山 正文
第1049回例会 太山寺と如意寺の
鎌倉時代の建築と文化財 八田 洋子
「第三十五回石造美術勉強会」報
告 逢坂月心寺庭園と坂本聖衆
来迎寺 高橋 浩行
◇890 (88-10) 2018.12 A5 32p 916円
法華山一乗谷の石造笠塔婆の銘文

「金輪聖王」と「勅」について 八田 洋子
『月刊住職』掲載の圭室文雄氏論文を読んで—高野山大名墓の発端は家康と秀忠の霊廟にあらず
木下 浩良
第1050回例会
名古屋の文化財と仏像 岩崎 幸一
史迹と美術 第87輯(881~890号)
総合目録
◇891 (89-1) 2019.1 A5 30p 916円
古建築調査ノート(1)
柱の立て方 矢ヶ崎善太郎
特山焼について 村上 泰昭
銅鐸一考 安田 成
第1051回例会 鹿苑寺とその立地
特性を体感する 吉村 龍二
「第36回石造美術勉強会」報告
福井市・坂井市の笏谷石と庭園を訪ねる 町田 香
◇892 (89-2) 2019.2 A5 28p 916円
画論研究(1) 土佐光起『本朝画法大伝』偽撰考(1) 寺本 健三
古建築調査ノート(2)
柱のかたち 矢ヶ崎善太郎
書評 尼崎博正・麓和善・矢ヶ崎善太郎編『庭と建築の煎茶文化—近代数寄空間を読み解く』 加藤 繁生
第37回「石像美術勉強会」報告
石の宝殿と竜山石採掘場を訪ねる 野崎小百合
◇893 (89-3) 2019.3 A5 28p 916円
画論研究(1) 土佐光起『本朝画法大伝』偽撰考(2) 寺本 健三
高野山発見の花押を刻印する五輪塔 木下 浩良
第38回「石造美術勉強会」報告
幹事：品角阿止美氏 安田 成

◆丹波 丹波史談会
〒622-0042京都府南丹市園部町栄町3-3-2
上野榮二 1999年創刊
◇20 2018.11 A5 108p 1000円
特別寄稿 生身天満宮の宮司宅主家の建築的考察—明治期の記録から消えた神宮寺の発見 丸山 俊明
丹波国世木荘の湯浅氏と殿田城址 若江 茂
“片山文書”と丹波和知荘片山氏の動向 飛鳥井 拓
金官伽倻国と私部 吉田 清
資料紹介 廃藩置県時の“官庁布告”御触書控考 上野 榮二
コラム
日吉町中世木牧山観音の奇跡 中川 輝男
園部藩立藩400年に向けて 河原 信之
学校紹介 “京都農牧学校”の校名について 辻垣 晃一
企業紹介 “本天”を織り継ぐ 日本天鷲絨工業の仕事・理想 須藤 利恵
◆都藝泥布 京都地名研究会通信
〒610-1126京都市西京区大原野上里男鹿町14-5 入江成治方 FAX075-331-3431
年3000円 2002年創刊
kyotochimei.wix.com/kyotochimei/
◇64 2018.12 A4 7p
第50回地名フォーラム報告 発表
浦島伝説の地名〜水ノ江、墨(澄)ノ江、園を巡って 森茂夫氏、木津郷と木津庄〜古代から中世への変遷 新谷勝行氏
第51回地名フォーラム開催案内
テーマ「明治維新と京都の地名」
報告 地名ものがたり「維新の京都を歩く」入江成治氏、発表
「西郷隆盛のひとり娘 菊草の

終焉地(西郷菊次郎の京都邸)について」原田良子氏
2018年度地名ウォーク開催報告
鳥羽伏見の激戦地と二つの淀城を訪ねる
地名随想 寺のつく地名(19)
円福寺町 清水 弘
KBSテレビ『あんぎゃでござる!!』の取材を受けて 小西 宏之
◆土 車 古代学研究所だより
〒604-8131京都市中京区三条通高倉西入ル菱屋町48 TEL075-252-3000 kodaigaku.org
◇135 2018.12 B5 20p
平安博物館回顧展—古代学協会と角田文衛の仕事 古藤 真平
平安博物館回顧展—古代学協会と角田文衛の仕事 記念シンポジウム 世界の博物館史と平安博物館—I C O M(国際博物館会議)京都2019を見据えて
基調講演
古代学協会から平安博物館へ 臈谷 寿
平安博物館の特質と意義 山田 邦和
パネルディスカッション
臈谷寿／山田邦和／渡邊淳子／古藤真平／司会・進行 村野正景・長村祥知
角田文衛博士遺贈資料(2)
「希臘雅典リシクラテス記念塔(青陵生寫)」絵葉書 平田 健
第八回 角田文衛古代学奨励賞受賞者インタビュー 家原圭太氏
第八回 角田文衛古代学奨励賞 家原圭太「平安京の邸宅分布と園池」(『古代文化』第68巻第3号、平成28年12月)
出版案内 森岡秀人／公益財団法人古代学協会編『初期農耕活動

と近畿の弥生社会』
◆やましる 城南郷土史研究会
〒619-0204京都府木津川市山城町上狛南野田芝29 中津川方 TEL0774-86-3262
1953年創刊
◇32 2018.12 B5 128p 1100円
物語『大仏鉄道』案内—関西(かんせい)鉄道株式会社柘植奈良間の加茂奈良間「大仏線」の今 内田 照男
山城地域の煉瓦製造業とその製品の使用先について 永富 謙
八幡市西車塚古墳
一墳丘の復元研究 奥村清一郎
京田辺市多々羅 共同墓地の主な石造遺品について 篠原 良吉
木津川市上狛出身 不屈のジャーナリスト・柳沢恭雄とその人生(下の2) 反省と戦いの日々を生き抜く 赤塚 康雄
山城文学誌のあわさい(10)
浄瑠璃寺随聞 古川 章
回想 城南郷土史研究会入会前後(上) 赤塚 康雄
南山城水害誌(高麗村にみる記録)(6)(完) 大西 康允
『南山城水害誌(高麗村にみる記録)』の連載完了にあたって 田中淳一郎
南山城水害・台風13号災害文献目録 補遺
南山城地域の仏像 参考文献集成
十三世紀の明王・天部像(下) 八田 達男
◆泉佐野の歴史と今を知る会会報
〒596-0845大阪府岸和田市阿間河滝1425
井田寿邦方 TEL0724-28-0204 年1200円
www.eonet.ne.jp/~sanonokai/

◇372 2018.12 B5 12p
史料紹介 泉南素人浄瑠璃・囲碁
将棋一覧番付表(中) 北山 理
岡本町歴史散策(15)
「南中通岡本字決議録」(5) 立石 元
室町幕府中枢の動きと和泉(9)
四 細川高国政権(続) 井田 寿邦
たそがれの泉州弁(42) 中野 恒一
◇373 2019.1 B5 12p
慶長伏見地震と泉佐野 廣田 浩治
史料紹介 泉南素人浄瑠璃・囲碁
将棋一覧番付表(下) 北山 理
岡本町歴史散策(16)
「南中通岡本字決議録」(6) 立石 元
たそがれの泉州弁(43) 中野 恒一
◇374 2019.2 B5 12p
佐野城故地現地調査報告 白石 博則
室町幕府中枢の動きと和泉(10) 井田 寿邦
岡本町歴史散策(17)
「南中通岡本字決議録」(7) 立石 元
たそがれの泉州弁(44) 中野 恒一
新刊紹介 地域論集Ⅶ 佐野町場
3 近世の町人・文化編
本の紹介 『幕末泉州の文化サロン—里井浮丘と京坂文化人』北
脇洋子著
◇375 2019.3 B5 12p
18年度 夏の旅行記(上) 兵庫県
美方郡新温泉町浜坂地区
よねかずゆうたろう
室町幕府中枢の動きと和泉(11) 井田 寿邦
岡本町歴史散策(18)
「南中通岡本字決議録」(8) 立石 元
◆大阪の歴史 大阪市史編纂所
〒550-0014大阪市西区北堀江4-3-2 大阪市
立中央図書館内 TEL06-6539-3333
1980年創刊 <http://www.oml.city.osaka>

lg.jp/?page_id=871
◇87 2018.10 A5 98p 700円
藻井家旧宅の須賀蘭林齋筆になる
金碧水墨山水図襖について 井溪 明
大阪市史編纂所所蔵の牧村史陽氏
撮影写真について—資料的価値
の検討とデジタルアーカイブ化
の手法 内田 吉哉
史料紹介
「土橋家文書」に記録された住
吉祭の花笠の稚児 黒田 一充
『大阪経済雑誌』にみる明治—
大正期梅田風景 古川 武志
みおつくし集
みおつくし事始め 堀田 暁生
キタとミナミ 古川 武志
東生から東成へ 野高 宏之
八百八橋 藤本 篤
大坂と大阪 藤本 篤
水の都・今は昔 三輪 泰史
町・通り・筋 野高 宏之
天保山と目印山 前田 豊邦
居留地とは 堀田 暁生
「なには」と「なんば」 狩野 直敏
みおつくし集 渡辺 野高 宏之
新刊図書紹介 牧英正・安竹貴彦
著『大阪「断刑録」 明治初年
の罪と罰』 堀田 暁生
◇88 2019.2 A5 102p 700円
天保期大坂における漢詩集の出版
をめぐる諸動向—広瀬淡窓『遠
思楼詩鈔』初編の検討より 松本 望
井伊直弼像の変遷—大正期以降の
小説と道頓堀治妖艶を中心に 吉川真理子
大阪歴史散歩・番外編 「明治維
新の魁」、天誅組の痕跡を市内
に辿る 草村 克彦
史料紹介 大坂からの伊勢参宮—

鴻池家からの代参宮記録『御代
参宮道中記』 内海 寧子
みおつくし 幕末の懷徳堂 松本 望
新刊図書紹介 山崎勝昭『俗地と
文人—幕末期大坂の萩原広道』松本 望
◆大阪歴史懇談会会報
〒536-0008大阪市城東区関目2-3-2 アンテ
ィークショップ一兵内 TEL06-6931-1081
年5000円 1984年創刊
osakarekikon.cocolog-nifty.com
◇411 (35-11) 2018.11 B5 8p
神のおやしろのこと(36)
高津神社 和久 敦也
平成30年10月例会報告(第386回)
「近くて遠い国を知る」—日韓文
化交流からグローバル化へ 恩
塚千代氏 (報告・井川)
会員講座 第28回 「日本刀雑話」
中澤祐一氏 (報告・井川)
会員の書評
『大坂堂島米市場』江戸幕府 vs
市場経済(高槻康朗著 講談
社現代新書) 加藤 照也
◇412 (35-12) 2018.12 B5 8p
神のおやしろのこと(37)
高津神社(2) 和久 敦也
平成30年度秋の見学会報告 「環
濠集落 平野郷を歩く」案内
人：見学部会 和久敦氏・白須
一信氏 (報告・和久)
会員の書評 『儒教が支えた明治
維新』(小島毅著 晶文社) 加藤 照也
◇413 (36-1) 2019.1 B5 8p
新年のご挨拶 片倉 穰
会員の書評 『考古学の先覚者たち』
(森浩一編 中公文庫) 加藤 照也
平成30年12月例会報告(第387回)

「天正一〇年五月18日付関白(豊
臣秀次)宛豊臣秀吉朱印状をめ
ぐって」—歴史的評価激変から
今私達が学ぶべきこと 渡辺武
氏 (報告・夏原)
「第七回活動資金支援交換会」開催
◇414 (36-2) 2019.2 B5 8p
神のおやしろのこと(38)
高津神社(3) 和久 敦也
平成31年1月例会報告(第388回)
「高山右近とキリシタン大名」
中西裕樹氏 (レポート・中澤)
会員の書評 歴史文化ライブラリ
—七十七『太平洋戦争と歴史学』
(阿部武著 吉川弘文館) 加藤 照也
◆かいづか文化財だより テンブス
貝塚市教育委員会
〒597-8585大阪府貝塚市畠中1-17-1
TEL072-433-7126 1996年創刊
◇66 2018.10 A4 8p
明治時代の石造物 物部氏ゆかり
の人物を顕彰する捕鳥部万の道
標／紀州街道と粉河街道の分岐
点 国道を示す道標／町と村の
境目をあらわす石柱 海塚領境
界明示標注／地域の生活改善に
尽力した先人の碑 福原正雄頌
徳碑
加治・神前・畠中遺跡の調査
古文書講座—市内にのこる身近な
古文書 岸和田藩と朝鮮通信使
水間街道沿いの道しるべ(7) 水
間街道道標8(三ツ松)／特別展
「行基と貝塚—その生涯と伝承」
◇67 2019.1 A4 8p
表紙 戦国時代の武士・松浦氏ゆ
かりの地

楠木正成と戦国時代の武士・松浦氏／企画展「楠木正成と中世貝塚の武士たち」

生誕13250年記念 行基に関するイベントを開催！ 郷土史料展示室特別展「行基と貝塚—その生涯と伝承—」、第116回いかづか歴史文化セミナー 講演会「行基と古代の大阪」、第117回いかづか歴史文化セミナー 現地見学会「行基の足跡と水間街道を探访しよう」

第115回いかづか歴史文化セミナー フォーラム 貝塚の「近代化」を考える／『貝塚市の70年』を読む会 秋の記念講演会 小学校巡回展示「岩橋善兵衛の科学技術」／岩橋善兵衛と望遠鏡(7)—善兵衛をめぐる人びとその4

古文書講座—市内にのこる身近な古文書 江戸時代のものづくり

◆家系研究 家系研究協議会
〒675-0101兵庫県加古川市平岡町新在家 1745-203 馬原浩一方 TEL079-424-0921 年5000円 1981年創刊 kakenkyou.g2.xrea.com

◇66 2018.11 B5 112p 1500円
各地の石川氏とその起源・系譜 宝賀 寿男
全国安原氏出自総覧(3) 安原 繁俊
長野県立歴史館所蔵「諏訪郡三井家文書」にある三井家の系譜 三井 久安
肥後(熊本藩士)の山形氏について(5) 相良 一夫
由利楠氏の研究(下) 岡田 有史
薩摩刀匠 浪平正国一千年秘話 刀鍛冶の里(9-2) 浪平 博司

コラム
ここでちょっとコーヒープレイク「写録宝夢楽」と「住所でボン」 馬原 浩一
話滴 彦根井伊家35万石、栄光の「居」侍の苗字 安居 隆行
表紙家紋「丸に四つ石」 馬原 浩一

◆家系研究協議会会報
〒675-0101兵庫県加古川市平岡町新在家 1745-203 馬原浩一方 TEL079-424-0921 年5000円 2002年創刊 kakenkyou.g2.xrea.com

◇66 2018.11 B5 8p
東京例会後の楽しみ 須貝 隆弘
家系研究協議会 平成30年度 夏の例会報告「大河ドラマ『西郷どん』と桐野利秋」桐野作人氏 (馬原)
書評 というか読書感想文みたいなものですが… 『松永久秀と下克上』天野忠幸著

◇67 2019.2 B5 8p
平成最後の年 馬原 浩一
家系研究協議会 平成30年度秋の例会報告「知られざる楠一族『由利楠氏』について」岡田有史氏 (馬原)
書評 ちょっとふるい本ですが… 『寺社勢力—もう一つの中世社会—』黒田俊雄著 岩波新書 1980年 加藤照也

◆近畿文化 近畿文化会
〒543-0001大阪市天王寺区上本町6-5-13 上本町YUFURA 7階 TEL06-6775-3686 年2200円

◇828 2018.11 A4 8p 300円
興福寺中金堂と奈良町の古建築

矢ヶ崎善太郎
和泉における弥生・古墳時代の歴史的展開—弥生博・池上曾根・観音寺山・和泉黄金塚 井上 知花

◇829 2018.12 A4 8p 300円
伊勢参宮街道を訪ねて(4)
—桜井市から御杖村まで 来村多加史
木津川左岸の古墳と古社寺
—古代の山陽・山陰道を進む 泉森 皎

◇830 2019.1 A4 8p 300円
大和の文楽の舞台を訪ねて—冥土の飛脚・義経千本桜・壺坂観音
霊験記 池田 淳
松阪の仏像 神田 雅章

◇831 2019.2 A4 10p 300円
北河内の港近くの古墳をめぐる 一瀬 和夫
吉野川・紀ノ川中流域の古代遺跡 松田 真一

◇832 2019.3 A4 8p 300円
京都の阿弥陀如来像を巡る 米屋 優
倭姫命の伊勢巡幸(4)
—美濃・尾張国 岡田 登

◆城だより 日本古城友の会
〒577-0044大阪市西成区玉出中2-11-28 平川大輔方 TEL06-6652-4511 www.kojyo-tomonokai.com

◇599 2018.11 B5 24p
10月・第660回例会の報告 但馬
八木城を訪ねて 担当幹事：水品弘樹・森田又一 報告・水品弘樹
孫との城巡り 水品 弘樹
阿波・讃岐の山城を訪ねて 高源
寺史城／畑山城／勝賀城／黄峰城 坂本 昇

別冊 第661回例会 平成30(2018)年11月11日 大和布施城を訪ねて 担当幹事：川井剛・中西徹

◇600 2018.12 B5 36p
11月・第661回例会の報告 大和
布施城を訪ねて 担当幹事：川井剛・中西徹 報告・中西徹
「城だより」通巻600号記念投稿 尾原会長との出会いがスタート

水品 宏樹
「城だより」通巻600郷に想う 川端 義憲
米子城探訪 下岡 力
丸亀城の石垣崩落 森田 又一
日本古城友の会と私 坂本 昇
「城だより」600号に寄せて 藤岡 秀典
初参加の但馬八木城 高橋 信雄
「お城の楽しみ方」あれこれ 中西 徹
日本古城友の会とともに 平川 大輔
狭山藩陣屋大手門の移築時期と経緯？ 木下 修二
大津 高穴穂神社に穴太衆積の石垣誕生 藪西 旭
お城が大好き！ 高菅 純子

別冊 第662回例会 平成30(2018)年12月2日 近江 高嶺城砦群を訪ねて 案内講師：中井均教授 担当幹事：坂本昇・中西徹

◇601 2019.1 B5 24p
日本古城友の会 平成30年度の例会(概要報告)

12月・第662回例会の報告 近江
甲賀 高嶺城砦群を訪ねて 案内講師：中井均氏 担当幹事：坂本昇・中西徹 報告・中西徹
土佐浦戸城を訪ねて 坂本 昇
念願の山中城へ 水品 弘樹
甲府城 米山 千幸

別冊 日本古城友の会総会 豊臣
期大坂城に関する近年の知見 市川 創

◇602 2019.2 B5 24p
出版図書の案内 志村平治氏『信

濃芋川一族・芋川越前守親正』、
和歌山城郭調査研究会編『戦国
和歌山の群像と城館』
第663回例会(総会)の報告
講演会の報告 豊臣期大坂城に関
する近年の知見 講演：市川創
氏 報告・高菅純子
第663回例会 研究発表の報告
去年得たお城の知見 栢木隆氏
報告・栢木隆
「去年得たお城の知見」
栢木隆氏の講演を聞いて 高菅 純子
因幡若桜の城と町 川端 義憲
別冊 第664回例会 平成31(2019)
年2月3日 大和 椿井城を訪れ
て 案内講師：内野和彦氏・周
藤匡範氏 担当幹事：川井剛・
川端義憲
◇603 2019.3 B5 22p
2月・第664回例会の報告 大和
椿井城と平等寺館を訪ねて 案
内講師：内野和彦氏 担当幹事
：川井剛・川端義憲 報告・川端義憲
久礼田城と岡豊城を訪ねて 坂本 昇
畝状堅堀群の城・豊前長野城 川端 義憲
別冊 第665回 平成31年(2019)3
月3日 播磨 感伏山城を訪ね
て 担当幹事：小川実・藪西旭
◆つどい 豊中歴史同好会
〒560-0054大阪府豊中市桜の町4-6-27-208
小川滋方 月1000円 1988年創刊
homepage2.nifty.com/toyonakarekishi/
◇370 2018.11 B5 14p
『日本書紀』の成立(後篇) 荊木 美行
檀原考古学研究所付属博物館と藤
原宮を訪ねる 古高 邦子
◇371 2018.12 B5 16p

二〇一七年度 市民講演会 ヤマ
ト政権成立過程と猪名川流域 福永 伸哉
猪名川流域と近畿北部地域との間
の交流ルートについて 野田 昌夫
◇372 2019.1 B5 16p
大利神社の絵馬とご由緒(寝屋川
市大利町)
継体天皇陵問題再考―「延喜諸陵
寮式」の分析から 北 康宏
古市古墳群南部の遺跡を訪ねる 小川 滋
◇373 2019.2 B5 20p
大化改新と難波宮 市 大樹
バス旅行 備前の古墳を巡る 石塚 一郎
読書室 『どんこう古代史講座』
古代学研究会委員米田敏幸著
N P O法人やお文化協会発行
◇374 2019.3 B5 16p
阿武山古墳の被葬者について―藤
原鎌足墳墓説に対するいくつか
の疑問 中村 浩
大阪市中央区の神社・旧蹟を訪ね
る 加藤 豊子
読書室 新刊紹介 『日本古代の
歴史空間』渡里恒信著 塚口 義信
◆ヒストリア 大阪歴史学会
〒564-8680大阪府吹田市山手町3-3-35
関西大学文学部 井上研究室気付 1951年
創刊 www.historia-osaka.on.arena.ne.jp
◇270 2018.10 A5 128p 900円
特集 東高野街道と道ぞいの寺でら
特集にあたって 大阪歴史学会
発掘調査成果からみた東高野街
道沿いの古代寺院 樋口 薫
瓦からみた地域間交流と東高野
街道 谷崎 仁美
古代における東高野街道とその
周辺 市 大樹

土師氏の改姓と菅原・秋篠・大枝
氏の成立 溝口 優樹
地域の歴史を守り伝える 水口岡
山城と官民協働―水口岡山城パ
ルーンを活用したまちづくり
青木治亮／池田吉希
書 評
坂江涉著『日本古代国家の農民
規範と地域社会』 北村 安裕
島津毅著『日本古代中世の葬送
と社会』 小林 理恵
前田英之著『平家政権と荘園制』
松蘭 斉
報 告
百舌鳥・古市古墳群の世界遺産
推薦についての見解表明 大阪歴史学会
佐紀陵山古墳の見学会 阿部大誠／大澤嶺
二〇一八年度「第三四回歴史学
入門講座」の記録 佐藤 一希
◇271 2018.12 A5 257p 1800円
《2018年度大会特集号》
部会報告
考古 摂津における埴輪生産の
変遷と展開 花熊 祐基
考古 古墳時代後期における埴
輪補生産と埴輪様式の特質 東影 悠
ミニシンポジウム 討論記録 吉田 知史
古代 古代西日本海地域の水上
交通―若狭と出雲を中心に 吉永 壮志
中世 南北朝期室町幕府の政権
構造 山本 康司
中世 大名被官と室町社会 川口 成人
近世 京都代官役所の幕領・朝
廷領支配―摂津国島下郡を中
心に 高橋 伸拓
近世 一九世紀堀江新地におけ
る「直張紙一件」の考察 西元加奈美
近代 「皇室財産設定論」再考 池田さなえ

近代 近衛新体制と「観念右翼」
―大日本生産党を中心に 岡 佑哉
書評 竹内亮著『日本古代の寺院
と社会』 藤本 誠
◇272 2019.2 A5 127p 900円
「記紀」以外の古代史書―『大倭本
紀』と『仮名日本紀』を中心に
関根 淳
交錯する「公民」の境界―一九三
〇年前後における「婦人公民
権」問題をめぐって 井上 直子
室町期地方寺院の動向と都鄙諸関
係―越前国西福寺を事例に 黄 霄龍
わたしたちの文化財
史跡 大山崎瓦窯跡 古閑 正浩
書 評
川内脊三著『古墳と池溝の歴史
地理額的研究』 安村 俊史
山本幸男著『奈良朝仏教史攷』 徳竹亜紀子
若月秀和著『冷戦の終焉と日本
外交―鈴木・中曽根・竹下政
権の外政 1980～1989年』 武田 悠
新刊紹介 鈴木靖民・荒木敏夫・
川尻秋生編『日本古代の道路と
景観』 伊藤あすか
報 告
大山古墳(百舌鳥耳原中陵)の発
掘調査見学報告
道上祥武／安東峻／大澤嶺
旧陸軍墓地保存の基本視点―大
阪市と維新の会の動きを前に
小田 康德
◆民俗文化 近畿大学民俗学研究所
〒577-8502大阪府東大阪市小若江3-4-1
TEL06-6721-2332 1989年創刊
◇30 2018.10 A5 493p
《滋賀県の民俗》

近江小幡人形小考 網 伸也
 竹生島における山林資源の利用と
 保全一社寺林の歴史民俗学的考
 察 藤井弘章／亀田佳代子
 ／牧野厚史／前ゆり
 中世の開発フロンティア・葛川の
 民俗誌 鈴木 伸二
 阿弥陀寺の二十五菩薩面と近江湖
 南の迎講 松岡久美子
 琵琶湖における風伝承
 一風と漁撈の関わりを中心に 青柳 智之
 竹生島と周辺地域のかかわり
 一祭祀を中心に 藤井 弘章
 滋賀県長浜市早崎町の民俗
 藤井弘章／石橋和晃／今岡大樹／
 大森悠／澤江貴之／辰巳今日子／
 縄縄慎太郎／前田唾由／松永夏希
 滋賀県米原市醒井の湧水と暮らし
 一醒井七湧水を中心に 廣部あすか
 書評と紹介 畑中章宏著『天災と
 日本人―地震・洪水・噴火の民
 俗学』 辻 貴志
 民俗学研究所第二九回公開講演会
 妖怪と俗信(講演要旨) 常光 徹
 河内平野における初期方形周溝墓
 とその構造―東大阪市近大山賀
 遺跡第5次発掘調査の再整理・
 報告編 相馬勇介／矢野昌史／荒田敬
 介／山本亮／星野安治／高椋
 浩史／篠田義成／網伸也

◆あわじ 淡路地方史研究会
 〒656-2334兵庫県淡路市釜口2394-35
 海部伸雄方 TEL0799-74-5810
 年6000円 1984年創刊
 ◇36 (通52) 2019.1 B5 72p
 《淡路巡礼小特集号》
 淡路巡礼小特集

淡路巡礼
 一江戸から昭和にかけて 武田 信一
 お接待の変遷と淡路島の巡礼 堀部るみ子
 江戸時代・淡路島渡海船の積荷と
 交易活動 海部 伸雄
 私の昭和(4)
 「くるまやさん」のことなど 生田 静子
 淡路島における村役人・五人与の
 選任について 北山 學
 今、地域学がおもしろい
 一「福良学教室」の紹介 太田 良一
 柳澤村庄屋廣田家に残る伝説と謎
 の解明 廣田 晋也
 思い出したくない思い出
 一大東亜戦争と日本の敗戦 五島 清弘
 入定と洲本市宇原厳性上人塚 定本 義広
 平成三十年例会記録
 第554回～第564回 安田 行夫

◆会報むろのつ 「嶋屋」友の会
 〒671-1332たつの市御津町室津457 たつ
 の市立室津海駅館内 TEL079-324-0595
 年3000円 1997年創刊
 www.maple.or.jp/~shimaya/
 ◇25 2018.10 B5 58p
 誌上ギャラリー 室の津薄暮 小林 俊彦
 誌上インタビュー
 日本人とキリシタン 五野井隆史
 《特集 キリシタン》
 潜伏キリシタン信仰の実像と世界
 遺産登録の意義 宮崎賢太郎
 小豆島のキリシタンと高山右近の
 足跡 日向 光徳
 小西行長とキリスト教 島津 亮二
 播磨のキリシタン史 永井 信弘
 播磨のキリシタン遺跡 池田武弘／福西章
 キリシタンと室津 柏山 泰訓
 文献案内 本誌編集部

水で繋がれた歴史の中で(11)
 『海賊たちの中世』 岩井 忠彦
 播磨の10人(第五回)
 大燈国師(宗峰妙超) 千田 草介
 町並み探訪(25) 小幡陣屋町 八木 雅夫
 博物館遊歩(25) 茨木市立キリシ
 タン遺物史料館 柏山 泰訓
 広告世相史 「HIMEJI CASTLE
 MARTHON」 一言居士
 絵本 朝鮮通信使(4) (12) 通信
 使の道・陸路(Ⅰ)／(13) 通信
 使の道・陸路(Ⅱ) 監修・仲尾宏／絵・網
 本武雄／文・柏山泰訓
 表紙写真の説明 ケンベル著『日
 本誌』(たつの市教育委員会蔵)
 柏山 泰訓

◆こうべ空襲だより 神戸空襲を記録する会
 中田政子方 FAX078-779-7939
 ◇18 2019.2 A4 8p
 お知らせ 第48回神戸空襲犠牲者
 合同慰霊祭／第18回戦跡ウォー
 ク
 第47回神戸空襲犠牲者合同慰霊祭
 ／山村賢二さんからのお手紙／
 刻銘追加式
 神戸空襲を記録する会の「戦災ア
 ーカイブコレクション」の構築
 に向けて 長 志珠絵
 第48回空襲・戦災を記録する会全
 国連絡会議 松山大会
 大阪茨木市退職員の会「知ってい
 そうで知らない神戸を歩こう
 会」／J R労組(日本郵便労働組
 合)神戸連絡会平和学習実行委
 員会「戦跡ウォーク」

◆神戸史談 神戸史談会
 〒654-0151神戸市須磨区北落合4-26-6
 佐藤憲太郎方 TEL078-793-5348
 年3000円 1926年創刊
 ◇316 2019.1 A5 76p
 祝 県政百五十年記念 一月例会
 新年卓話 伊藤博文侯銅像の顛
 末 加藤 隆久
 復刻(会誌71号 昭和6年11月)
 兵庫地名を失う勿れ(附兵庫県
 の大黒天)
 新年例会講演「姫路藩の藩政改革
 と河合寸翁」 今井 修平
 復刻(会誌195号)
 河合寸翁の経済政策 穂積勝次郎
 生田裔神八社巡拝記 辻正彦／写真・井上勇
 FMわいわい放送 音源ライブラリー
 「長田今昔ものがたり」(2)
 二十一話～四十話 和田幹司／井上勇
 「合言葉…神戸へ帰ろう」 増田 順一
 例会概要
 3月例会 「定点観測でご縁の
 つながる長田近辺」―郷土の
 歴史と人のご縁と町の変化 和田 幹司
 5月例会 第十二回在神社社・
 仏閣探訪と講話会 中山松比古
 6月例会 「浦手形から見る播
 磨灘の海難について」 松下 正和
 9月例会 尼崎藩の領内当地に
 ついて―尼崎藩政史序説 河野 未央
 10月例会 神戸港発展の基盤と
 なった和田岬―和田岬はどう
 して出来たか・湊川の変遷に
 合わせて 吉田 昭彦
 11月例会 『播磨国風土記』の
 魅力―国宝・世界遺産・地域
 歴史遺産 坂江 渉

◆史料ネット NEWS LETTER

歴史資料ネットワーク
〒657-8501神戸市灘区六甲台町1-1
神戸大学文学部内 TEL078-803-5565
年1000円 siryo-net.jp
◇89 2018.10 A4 12p
《西日本豪雨災害特集号》
西日本豪雨における愛媛県の資料
保全活動 愛媛資料ネット事務局長 胡光
岡山史料ネットの西日本豪雨対応
岡山史料ネット 上村和史
平成30年7月豪雨災害に対する広島
島大学での活動について
広島大学75年史編纂室 石田雅春
広島県立文書館での西日本豪雨被災
資料の保全協力
歴史資料ネットワーク 吉川圭太
国立歴史民俗博物館 天野真志
西日本豪雨災害での山陰歴史資料
ネットワークの対応
山陰歴史資料ネットワーク 板垣貴志
西日本豪雨災害における支援と広
域連携への展望
国立歴史民俗博物館 天野真志
水損資料処置方法に関する関連情
報
◇90 2019.2 A4 12p
巻頭言 委員としての活動を振り
返って 跡部 史浩
福島における東日本大震災関連資
料の収集・保存をめぐる現状と
課題 柳沼 賢治
屏風解体調査のボランティア作業
について 河野 未央
屏風の下張り文書剥がし作業に参
加して 高井 佑人
第13回地域史卒論報告会
地域史卒論報告会の感想 清水 彩花

地域史卒論報告会に参加して 澤居美奈実
第13回地域史卒論報告会参加記
吉免 涼太
2018年度歴史資料ネットワーク総
会の記録 吉原 大志
第20回『『火垂るの墓』を歩く会』
が開催されました 松岡 弘之
西日本豪雨・台風21号への対応の
現在 歴史資料ネットワーク
◆**摂播歴史研究** 摂播歴史研究会
〒676-0004兵庫県高砂市荒井町千鳥2-23-12
TEL079-442-0658 1986年創刊
◇77 2018.11 B5 8p
江戸時代の氏神の整備について 長谷川靖高
兵庫県川西市の旧県社・住吉神社
の「創建」と「創祀」 熊谷 保孝
◆**地域史研究** 尼崎市立地域研究史料館紀要
〒660-0881尼崎市昭和通2-7-16 総合文化セ
ンター7階 TEL06-6482-5246 1971年創刊
www.archives.city.amagasaki.hyogo.jp
◇118 2018.11 A5 188p 850円
巻頭特集 写真ミニ展示「尼崎の
いまむかし」 地域研究史料館
尼崎城下町絵図の作成目的につい
て 川崎有里紗
明治中期尼崎経済の一側面―『下
張り文書剥がし作業』の成果か
ら 武田 壽夫
釘穴から日本帝国を覗く 兒玉 州平
尼崎精工における杉山饗一の経営
創意 島田 佳幸
史 煙
尼崎城図(城下町絵図)の所在調
査 青手木 正
「たどる調べる」の一試行とし

て一武庫川土地建物創立百周
年記念誌 森 ひろし
高校生による歴史資料の保存及び
活用―史料で繋ぐ地域社会を目
指して 井上 乃晏
史料編 尼崎の古代・中世―史料
と研究(5) 尼崎市史古代・中
世史料補遺(5) 天野忠幸／樋口健太郎
幻の「小屋野京」 樋口健太郎
応仁の乱における尼崎の戦いと大
内氏 天野 忠幸
あまおぶね(2) 梅の木塚 田中 敦
◆**西宮文化協会会報**
〒662-0974兵庫県西宮市社家町1-17
西宮神社内 TEL0798-33-0321
nishinomiya-ebisu.com/bunkyo/
◇608 2018.11 B5 8p
秋の見学会 北摂の旅 黄檗の山
寺・ビールの故郷 ご案内 堀内 陽光
鳴尾(西宮)、摂河泉綿などの繊維
よもやま話(1) 山下 忠男
「西宮」保存箱、玉手箱(59)
下村海南の別荘「海南荘」
―情報公開課資料より 豊田 みか
◇609 2018.12 B5 8p
鳴尾(西宮)、摂河泉綿などの繊維
よもやま話(2) 山下 忠男
「西宮」保存箱、玉手箱(60) 甲
山の頂上―情報公開課資料より 豊田 みか
西宮文化協会十月行事 前川洋一
郎氏、老舗ジャーナリスト大い
に語る 江崎健一郎
◇610 2019.1 B5 8p
西宮文化協会 秋のバスツアー
五感と知識を満たした「北摂の
旅 黄檗の山寺・ビールの故郷」

武地 秀実
北摂の旅 黄檗の寺とビール工場
見学、西宮文化協会、十一月行
事、秋の見学会 江崎健一郎
鳴尾(西宮)、摂河泉綿などの繊維
よもやま話(3) 山下 忠男
◇611 2019.2 B5 8p
安政四年銀目私札を振出した人達
(1) 藤田卯三郎
日本の伝統芸能から日本の四季折
々を感じる 森村 暁子
鳴尾(西宮)、摂河泉綿などの繊維
よもやま話(4) 山下 忠男
◇612 2019.3 B5 8p
上方と坂東を繋ぐ鰯と地名 山下 忠男
西宮町人の名前に使用された文字
藤田卯三郎
平成三十年度 会報総目次
会員活動報告 中村宏／山本純子
◆**東播磨** 地域史論集 東播磨地域史懇話会
〒675-1224兵庫県加古川市平荘町上原298-
1 山本祐作方 TEL079-428-1055
1994年創刊
◇24 2018.12 A4 36p
姫路市慶雲寺の天正20年鬼瓦など
田中 幸夫
加西市南部(田原町)の古窯跡群に
ついて 上月 昭信
東播磨のため池と伝説―喰ヶ池と
左巻き地蔵《明石》 森本 眞一
般倉家の版木と医師喜多順庵につ
いて 喜多 正人
西条古墳群出土遺物の実測調査に
ついて 上月昭信／山本祐作

◆LINK 地域・大学・文化 神戸大学大学院
人文学研究科地域連携センター年報
〒657-8501神戸市灘区六甲台町1-1
TEL078-803-5566 2009年創刊
http://www.lit.kobe-u.ac.jp/~area-c/
◇10 2018.12 B5 184p
巻頭言 市沢 哲
《特集 住民主体の〈地域史づくり〉
—平成大合併後の状況の中で》
特集にあたって 編集委員会
和泉市史における合同調査と地域
叙述編—歴史・文化財の活用と
その担い手をめぐって 森下 徹
地域史づくりの射程—原子力災害
とダム建設・平成の市町村大合
併 西村慎太郎
「棚原モデル」の展開と課題 前田 結城
学ぶ市史から調べる市史へ—『た
どる調べる尼崎の歴史』をめぐ
って 松岡 弘之
史料紹介 明石市立文化博物館所
蔵黒田家文書「明治二巳年仮日
記」 前田 結城
栗野頼之祐と「北摂郷土史学運動」
—もうひとつの戦後歴史学 藪田 貫
「勝尾寺文書」と「類聚目録」—未
翻刻文書の位置をめぐって 小野塚航一
フィールドレポート
災害発生時における市町村文化
財担当者の対応を考える—
「兵庫県文化遺産防災研修会」
によせて 内田 俊秀
地域史講座「歴葉」の取り組み
と成果の一例としての「地域
の青銅製品調査」 山内 順子
兵庫県立歴史博物館特別展・兵
庫県政一五〇周年記念先行事
業「ひょうごと秀吉—近年の

新紹介資料を交えて」 前田 徹
「歴史文化資料保全の大学・共同
利用機関ネットワーク事業」
の目指すもの 天野 真志
香寺歴史研究会の活動
—『村の記憶』を書き継ぐ 大槻 守
LINKを読む 『LINK』を読んだ
—感想、論評、活動報告、独白
本井優太郎
時評・書評・展示評
神戸大学附属図書館企画展「阪
神・淡路大震災と地域の復興
—二三年目の神戸と、地域・
コミュニティの課題」 跡部 史浩
『住吉の記憶』（阪神・淡路大震
災資料集Ⅰ～Ⅲ）を読んで 三輪 泰史
「平成29年度生野書院企画展
石川雀翁の世界」展を見て 安田 容子
活動報告
青野原俘虜収容所関連の活動に
ついて 石井 大輔
神戸大学近世地域史研究会につ
いて 室山 京子
園田学園女子大学との連携によ
る旧『美方町史』編纂関係資
料の調査 木村 修二
新刊紹介 奥村弘・村井良介・
木村修二編『地域づくりの基
礎知識Ⅰ 地域歴史遺産と現
代社会』 木村 修二
人文学研究科古文書室架蔵文書
群の紹介(7) 木村 修二
人文学研究科古文書室収蔵文書
一覧(2017年度購入分) 木村 修二
◆歴史と神戸 神戸史学会
〒657-0845神戸市灘区岩屋中町3-1-4
田中印刷出版版 TEL078-871-0551

年3000円 1962年創刊
◇331 (57-6) 2018.12 A5 49p 600円
《特集 ひょうご近代史再考》
萬歳師・活動弁士・「不良少年」
—湊川新開地形成期の社会と文
化 吉原 大志
海軍の儀式・祭典と神戸市・市民
—「軍隊と地域」からみた造船所
吉免 涼太
地域から 神戸空襲を記録する会
の資料整理 歴史を語る現物を
残すために 小城 智子
神戸にスポーツを伝えた人々たち(1)
高木 應光
辛亥革命説と日本歴史
—次元の意味を考える 渋谷 武弘
新聞新聞地域版を読む 神戸新聞
の文化財記事(2014年6月18日～
6月26日) 大国正美／有吉康德
◇332 (58-1) 2019.2 A5 49p 600円
《特集 ひょうご近世史再考》
兵庫の庭園再訪(10) 姫路城三の
丸向屋敷跡庭園遺構 西 桂
武蔵も関わった明石城と城下町築
造の秘話 濱田 昭生
尼崎藩札発行の年第比定方法—安
永六年発行の尼崎藩札(一〇匁
札)の黒印から 岸添 和義
「播磨風土記」の地名について 神生 昭夫
地域から 地域の歴史を如何に次
世代に繋げるか 創立五十周年
の市島町史実研究会と竹田歴史
資料室 青木 正文
史料紹介 大阪城天守閣蔵「摂州
御影石匠之図」について 藤川 祐作
歴史資料ネットワーク二〇一八年
度シンポジウム 地域歴史資料
の魅力—集う・学ぶ・活かす

新聞新聞地域版を読む 神戸新聞
の文化財記事(2014年7月1日～
7月4日) 大国正美／有吉康德
表紙の言葉
数年前の石屋川河口付近 藤田 年男
◆大美和 大神神社
〒633-8538奈良県桜井市三輪
TEL0744-42-6633 www.oomiwa.or.jp
◇136 2019.1 B5 72p
第15回三輪山セミナー—東京講
演録 崇神天皇の御事績 マツ
リゴトの特色 所 功
『日本書紀』と「仮名」 乾 善彦
三輪山々麓の翁舞 池田 淳
近世神道と『日本書紀』 松本 匠
◆熊野 紀南文化財研究会
〒646-0024和歌山県田辺市学園6-3
濱岸宏一方 TEL0739-25-0657
年3000円 1969年創刊
◇155 2018.12 A5 51p
南方熊楠翁の筆跡(1) 南方熊楠
著「屍愛について」(続)—『変
態心理第十五巻第六号』発表へ
の書き入れ 宮本 恵司
室町期—江戸期初頭の熊野地域史
—織豊大名・堀内氏と熊野新宮
および那智山(2) 阪本 敏行
◆熊歴情報 熊野歴史研究会
〒647-8555和歌山県新宮市春日1-1
新宮市役所商工観光課 山本殖生
TEL0735-23-3333 年3000円
◇212 2019.3 B5 2p
新宮城下町遺跡の発掘調査／新宮
市立歴史民俗資料館企画展「新
宮の縄文土器と弥生土器」 4月

14日(日)まで／新宮水野家入部
400年／日本ヤタガラス協会の
設立／熊の歴史を読む

◆和歌山地方史研究 和歌山地方史研究会
〒649-6258和歌山県岩出市山980-2-1312
江本英雄方 年3000円 1980年創刊
wakayamachihoshi.hp.infoseek.co.jp

◇76 2018.12 A5 88p
小特集 和歌山城の近代・現代
一天守閣再建60年を考える
特集にあたって
大正期の和歌山公園設計と整備
について 野中 勝利
戦後の和歌山城天守閣再建をめ
ぐる動向 大山 僚介
紀州における新田開起一日高・有
田・海士・名草の例 廣本 満
紀州藩における下級武士の生き方
一紀州藩士・茂田家を事例に 樋原 愛
地方史のひろば
本居宣長が有田で食べたもの 寺西 貞弘

中国・四国

◆郷土石見
〒697-0017島根県浜田市原井町1023-9
森脇晋平方 1976年創刊

◇109 2019.1 A5 150p 1200円
表紙写真 日本遺産「外ノ浦」(浜
田市外ノ浦町)
文・小松真人／写真・浜田市教育委員会
石見の古代史を海から探る(1)
一出雲神話と石見の関係 児島 俊平
観応の擾乱が益田氏に及ぼした影
響(下) 岩崎 健
石東安濃郡における米作・麦作の
近代史(2) 池田 誠一
海洋学者・丸川久俊の研究を読む

(3)一欧州留学時代とタイセイ
ヨウサバの研究 森脇 晋平
石見地方東部農村における戦後の
民俗(1) 長尾 英明
父の戦争一兵士のエッセイ 中川 平介
方言で読む民話 三隅編(2) 神本 晃
第一回「大元・石見神楽調査研究
賞」発表
第一回「大元・石見神楽調査研究
賞」最優秀受賞作 大元神楽体
験記と伝承活動(1) 湯浅 泰男
平成三十年度 石見郷土研究懇話
会 浜田大会 報告 岩町 功

◆大社の史話 大社史話会
〒699-0751出雲市大社町杵築西2695-1
稲根克也方 ℡0853-53-4966 年2500円
1974年創刊 www.taisha-shiwa-kai.jp

◇196 2018.10 B5 48p
表紙写真 「社中生吉兆」に予定
されている幡(出雲観光協会提
供)
出雲大社の宝物シリーズ(2) か
むだから一出雲大社教機関紙
『幽顕』より 願開舟／谷風の
琵琶 出雲大社教務本庁幽顕社
「大社町の昭和20～30年代の子供
の遊び」シリーズ(1) 高度成
長期前の子供たちと川遊び 伊藤 明
「大社中学校生徒吉兆」について 馬庭 孝司
中学生出雲弁川柳(平成30年度)
出雲市立大社中学校
お知らせ 「大社の文化を学ぶ・
受け継ぐ・創る」シリーズを再
開する! 編集部
「大社の文化を学ぶ・受け継ぐ・
創る」シリーズ10 次世代へ繋
ごう昔話を! いずも民話の会

大社から一記者が見たふるさと(4)
出会いの尊さ、重大さ、不思議
さ 山崎 泰弘
企画展「神々が集う一神在月と島
根の神像彫刻」
島根県立古代出雲歴史博物館
(主任学芸員 濱田恒志)
手銭記念館の四季
「手銭家資料」とは 佐々木杏里
ギャラリー展 「黄泉の穴」の人
骨一猪目洞窟遺跡発見70年
出雲弥生の森博物館(文責・三原一将)
消えゆくもの(59)一出雲弁(灘こ
とば) 春木 芳子
平成30年(2018)4月～6月
出雲市大社町年表 編集部
◇197 2019.1 B5 46p
出雲大社の宝物シリーズ(3) か
むだから一出雲大社教機関紙
『幽顕』より 狩野探幽筆「柿
本人麻呂像」／銅戈・勾玉
出雲大社教務本庁幽顕社
「戦後大社町の子供の遊び」シリ
ーズ(2) 高度成長期前の子ど
もたちの遊び 伊藤 明
「大社の文化を学ぶ・受け継ぐ・
創る」シリーズ(11) 春秋の灯
をともし続けて一大社町美術協
会の歩み 大社町美術協会
大社から一記者が見たふるさと(5)
新時代を迎える期待 山崎 泰弘
「出雲地域の歴史と文化」シリ
ーズ(14) 史跡田儀櫻井家たた
製鉄遺跡について 田中 正實
大社の石造物(10) 大社中学校の
安部宙之介「詩歴」碑 藤原慧／山崎裕二
企画展 隠岐の祭礼と芸能
島根県立古代出雲歴史博物館

手銭記念館の四季 2018年の「出
雲文化活用プロジェクト」から
佐々木杏里
出雲弥生の森博物館ギャラリー展
「はかりの歴史一世界とつなが
る島根のおもりの」
出雲弥生の森博物館(文責・坂本豊治)
随想 出雲人の心根 滝川 泰治
大社史話会研修会報告 伯耆国を
訪ねて一青谷上寺地遺跡展示会
・倭文神社 文責・山崎裕二
話題紹介 江津にもあった船謡
「八雲立つ」 編集部
平成30年(2018)7月～9月出雲市大
社町年表 編集部

◆宇喜多家史談会会報
〒700-0826岡山市北区磨屋町6-28
光珍寺内 ℡086-222-2028
年2000円 2002年創刊

◇68 2018.10 A4 10p
浦上氏の策略と宇喜多直家の戦略
矢吹 壽平
末裔から見た宇喜多秀家像
一終焉の地八丈島を訪ねて 浮田 靖彦
物語直家記伝 西大寺辺の城
第39回 姻戚(3) 山重十五郎
宇喜多氏関連遺跡の写真展(13) 矢部 隆正
◇69 2019.1 A4 10p
平成三十年度光珍寺慰霊法要の講
演 宇喜多忠家について 内池 英樹
関ヶ原合戦において宇喜多勢はど
う戦ったか?(1) 小川 博毅
末裔から見た宇喜多秀家像(前号
継承)一終焉の地八丈島を訪ね
て 浮田 靖彦
物語直家記伝 西大寺辺の城
第40回 姻戚(4) 山重十五郎

◆岡山地方史研究 岡山地方史研究会
〒704-8113岡山市東区西大寺上2-6-36
村上岳方 TEL086-942-6156 年1500円
1986年創刊 homepage3.nifty.com/okayama-
chiho/chiho/c-main.htm
◇146 2018.12 B5 32p
宇喜多能家画像の伝来事情 斎藤 夏来
津山藩松平家の御側女中 妻鹿 淳子

◆岡山人俗 岡山人俗学会
〒703-8421岡山市中区高島新屋敷382-14
難波俊成方 年4000円 1949年創刊
kayamaminzokugakkai.web.fc2.com
◇239 2018.12 B5 90p
近代における岡山名菓の成立と継
承—柚餅子、調布、養老糖、瓊
乃袖を中心に 橋爪 伸子
御津矢原における日蓮宗不受不施
派および不受不施日蓮講門宗の
信仰 平松 典晃
辛島新田の地神信仰
—社日祭を中心として 河合 久和
岡山県の新四国集成 古市 秀治
備前岡山城下における子供跣物の
展開—獅子太鼓・段尻・作り物 田中 豊
新刊紹介
原田信之著『隠徳のひじり 玄
實僧都の伝説』 難波 俊成
今田節子著『食文化の諸相—海
藻・大衆魚・行事食の食文化
とその背景—』 木下 浩

◆岡山人俗学会会報
〒703-8421岡山市中区高島新屋敷382-14
難波俊成方 年4000円
okayamaminzokugakkai.web.fc2.com
◇221 2018.11 B5 8p

立石憲利名誉理事長の慶事 難波 俊成
竹内平吉郎先生の思い出 景山 志穂
研究発表大会発表要旨
備前岡山城下における子供跣物
の展開—獅子太鼓・段尻・作
り物 田中 豊
上斎原・奥津の木地師とタタラ
の伝承 片田 知宏
たばこと戦争—第二次世界大戦
期ニューギニアにおけるカナ
カタバコ 加藤奈穂子
東備の儒式墓
—閑谷学校に関連して 安倉 清博
民俗歩く会
テーマ「和気町民俗めぐり」
御影史学研究会との合同研究発表
会

◆きび野 岡山県郷土文化財団
〒700-0822岡山市北区表町1-7-15 702号
TEL086-233-2505 www.o-bunka.or.jp
◇151 2018.10 A5 14p
朝鮮通信使のユネスコ記憶遺産登
録に思う 倉地 克直
大原美術館 災害に思う 森川 政典
岡山の人物 山田方谷 田村 啓介
岡山の自然 林野神社のケヤキ 池田 和雄
岡山の文化財 吉岡鉦山遺構 小西 伸彦
わが町・わが村の自慢
津山城下町歴史館(津山市)
ふるさとの思い出 備前の名医
「難波抱節先生」を知る
(岡山市北区御津)
写真を撮り続ける 田中 昌子
◇152 2019.1 A5 14p
年頭にあたって
新たな時代に向けて 波田 善夫
随想「日本伝統工芸展NHK会

長賞」受賞に思う 高月 國光
岡山の人物 三浦顕次 森 俊弘
岡山の自然 森の宝石「ブッポウ
ソウ」—観察場所日本— 綱島 恭治
岡山の文化財
旧赤坂尋常高等小学校校舎 畑地ひとみ
わが町・わが村の自慢
語らい座 大原本邸(国重要文
化財 旧大原家住宅)(倉敷市)
ふるさとの思い出 夏目金之助
(漱石) 岡山青春のひと夏(岡
山市東区金田)
喜寿記念水彩画個展にチャレンジ
石田 八郎

◆芸 備 芸備友の会
〒731-0135広島市安佐南区長束1-4-12-10
小都隆方 1973年創刊
◇50 2018.10 B5 220p
《特集 広島県の考古学》
広島県における旧石器時代の石器
石材研究の現状と課題 藤野 次史
三次盆地の方墳—前半期古墳理解
への新たな視点 加藤 光臣
三次地域における小規模古墳の様
相—円墳・方墳における副葬品
を中心に 桑原 隆博
史跡・二子塚古墳造営の歴史的意
義・背景について 脇坂 光彦
安芸・備後の装飾大刀編年 新谷 武夫
安芸に伝わった仏教文化—明官地
庵寺(高宮郡内部寺)の位置づけ
と今後の課題 妹尾 周三
古代高宮郡「内部」地域の仏教受
容と高宮郡司層についての若干
のコメント 樋井 勝
賀茂大道はどこにあるのか—「安
芸国福成寺縁起文」にみられる

道の所在と経路 中山 学
備後南部地域を中心とする広島県
域の中世土器に関する覚書 鈴木 康之
古代・中世の鉄・鉄器生産 安間 拓巳
広島県の中世土師質土器(椀・杯・
皿類)編年について(1)—安芸北
部地域を中心に 尾崎 光伸
芸備の中世城館 小都 隆
臨済宗佛通寺派正法院墓地の成立
と展開 向田 裕始
戦後広島県考古学の出発 後藤 研一
芸備友の会の歩み 芸備友の会
『芸備』総目次

◆備陽史探訪 備陽史探訪の会
〒720-0824広島県福山市多治米町5-19-8
TEL084-953-6157 bingo-history.net
◇204 2018.11 A4 16p
シンポジウム福山城 第1回
福山城の謎に迫る 田口 義之
研究レポート 木之庄の謎を探る
(3)—福山城下北の惣構え 瀬良 泰三
近世福山の歴史講座 水野時代城
下の寺々 第一部 消えた中世
の大寺—常興寺・永徳寺 高木 康彦
懐かし写真館 松永駅南側 岡田宏一郎
調査報告
中世石造物の調査報告 文責・篠原芳秀
山手銀山城跡測量調査報告 杉本 憲宏
古墳講座 指定文化財が語る備後
の歴史(4)(前)—山の神古墳・
長波古墳 網本 善光
田口義之の備後山城50選(29)
典型的な戦国山城 黒岩城跡
歴史夜話 地名で辿る穴の海と日
本武尊の穴の海の悪神退治 根岸 尚克
読者便り 日本清酒物語 後藤 恭史
◇205 2019.1 A4 18p

神辺合戦を地名から考察する 調査報告	田口 義之	河村、西酒屋村	米丸 嘉一	加して	坂本 嘉明	いて	相島 宏美
中世石造物の調査報告	文責・篠原芳秀	三次盆地の前方後円墳(15)	日野	月山富田城跡探訪記	新居 康男	久坂玄瑞の和歌に関する一試論	
研究レポート 謎の福山城図Ⅰ		目第一号古墳・第六号古墳一調		長井浦論争(3)	大谷 和弘	「梅」と「桜」の歌に着目し	
一福山を描いた最古の絵図	瀬良 泰三	調査報告	加藤 光臣	胡屋治兵衛信辰のこと(2)	幕末	て	牛見 真博
調査報告		瑤泉院阿久利姫の終焉の地と墓碑		財政難に苦しむ三原浅野氏と一		中嶋松堂と「撫育金七十両兩献	
山手銀山城跡測量調査報告	杉本 憲宏	を訪ねて	後藤千賀子	商家の苦悩	定森 總治	金」説の発見―「明治一五〇	
田口義之の備後山城50選(30)		山の形態とその管理(下)	立畑 春夫	◇334 2019.1 B5 12p		周年記念 山口県地方史学会	
久代宮氏発祥の地 比田山城跡		土蔵に祀られた札宮を開く―三次		今月の各地 新年挨拶	上田 嘉信	特別講演会」を聴講して	渡部 史之
ワンショット・レポート		御鉄山の役人が信仰した神仏と		秋のバス研修旅行感想文(2)		明治初期の鉄道敷設における井	
～12月街道歩き・大門の憩亭		は	中畑 和彦	満喫の山陰旅行	大坪 一夫	上勝と楨村正直の役割―山口	
近世福山の歴史講座 水野時代城		◇108 2019.4 A4 12p		尼子経久を想う	川上 哲司	市歴史民俗資料館所蔵「井上	
下の寺々 第二部 城北の寺院		近世、三次町の職人像	立畑 春夫	角屋(すみや)の読み方について	上田 茂	勝書状」をめぐって	岡本健一郎
群	高木 康彦	三次盆地の前方後円墳(16)		◇335 2019.2 B5 12p		兼重暗香研究序	
辻堂百景(18) 福山市草戸町「中		上陣第二号古墳一調査報告	加藤 光臣	今月の各地 天変地異	行長 啓三	―その再評価に向けて	岡本 麻美
ノ丁地藏堂」	秋山 由実	三吉氏について	佐藤 功	平成29年度レキカン総会 記念講		史料紹介 山口県地租改正にお	
辻堂百景 番外編小ネタ話	田口 由実	『日本霊異記』と三谷寺	上重 武和	演会記録 小早川家当主(隆治		ける百姓傘連判状	田村 貞雄
古墳講座 指定文化財が語る備後		◆わが町三原 みはら歴史と観光の会		氏)三原を語る(1)	事 務 局	陶晴賢被官の柿並氏について	魚屋 翔平
の歴史(4)(後)―山の神古墳・		〒723-0051広島県三原市宮浦6-9-32		胡屋治兵衛信辰のこと(完結編)		「米騒動一〇〇年―宇部炭鉱・山口	
長波古墳	網本 善光	鈴木方 年3600円 FAX0848-63-9932		幕末財政難に苦しむ三原浅野氏		県一」のホームページ作成	西岡 清美
郷土探訪 続・鉄道境界石などの		◇332 2018.11 B5 12p		と一商家の苦悩	定森 總治	恋せよ乙女	
探索さんぽ	岡田宏一郎	今月の各地 一人歩きへの自戒	鈴木 健次	長井浦論争(完結編)	大谷 和弘	一婚礼道具と漆工芸品展	原田 史子
歴史夜話 備後地方の鉱物遺名(1)		胡屋治兵衛信辰のこと(1) 幕末		◇336 2019.3 B5 12p		十朋亭維新館の概要	立石 智章
	根岸 尚克	財政難に苦しむ三原浅野氏と一		西日本豪雨を伝える	林 淳一郎	地方だより 大島地区／岩国・玖	
備陽史探訪の会 NEWS! 「前方		商家の苦悩	定森 總治	平成29年度 レキカン総会 記念		珂地区／熊毛地区／下松地区／	
後円墳? 可能性探る」(中国		長井浦論争(2)	大谷 和弘	講演記録 小早川家当主(隆治		山口地区／美祢地区	
新聞福山版 2018年(平成30年)		江戸時代後期の花鳥画における		氏)三原を語る(2)	事 務 局	発表要旨 第128回研究大会	
11月24日(土))、「県内最大級		“鳥”(完結編)―「御調八幡宮拝		春のハイキング「和田・貝野めぐ		幕末大田・絵堂戦の戯れ歌	金谷 匡人
前方後円墳か」(読売新聞福山		殿天井の花鳥画」に描かれた野		り」ご案内	西村 雅幸	来嶋又兵衛の新発見資料につい	
版 2018年(平成30年)12月3日		鳥の種の判別をして	三好 邦範	古の道 幸崎軍用道路	行長 啓三	て	藏本 隆博
(月))		別紙「御調八幡宮拝殿の天井板絵」		◆山口県地方史研究 山口県地方史学会		大田・絵堂戦役における2,3の間	
◆みよし地方史 三次地方史研究会		◇333 2018.12 B5 12p		〒753-0083山口市後河原150-1		題点	池田 善文
〒729-4304広島県三次市三良坂町三良坂		今月の各地 ミステリー 千葉に		山口県文書館内 TEL083-924-2116		◆徳島県立博物館ニュース	
2747 中畑和彦方 TEL0824-44-2753		“やっさ”が	下西 勝彦	1954年創刊 www.ysflh.jp		〒770-8070徳島市八万町向寺山 徳島県	
1987年創刊		秋のバス研修旅行感想文		◇120 2018.11 A5 128p		文化の森総合公園 TEL088-668-3636	
◇107 2018.12 A4 10p		山陰うれし、宍道湖に松江城に		「明治150年」小特集Ⅱ		1990年創刊	
雲石街道の今―上・下志和村、青		月山富田城	津島 敏子	月性と鍵屋茂次右衛門	小川 國治	www.museum.tokushima-ec.ed.jp	
		月山富田城跡と松江城巡りに参		長井雅楽失脚・切腹の原因につ		◇113 2018.12 A4 8p	

徳島市恵解山1号墳出土 衝角付
 冑・鉄鏃（徳島市立考古資料館蔵） 岡本 治代
 Culture Club 阿波晩茶の製造技術と晩茶の個性 磯本 宏紀
 平成30年度部門展示 徳島市恵解山古墳群の発掘と遺跡保存
 速報 徳島県勝浦町で恐竜化石含有層と新たな恐竜化石などを発見 辻野 泰之
 館蔵品紹介
 長翅型のナベプタムシ 山田 量崇
 レファレンスQ&A 瀬戸内の風景をかけた絵巻があるそうですか？ 大橋 俊雄

◆いせきニュースレター 遺跡発行会
 〒791-2101愛媛県伊予郡砥部町高尾田1108-3 そがめ塾気付 FAX089-905-2925
 ◇121 2018.11 A4 16p
 四国中央市の古墳(2)
 古仏山箱式石棺群 正岡 睦夫
 松山市旧円満寺六地藏石幢 十亀 幸雄
 一愛媛県内初例の石幢 十亀 幸雄
 砥部町川口薬師堂の民俗資料 十亀 幸雄
 ◇122 2018.12 A4 24p
 四国中央市の古墳(3)
 瓢箪山遺跡 正岡 睦夫
 伊予の石切場(3)
 興居島カサネ岩石切場 十亀 幸雄
 ◇123 2019.1 A4 20p
 小竹1号墳から3号墳について 正岡 睦夫
 伊予の修験寺院宝冠寺遺跡(6)
 宝冠寺山伏墓地(5)一第4準面山伏墓地(2) 十亀 幸雄
 ◇124 2019.2 A4 20p
 愛媛県の漢式鏡(15)
 三角縁神獣鏡以前 名本二六雄

四国中央市の古墳(4)
 二天山古墳 正岡 睦夫
 豊後から移入された宝塔(1)
 伊方町赤坂坊山宝塔 十亀 幸雄
 遺跡発行会だより 12月例会報告
 ◇125 2019.3 A4 16p
 四国中央市の古墳(5)
 お姫山古墳 正岡 睦夫
 「赤坂憲雄様へーあなたへ往復書簡 寺尾紗穂より」
 伊予市下浜薬師堂舟形香立
 一海洋信仰の石造物 十亀 幸雄

◆伊予史談 伊予史談会
 〒790-0007愛媛県松山市堀之内 愛媛県立図書館内 1915年創刊
 ◇391 2018.10 A5 52p 750円
 天正期予土和陸交渉の行方
 一「金子文書」から読み解く 桑名 洋一
 戦国期宇摩郡の政治状況について
 の一考察一新居・宇摩二郡の河野家への返還を中心に 加藤 弘
 歴史紀行 芭蕉「おくのほそ道」と子規「はて知らずの記」の比較一みちのく「最上川」を中心として 門田恭一郎
 史料紹介 「毛利秀就書状」とされてきた「毛利輝元書状」―「宮窪村上文書」をめぐる 大上 幹広
 歴史余話 東寺領伊予国弓削荘の総合調査 有馬 啓介
 報告 芸備地方史研究会二〇一八年大会 高須賀康生
 新刊紹介 森正康著『街角のフォークロア―足下の暮らしを見つめ直す試み』、磯川いづみ編『伊予河野氏文書集(1)』、ソーシャル・リサーチ研究会編『ソーシ

アル・リサーチ』四三号、四国
 遍路・世界の巡礼研究センター
 編『四国遍路と世界の巡礼』第三号、愛南町史編纂委員会編『愛南町史』 編集部
 郷土その日その日 自平成30年5月至平成30年6月 編集部(袖山俊夫)
 例会記事 第1236回～第1239回
 ◇392 2019.1 A5 47p 750円
 第二次長州征討における大島口の戦いと松山藩―慶応二年六月一六日の戦闘を中心に 井原 恒久
 今治藩家臣の家譜史料に関する一考察―「今治拾遺」と「覚」の比較 伊津見孝明
 展示評 「古地図で楽しむ伊予」(愛媛県歴史文化博物館) 上杉 和央
 書評 『古地図で楽しむ伊予』『伊予史談会創立一〇五周年記念伊予の古地図～国絵図から村絵図まで～』 島本 多敬
 新刊紹介 一般財団法人今治文化振興会今治城編『よみがえる瀬戸内の名城―今治城絵図・古写真一』、宇和島市立伊達博物館編『明治一五〇年記念平成三〇年度 宇和島市立伊達博物館特別展図録』、「四国の懐かしいお菓子88」プロジェクト編著『四国懐菓子88』 編集部
 郷土その日その日 自平成30年6月至平成30年9月 編集部(袖山俊夫)
 例会記事 第1240回～第1242回

◆小松史談 小松史談会
 〒799-1101愛媛県西条市小松町新屋敷甲3007-1 西条市立小松温芳図書館郷土資料室 TEL0898-72-5634

◇145 2019.1 A5 125p 500円
 明治の社会と地域
 一松山と小松の一五〇年 川島 佳弘
 死しても朽ちず
 直卿公絶筆裏文書発見と扁額 石丸 敏信
 シリーズ・小松道物語(9)
 道を歩く 伊藤 敏昭
 江戸時代、火付盗賊改の長谷川平蔵の配下に伊予小松藩出身の女性を妻に迎えた武士がいた 小松藩会所日記を通して長谷川平蔵の意外な実像を見つめ直す 加藤 康明
 明治150年 小松藩の幕末・維新
 企画展示の解説を兼ねて 友澤 明
 長福寺の転派について 河野 徳峰
 郷土の刀を見る 小松藩・西条藩の刀について 史談会事務局
 〈篤山遺稿〉の漢詩を読む(7) 温芳漢文学習会
 「小松邑志」現代語訳 妙口村 竹内 真人
 「千足山物語」増補版の追加 渡辺 裕二
 近藤篤山「机上日録」(篤山日記)に見る人間篤山のプライベート面の考察 高橋 義和
 第1回史跡巡り報告
 「福山城と鞆の浦」をめぐる 曾我部美佐恵
 第2回史跡巡り報告 篤山先生と二洲先生めぐり 事務局(担当・三宅)コラム
 小松の歴史 4コマ漫画(3) 處友香(妙口)
 歴史小話 in 篤山邸について 伊藤 敏昭
 小松の椿(3)「大城冠」 越智 敏雄

九州・沖縄

◆季刊邪馬台国 梓書院
 〒812-0044福岡市博多区千代3-2-1
 TEL092-643-7075 年5400円 1979年創刊
 ◇135 2018.12 A5 206p 1250円

巻頭言 装飾古墳から読み解く古
 代人の美と文明 編 集 部
 〈総力特集
 装飾古墳の世界 古代人の美と文明〉
 菊池川流域の装飾古墳群
 一装飾古墳伝統とその背景 木崎 康弘
 高井田横穴群の線刻壁画 山根 航
 キトラ・高松塚古墳壁画の統一理
 解をめぐって 泉 武
 茨城県の装飾古墳
 一虎塚古墳を中心に 稲田 健一
 装飾古墳の起源 河野 一隆
 装飾古墳と東アジア天文学 平井 正則
 装飾古墳の保存環境・観察施設と
 公園について 石山 勲
 随想・わが青春の装飾古墳 豊田 滋通
 時事古論(8) 纏向遺跡出土のモ
 モの核年代測定(前) 桜井市纏
 向学研究センターの発表を検討
 する一旧石器捏造事件ふたたび
 所長、寺沢薫氏の所論の大いな
 る矛盾 安本 美典
 考古学最前線レポート 「平塚大
 願寺塚」出土の三角縁神獣鏡に
 ついて 中島 圭
 世界遺跡巡り(15)
 沖縄・旧石器時代遺跡群の旅 井上 修一
 物部氏と尾張氏の系譜(6)
 筑紫邪馬台国の東遷 志村 裕子
 オトナ女子のコラム
 晴れ、ときどき、古代史 藤江かおり
 自著を語る
 『古代官衙と関連遺跡の研究』 小澤 毅
 『地域の考古学 私の考古学談義』
 西谷 正
 『邪馬台国は「朱の王国」だった』
 蒲池 明弘
 神社仏閣、縁起めぐり

「八幡総本宮」宇佐神宮 編 集 部
 ◆九州史学 九州史学会
 〒819-0395福岡市西区元岡744 イースト
 一号館 九州大学文学部日本史学研究室内
 TEL092-802-5098 1956年創刊
 www2.lit.kyushu-u.ac.jp/his_jap/kyushusigaku/
 ◇181 2018.11 B5 96p
 復員局から引揚援護庁にいたる政
 治過程一復員組織の存続と旧軍
 人の“温存”に着目して 関口 哲矢
 2017年度九州史学会大会公開
 講演
 古代文献史料本文研究の課題
 一『延喜式』を中心に 小倉 慈司
 荘園村落の世界 西谷 正浩
 2017年度九州史学会大会公開
 講演・研究発表要旨
 古代文献史料本文研究の課題
 一『延喜式』を中心に 小倉 慈司
 荘園村落の世界 西谷 正浩
 東大寺文書と史料来訪 森 哲也
 十四世紀対馬内山氏の動向と島
 主宗氏 松尾 大輝
 大友氏の北九州と豊芸和睦 篠田 諒平
 江戸幕府の巡見使と長府藩の遊
 郭取締り一寛文七年巡見使を
 中心に 川邊あさひ
 延享二年の寺社門前移管と治安
 問題 中川 晃一
 1896~1900年における日本の対
 韓政策の検討一高宗宥和策を
 中心に 韓 相一
 日記にみる手島精一「交渉手腕」
 とその限界一工藤補習教育史
 再考 小林 篤正
 ◇182 2019.2 B5 91p
 伊賀国東大寺領官物率法相論再考

張 思捷
 院政期～鎌倉期の宇佐弥勒寺領 前田 英之
 戦前期日本における「宗教法人」
 制度の成立過程一法人法制とし
 ての宗教団体法 林 義大
 書評 宮崎克則著『シーボルト
 『NIPPON』の書誌学研究』 織田 毅
 ◆多久古文書の村 村だより
 〒843-0012佐賀県武雄市橘町大字片白8642
 ◇23 2018.12 B5 16p
 表紙 「御屋形日記」元禄十年丑
 三月十九日伊豆(多久茂文)から
 本藩へ申し出
 石炭資料の収集、多久家文書の保
 存と細川章さん 秀村 選三
 御屋形日記特集
 棕瀬橋と多久城下町
 御屋形控日記から推測する 尾形善次郎
 昨日の敵は今日の友 片倉日龍雄
 『御屋形日記』にみる「龍松院
 奉加」について 清水 雅代
 『廻里津諸日記』に見られる欠落 福田 春次
 「武雅」の実名をめぐって 永松 亨
 近世の帯刀 黒髪 和裕
 草場佩川のヒボクラテス像 多久島澄子
 幕末期佐賀藩の幕領預かり「再考」
 一対幕府交渉の視点より 近藤晋一郎
 追 悼
 長野遷先生の思い出 多久島澄子
 福田春次さんへの弔辞 片倉日龍雄
 ◆末盧国 松浦史談会
 〒847-0823佐賀県唐津市旭が丘6-5
 年2000円 1962年創刊
 ◇216 2018.12 B5 20p
 伝薬師如来坐像 唐津市浜玉町東
 山田 常福寺 境内薬師堂 志佐 惲彦

『有浦文書』について(4)
 斑鳩氏のこと(3) 青木 隆
 母成の東軍殉難者百五十年目の盛
 大な慰霊祭一會津からのたより
 唐津藩士の殉難者も合祀される
 戊辰戦争の真実 中里 紀元
 史料紹介 大阪市立大学所蔵
 唐津城詰戻米手控 寺沢 光世
 唐津・発掘・発見の話4
 谷口古墳の出土品の取扱い 徳富 則久
 幕末史料にみる幕末小笠原時代の
 唐津藩(2) 山田 洋
 発掘調査現地見学会報告
 「唐津城下町跡」「黒岩前田遺跡」
 歴史に忘れられた人
 一友常典膳覚書(2) 田島 龍太
 読み下し
 『平松儀右衛門道中日記』(6) 久我 圭子
 備中路を訪ねる旅 松本 和典
 ◆浜木綿 五島文化協会
 〒853-0052長崎県五島市松山町604-10
 筑田俊夫方 TEL0559-74-2667
 ◇106 2018.11 A5 104p
 「あの夏の光りのなかへ」考一五
 十周年記念誌出版から七年 筑田 俊夫
 五島列島をジオパークに！一保全
 ・教育・観光の三本柱で 永治 克行
 五島福江島の「円畑」の地域知と
 美の発見 清野 聡子
 京の片隅で(3) 伴 靖子
 「浮かんだ」 石田ちとえ
 太刀洗と舞鶴で見てきたこと 大坪 昇平
 「五島」に生きる「私の遺言」(1) 片山 圭弘
 ◆郷土 人吉求磨 求麻郷土研究会
 〒868-0021熊本県人吉市鬼木町924-4
 年8000円

◇37 2018.12 A4 62p
 球磨産の鉄鉱石で製鉄実験 宮廣 大
 相良清兵衛隠居所の復原 北川賢次郎
 宝永元年(一七〇四)「利根川・荒
 川浚御普請手伝いに付…」人吉
 藩の借金と返済計画及び江戸経
 費節減計画 尾方 保之
 例会等行事の歩み記録(平成28年
 11月～平成30年9月)
 平成29年2月例会(第528回)
 人吉市鬼木町周辺文化財見学
 案内・記録 大平哲也
 平成29年3月例会(第529回)
 第9回人吉街道を歩こう
 案内・記録 北川賢次郎
 平成29年4月例会(第530回)
 西南戦争の戦跡めぐり
 案内 堤悟・有田健一
 /記録 尾方保之
 平成29年4月例会(第530回)
 西南戦争と人吉隊 尾方 保之
 平成29年5月例会(第531回)
 水上村湯山地区の文化財見学
 案内・記録 出合宏光
 平成29年7月例会(第533回)
 山江村山田文化財見学
 案内・記録 大平哲也
 平成29年9月例会(第535回)
 あさざり町旧深田地区の文化財
 案内・記録 北川賢次郎
 平成29年12月例会(第537回)
 五木村南地区及び頭地地区調査
 記録 吉松猛
 平成30年4月例会(第542回)
 宇城市豊野町・同小川町・八代
 市の文化財見学 案内・記録 溝下昌美
 故・鳥飼正人元会長を偲んで 尾方 保之
 『郷土』目録 続編(第18号(1990.3))

～第36号(2016.11))
 ◆石の証言 「八紘一字」の塔を考える会
 〒880-0026宮崎市波島2-30-2 佐藤文則方
 年2000円 1995年創刊
<https://hakkouitiunotou.jimdo.com>
 ◇87 2018.11 A4 8p
 石の証言 防協咸北講演会 朝鮮
 警防協会咸鏡北道支部講演会、
 咸鏡北道教育会 朝鮮咸鏡北道
 教育会
 情勢 教育勅語／韓国の最高裁、
 元徴用工の訴えを認め、加害企
 業に賠償を命じる
 しんぶん赤旗の記者を塔に案内
 真の日中友好をめざす 宮崎県
 日中友好運動懇談会が記念講演
 会を開く／中国、強大なわかり
 にくい国だなー しんぶん赤旗
 記者 小林拓也氏の講演を聞いて
 ポーランド・アウシュビッツの旅
 (1) 追立 敏弘
 トピックス 近現代日本美術史研
 究者 千葉慶氏の論考から
 「八紘一字」の塔の武神像の盾に
 描かれた八咫鳥(ヤタガラス)の
 足は何本？
 ◇88 2019.1 A4 8p
 石の証言 台中州南投郡
 台湾台中州南投郡
 新年を迎えて 税田啓一郎
 日中友好運動懇談会 県懇談会結
 成5周年記念誌を発行しました
 /第85回憲法と平和を考えるつ
 どい 憲法の話「檻の中のライ
 オン」in 宮崎一憲法九条改憲
 を阻止するために考える 講

師：椋大樹
 ポーランド・アウシュビッツの旅
 (2) 追立 敏弘
 金沢市護国神社境内に建つ「聖戦
 大碑」／塔の案内 鹿児島医療
 生協霧島始良ブロック国分南支
 部／県内外の市立高校教職員と
 日大生徒会役員 追立 敏弘
 トピックス 塩月桃甫 黒木 淳吉
 ◆鹿児島民俗 鹿児島民俗学会
 〒890-0056鹿児島市下荒田4-1-18
 阿多利昭方 Tel.099-253-1775
 年4000円 1950年創刊
 ◇154 2018.12 B5 96p
 表紙絵解説 七夕地蔵と精霊迎え
 牧島 知子
 曾祖父たちへ捧げる鎮魂歌一高尾
 野における西南戦争の傷跡につ
 いて 竹添 洋三
 悪石島のボゼに関する考察(2)
 一盆の観念とボゼ 渡山 恵子
 川内新田神社のお田植祭りと奴踊
 り 松原 武実
 第22回かごしま郷土芸能報告 所崎 平
 ニッソの杜を訪ねてーその実態(一
 九八三年)と考察 下野 敏見
 「ホトケバアサン(仏婆様)」を母
 とする「隠れ念仏」ーシャーマ
 ンと「内の如様(にようさん)」
 (11) 森田 清美
 霧島修験 本山派愛甲修験資料
 『異賊調伏御祈禱日帳』読み解
 き(8) 森田 清美
 資料 安永二年 次渡日帳 川邊
 前床重治・編
 みんぞく・かわらばん
 天保の大法難 松原 武実

今に生きる古代村落広田 松原 武実
 小石丸という名前の蜆 所崎 平
 オヤシとモヤシ 所崎 平
 ◆宮古郷土史研究会会報
 〒906-0013沖縄県平良市下里1223-8
 下地和宏気付 Tel.0980-72-9963
 年3000円 1977年創刊
 ◇229 2018.11 B5 8p
 11月定例会レジュメ 仲宗根豊見
 親「八重山入の時あやこ」私訳
 解 下地 利幸
 12月定例会レジュメ
 「イリ里」の形成と料亭街 仲宗根將二
 七唐人の渡来伝説
 ー九月定例会を終えて 下地 和宏
 中世宮古人遠洋通交者の再吟味
 ー10月定例会を終えて 大西 威人
 第十七回博物館講座「宮古島市総
 合博物館『もの』がたり」 寺崎 香織
 第十三回宮古島市民総合文化祭
 「松原・久貝両集落と来間集落の
 史跡巡り」 久貝 春陽
 松原集落の形成について考える 久貝 弥嗣
 幸地ヨシ子著 エッセイ集『喜怒哀
 楽』／「沖縄詩歌集～琉球の
 風」～宮古関係者十一人も収録
 仲宗根將二
 発掘調査速報展一二〇一六～二〇
 一七 国仲元島遺跡と松原遺物
 散布地 久貝 弥嗣
 ◇230 2019.1 B5 8p
 1月定例会レジュメ「忠導氏家譜
 正統」の検証～嘉靖元年(1522)
 を考える 下地 和宏
 2月定例会レジュメ 復帰前の映
 像にみる宮古上布の現場 砂川 猛
 「同人(仲宗根豊見親)八重山入の

時あやこ」私訳解—11月定例会
のまとめにかえて 下地 利幸
12月定例会のあらまし 港から始
まった「平良」のまち—「イリ
里」の形成と料亭街 仲宗根將二
発掘調査速報
保里遺跡・ティラフグ遺跡 久貝 弥嗣
「郷土史講座二〇一八」全七講を
おえる 事務局
アラフ遺跡・市指定史跡へ 久貝 弥嗣
温州・泉南・婆羅（『中世宮古島
人漂流者の再吟味』小括）大西 威人
ヨーンテルはメインストリートを
駆け抜ける 松川 知恵

寄贈図書紹介

◆自然の恵み アイヌのごはん

藤村久和監修 デーリイマン社刊 発売：北
海道協同組合通信社（〒060-0004 札幌市中
央区北4条13丁目 TEL011-231-5653）2019年
4月 B5 127頁 1800円
北海道各地の古老から直接手ほどきをうけた
アイヌの料理の一部を再現した料理集。汁物
（オハウ）／お粥（サヨ）／ご飯（サタム）／
たたき（チタタブ）／刺身（フイベ・ルイベ）
／和えもの（ラタシケブ）／煮物（チスイエ
ブ）／焼き物（チマイベ・チマエブ）／炒め物
（チレブ・スムコチレブ）／おひたし（サカン
ケブ）／一品料理／団子（シト）／山菜図鑑／
栽培作物図鑑／魚と陸獣図鑑／「アイヌ料理」
とは何か その源流をさかのぼる

◆「社共合同」の時代—戦後革命運動史再考
河西英通著 同時代社（〒101-0065 東京
都千代田区西神田2-7-6 川合ビル TEL03-3261
-3149）2019年3月 A5 566+16頁 5800円
1948年12月13日、青森県で共産党と社会党が
合同大会を開催し、統一革命党を目指した

「社共合同」の実態を明らかにし、その歴史
的意味を問う。はじめに一なぜいま、「社共
合同」をとりあげるのか／序章 社共合同と
はなにか／第一部 社共合同の形成と展開／
第二部 社共合同の地域的構築／第三部 社
共合同の彼方／終章 戦後日本と地域社会の
中の社共合同

◆偏境に活か

本田阿久（義幾）著（〒989-6156 宮城県古川
市古川西館3-4-35 TEL0229-22-7364）2019年1
月 A5 97頁 500円
道鏡を守る会の会長でもある著者が農村部で
暮らした体験や見聞をもとにまとめた小品集。
先著『3.11 震災地にて「被災」をたねる』
（2016年9月）につづき、東日本大震災の被災
地巡りをもとにした作品も収める。はじめに
／農家模様／つかのまの「青春」／付 道教
塚のつぶやき／おわりに

◆宮城の木食上人—禅木食遼天と木食知足
熊谷幹男・津島久子著 みやぎ木食会（〒
981-3108 仙台市泉区松陵5-7-4 熊谷幹男方
TEL022-375-6027）2018年12月 A4 113頁
前著『宮城の木食上人—禅木食遼天と木食知
足一』（2006年3月、自費出版）刊行後に発見
された禅木食遼天彫像や木食知足の書をふま
えて新たにまとめられた増補・改訂版。はじ
めに／宮城の木食上人概観／禅木食遼天／木
食知足／全体のまとめ

◆菅江真澄没後百九十年記念シンポジウム

（兼）全国菅江真澄研究集会

真澄の今—ゆかりの地からの発信
菅江真澄研究会編／刊（〒011-0909 秋田市
寺内見桜1-5-55 古四王神社社務所内 TEL
018-845-0333）2018年9月 B5 87頁
菅江真澄研究会と秋田県立博物館の共催によ
る菅江真澄没後百九十年記念シンポジウム
（2018年9月29日）、菅江真澄没後百九十年記
念事業の記録集。真澄の今—ゆかりの地から

の発信 青森県における菅江真澄の今（深澤
恭仁）、男鹿市における菅江真澄の今（天野莊
平）、信州における菅江真澄（中原彦彦）、三
河から秋田へ真澄と旅する（塩瀬忠夫）、地域
に根ざした展示活動（松山修）／特別寄稿 菅
江真澄没後百九十年に思う（石井正己）／菅江
真澄の足跡探訪 八橋：日吉八幡神社の本居
宣長像（金見絃征）、寺内：菅江真澄と寺内
（永井登志樹）、金足：没後百九十年記念展
菅江真澄、記憶のかたち／顕彰の歴史と菅江
真澄研究会の活動 菅江真澄の顕彰活動（小
笹鉄文）、学習会十四年の軌跡（田口久義）、
真澄に学ぶ、真澄と歩く、真澄を語る—菅江
真澄研究会の活動／あとがき（永井登志樹）

◆絵図と映像にみる山岳信仰

岩鼻通明著 海青社（〒520-0112 滋賀県
大津市日吉台2-16-4 TEL077-577-2677）2019
年3月 A5 221頁 3000円
著者の長年にわたる山岳信仰に関する調査研
究のうち、絵図・古地図や映像記録を取り上
げた研究を集大成する。はじめに／絵図と縁
起にみる伯耆大山信仰／絵図にみる戸隠山信
仰／出羽三山の絵図・映像記録と日本遺産／
絵図にみる立山の宗教景観／絵図にみる白山
信仰／比叡山山系と葛川参籠／絵図にみる霊
場寺院の他界観—羽黒山・慈恩寺・立石寺を
事例として／成相寺参詣曼荼羅と天橋立図／
国絵図にみる霊山の表現／村絵図にみる宗教
景観—米沢藩領中山村絵図覚書／コラム

◆小国マタギの今・昔

蛭原一平編・刊（〒999-1354 山形県西置賜
郡小国町幸町11-10 TEL090-5678-6955）2019
年3月 B5 31頁
飯豊・朝日山地のブナ林に「生きる」、山形
県小国町の山人（マタギ）たちの現在と過去の
姿を紹介。「小国マタギ」とは「生きる場」
としての飯豊・朝日山地のブナ林／コラム
飯豊・朝日山地の特徴的な地形・植生／春グ

マ猟／伝統的狩猟活動／コラム 小国のマタ
ギ集落／巻き狩りとよせブチ／狩猟装備の変
化／祈りの実践／コラム ツマジロ伝説／小
国郷のクマ罾猟—オオモノビラとオソ／もう
一つの重力罾—ムジナオソ／遙かなる岩井ノ
又—昭和30年代の穴見猟／コラム クマノイ
（熊の胆）／小暮マタギに関する文献ガイド

◆古文書が語る磐城の戊辰史

小野一雄編著 平安会（〒970-8026 福島県
いわき市平字六間門2 中村則隆方）2018年8
月 A5 223頁 2500円
「安藤対馬守信睦公」（2006年）、「磐城平藩戊
辰實戦記」（2013年）に続く戊辰150年記念出
版。磐城平藩およびともに磐城戊辰戦争を戦
った泉藩、湯長谷藩士や幕領の関係者が書き
残した日記や見聞録等をまとめる。従白石仙
府江出張中日記／出張中日記／機事用談所日
誌／戊辰日乗／出城割記／安藤信正書状 上
坂助太夫宛／湯長谷藩農兵戊辰戦争見聞記／
桑原精一書上げ／御尋に付き書上げ／晴雨日
記抄出／小名浜陣屋周辺戦争記／戊辰戦争書
留／戊辰小名浜風説見聞雑記／幾世橋馬場家
文書／松井玄卓所持手控抄／佐川与五右衛門
遺書／椎名家記録書抜き／附 明治四十四年
平安会慰霊祭識字ならびに祭文

◆福島県歴史資料館収蔵資料目録50

県内諸家寄託文書44

福島県文化センター歴史資料課編 公益財団
法人福島県文化振興財団（〒960-8116 福島
県福島市春日町5-54 TEL024-534-9193）2019
年3月 B5 136頁
昭和46年度から刊行を開始した収蔵資料目録
の50冊目として、平成30年度に整理を終えた
2件の文書群の目録を収録。円谷善人家文書
（1179点、福島市）（小野孝太郎）／小針重郎
家文書（その二）（806点、白河市）（山田英明）

◆茨城県立歴史館史料叢書22

税所文書・芹沢文書・鳥名本文書

茨城県立歴史館史料学芸部編 茨城県立歴史館 (〒310-0034 茨城県水戸市緑町2-1-15 TEL029-225-4425) 2019年3月 B5 263頁
茨城県立歴史館所蔵史料を紹介する史料叢書第22巻。常陸国在庁官人として土豪化した税所家に伝来した「税所文書」第一帖19点・第二帖50点、行方市(旧玉造町)芹沢の旧家芹沢家伝来の中世文書群「芹沢文書」70点、行方市(旧玉造町)手賀の鳥名木家に伝来する文書群「鳥名本文書」43点の計182点を、影印版とともに翻刻・収録する。解題(寺崎理香)

◆古文書解読集10

守谷古文書サークル編・刊(事務局: TEL0297-48-7523) 2018年12月 A4 236頁
茨城県守谷市において市内に保存されている古文書の解読を中心に活動している守谷古文書サークルの古文書解読集第10集。齋藤家保存文書(守谷市)から安政6年(1859)「御用留」を、影印版と解説文・読み下し文、用語の解説を付して収録する。江戸幕府・関宿藩の人事に関わるものや、新小判等の吹立・吹替え・増歩両替等の貨幣に関する文書等々、約50点の文書を収録する。

◆常陸出身 儒者根本雄介書簡集

一近世旗本教育の実態
糸賀茂男・加藤隆士・西山春夫編 茨城新聞社 2019年3月 A5 443+7頁 5000円
前著『儒者・根本雄介』(崙書房、1979年)をうけて、江戸時代の儒者根本雄介関係書簡として残存が確認できる計800点余(根本恵氏所蔵)のうち、主に雄介が旗本諸家(一部大名も含む)から受領した来簡を中心に計400点余を翻刻・収録。書簡/儒者根本雄介の生涯/参考資料/根本雄介関係年表/人名索引

◆幕末維新期の黒羽藩 幕府で活躍した黒羽藩主大関増裕と戊辰戦争 大田原市黒羽芭蕉の館平成30年度企画展図録
大田原市黒羽芭蕉の館・刊 (〒324-0234 栃

木県大田原市前田980-1 TEL0287-54-4151)
2018年10月 A4 102頁
黒羽芭蕉の館の平成30年度企画展の展示図録。養子として黒羽藩第15代藩主に就き、幕府の軍政改革や藩政改革を推進した大関増裕(西尾忠道)の生涯を中心に、44点の初公開資料を含む170点の資料を紹介。カラー図版 幕末期の黒羽藩、西尾忠道(後の大関増裕)の修業・教養と蔵書、黒羽藩主大関増裕の藩政改革と幕府での活躍、大関増裕の死と最後の黒羽藩主大関増す勤、黒羽藩と戊辰戦争、黒羽藩の終焉/資料解説(新井敦史)/大関増裕自筆書状等の釈文(新井敦史)

◆中世武士 畠山重忠 秩父平氏の嫡流

清水亮著 吉川弘文館 (〒113-0033 東京都文京区本郷7-2-8 TEL03-3813-9151) 2018年11月 B6 243頁 1800円
武蔵国男衾郡畠山を本拠とし、「分け隔てない廉直な人物」と伝わる畠山重忠と、在地領主としての畠山氏のあり方に迫る。畠山重忠のスタンスプロローグ/秩父平氏の展開と中世の開幕/畠山重能・重忠父子のサバイバル/豪族の武士としての畠山重忠/重忠の滅亡と畠山氏の再生/畠山重忠・畠山氏的面貌—エピソード/あとがき

◆佐倉古名鑑 佐倉市史料叢書

佐倉市史編さん委員会・佐倉市編・刊 (〒285-0038 千葉県佐倉市弥勒町78 佐倉市総務部行政管理課市史編さん担当 TEL043-486-3478) 2019年3月 A4 102+4頁
佐倉に関わる貴重な文献史料を紹介する佐倉市史料叢書。本書には、江戸時代後期の佐倉藩堀田家の家臣約400家の当主の名前や家紋、菩提寺等を記した「佐倉古名鑑」を収録する。刊行にあたって(巖和雄)/解題(長谷川佳澄)/特別寄稿 “藩士武鑑”について(岩淵令治)/佐倉古名鑑/索引

◆生きもの民俗誌

野本寛一著 昭和堂 (〒607-8494 京都市山科区日ノ岡堤谷町3-1 TEL075-502-7500) 2019年7月 A5 666+23頁 6500円
大型獣から小さな昆虫に至るまで、日本人が紡いできた生きものとの多様な関係を長年にわたるフィールドワークからまとめる。はじめに/天城山麓のムラから/獣—ケモノ(シカ、クマ、イノシシ、キツネ、モグラ)/鳥—トリ(ツバメ、ツル)/蛇—ヘビ(マムシ、ハブ、アオダイショウ)/魚—貝—サカナ・カイ(アマゴ、タニシ)/昆虫—ムシ(コオロギ、ケラ、ワタムシ、カメムシ、クスサン、ブユとカ、ノミとシラミ、ハチ、虫送りと虫供養)/旅の終わりに/あとがき/地名索引
◆いたばし平成風物詩 祭り・伝統・風景 —『板橋史談』表紙写真などから
井上富夫著・刊 (〒173-0015 東京都板橋区栄町24-12-203) 2019年5月 A5 78頁
今年創刊300号を迎えた東京都板橋区の郷土研究団体「板橋史談会」の会報『板橋史談』(1966年創刊、年4回発行)の、276号(2013年5月)から300号(2019年5月)までの表紙写真をまとめる。著者の担当した24号分の表紙写真・解説文のほか、未採用の写真6点を口絵に、さらに番外編として12点を追加掲載し、板橋の多彩な風景を紹介する。

◆いま危機にある無形文化遺産—無形民俗文化財の休止・廃絶・継承をめぐって

第13回無形民俗文化財研究協議会報告書
東京文化財研究所無形文化遺産部編・刊 (〒110-8713 東京都台東区上野公園13-43 TEL03-3823-4925) 2019年3月 A4 97頁
2018年12月14日に開催された第13回無形民俗文化財研究協議会の内容をまとめる。序にかえて(飯島満)/趣旨説明 無形民俗文化財のレッドリスト(久保田裕道)/報告 祭り・行事の存続に向けて—秋田県の事例から(丸谷仁美)、無形民俗文化財の継承と記録の役割

について(森本仙助)、無形民俗文化財の危機から学ぶべきこと—杉野原御田舞を中心に(蘇理剛志)、麒麟獅子舞の保存伝承に向けた新たな取り組みについて(原島知子)/総合討議 コメンテータ(武田俊輔・星野紘)/参考資料
◆岩淵地区小山酒造調査報告書

文化財研究紀要別冊27

東京都北区教育委員会教育振興部飛鳥山博物館事業係編 東京都北区教育委員会 (〒114-8546 東京都北区滝野川2-52-10 TEL03-3908-9279) 2019年3月 B5 103頁
明治11年(1876)、小山新七が北区岩淵に創業してから平成30年(2018)2月に製造を中止するまで、23区内唯一の造り酒屋として知られた小山酒造の所蔵資料(古文書史料405件1889点、酒造道具・布製資料等52件74点、計457件12963点)についての調査報告書。解説 小山酒造調査について(田中葉子)/調査報告 小山酒造の酒造り(田中葉子・山口隆太郎)/調査報告 小山酒造建造物調査報告(波多野純)/資料目録/史料翻刻

◆近代の記憶—民俗の変容と消滅

野本寛一著 七月社 (〒182-0015 東京都調布市八雲台2-24-6 TEL・Fax042-455-1385)
2019年1月 B6 395頁 3400円
最後の木地師が送った人生、電気がもたらした感動と変化、戦争にまつわる悲しい民俗、山の民俗の象徴ともいえるイロリの消滅など、人びとの記憶に眠るそれらの事象を、褪色と忘却からすくいだし、記録として甦らせる。序章 ムラびとの語りを紡ぐ/消えゆく民俗の記憶/イロリとその民俗の消滅/追い書き
◆現代日本の葬送と墓制

イエ亡き時代の死者のゆくえ

鈴木岩弓・森謙二編 吉川弘文館 (〒113-0033 東京都文京区本郷7-2-8 TEL03-3813-9154) 2018年7月 A5 224頁 3800円
〔第1部 葬送をめぐる個と群の相克〕発掘

された江戸・東京の墓(谷川章雄)、屋敷墓からみた近世・近現代のイエ(朽木量)、コラム 明治民法と祖先祭祀論(岡芝志保)、納骨堂の成立とその集会的性格(山田慎也)／〔第2部 葬送をめぐる現代的状況〕 単身化社会・無緑化社会の進行と葬送・墓制の三つの方向(横村久子)、誰が死者を弔い墓を守るのか(小谷みどり)、葬儀研究からみた弔いの意味づけの変化(村上興匡)／〔第3部 死者のゆくえ〕 死者を忘れない(鈴木岩弓)、「イエ亡き」時代の墓地埋葬のために(森謙二)、コラム 遺骨収集の現場から考える(土居浩)、コラム デジタル遺品をデジタル形見に(瓜生大輔)

◆シシマイ×シシマイ Vol.1

祭ネットワーク報告2018

東京文化財研究所無形文化遺産部編 東京文化財研究所 (〒110-8713 東京都台東区上野公園13-43 TEL03-3823-4925) 2019年3月 A4 43頁

2018年4月14日に開催された「祭ネットワーク」の記録。はじめに(久保田裕道)／シシマイ×シシマイ 富山県のシシマイ 獅子絵田獅子方衆・勝山理、射水町獅子舞保存会・勝山久美子、香川県シシマイ 讃岐獅子舞保存会・十川みつる、東京讃岐獅子舞・中川あゆみ／シシマイ×シシマイの未来を語ろう／獅子舞の分類をめぐる問題(久保田裕道)

◆品川歴史館特別展

明治維新 そのとき品川は

品川区立品川歴史館編・刊 (〒140-0014 東京都品川区大井6-11-1 TEL03-3777-4060)

2018年10月 A4 119頁

品川区立品川歴史館の平成30年度特別展の展示図録。明治150年を迎えるなかで、幕末・維新という激動の時代を通して品川地域の歴史を振り返るとともに、たくましく庶民が生き抜いてきた証しを再確認する。プロローグ

ペリー来航と品川／攘夷の動きと品川／品川の人、動乱の渦中へ／明治の幕開け／コラム 品川にきた？坂本龍馬、尊王攘夷を手助けしたある僧侶／展示関連MAP

◆城北生活史研究会 活動記録と研究成果

城北生活史研究会編・刊 (〒114-0002 東京都北区王子5-25-9-701 倉木常夫) 2019年2月 B5 66頁 500円

2003年5月、北区とその周辺に在住する有志を募って結成され、2015年4月の例会を最後に活動を終えた城北生活史研究会の活動成果をまとめる。序(領塚正浩)／この本を出版する意味(倉木常夫)／近世「御朱印」寺社の所領と豊島郡(保垣孝幸)／戦後の滝野川区における復興計画(久保埜企美子)／豊島清光寺最初の境内共同墓地について(倉木常夫)／旧豊島村・倉木家の行事と慣習(倉木常夫)／「龍泉貝過去帳」と位牌・墓石の比較検証(榎本龍治)／茨城県生まれの滝野川人として(樺島信夫)／ウィリアム・ラフィン氏とアジア太平洋戦争(領塚正浩)／会員から一言 城北生活史研究会の思い出(小杉善一郎)、城北生活史研究会継続困難の報に接して(樺島信夫)／研究会のあゆみ・城北生活史研究会 会員名簿／編集後記(領塚正浩)

◆新装版 小和田家の歴史

皇后雅子さまのご実家

川口素生著 KADOKAWA (〒102-8177 東京都千代田区富士見2-13-3 TEL0570-002-301) 2019年5月 B6 207頁 1900円

既刊『小和田家の歴史 皇后雅子さまのご実家』(新人物往来社、2001年)の増補・新装版。序章 皇后雅子さまの父祖／皇后雅子さまと小和田一族・田村(嵩岡)一族 父方の父祖／皇后雅子さまと江頭一族・山屋一族 母方の父祖／小和田家関係略年表／関係略系図(皇室、小和田家、江頭家、山屋家)

◆多摩川流域所在アーカイブズの情報集約・

公開に関する調査・研究—地域持続のために 公益財団法人とうきゅう環境財団 2017・2018年度多摩川およびその流域の環境浄化に関する調査・試験研究助成金研究成果報告書

代表研究者・宮間純一 (〒192-0393 東京都八王子市東中野742-1 中央大学文学部人文社会学科日本史学専攻 TEL042-674-3797)

2019年3月 A4 190頁

2017年4月から2019年3月にかけて行われた、多摩川流域地域に所在する博物館・資料館等の資料保存機関及び民間で保管されているアーカイブズ(歴史的文書)の所在情報を共有化するための基礎的作業の成果報告書。本書には、今回の調査研究で把握された約300文書群のうち、奥多摩町・檜原村・国立市・世田谷区・稲城市における文書群名をはじめとする基礎データを収録する。研究の概要と活動の記録(宮間純一)／アーカイブズ所在情報地図「多摩地域と多摩川流域自治体」、奥多摩町、檜原村、国立市、世田谷区、稲城市

◆日本仏教と修験道

宮宅準著 春秋社 (〒101-0021 東京都千代田区外神田2-18-6 TEL03-3255-9611) 2019年1月 A5 774頁 12000円

日本仏教の中に民俗宗教である修験道と共通する事項を抽出し、それを通して民俗宗教思想の展開を跡づける。序章／南部仏教と山岳修験／天台宗と修験道／真言宗と修験道／浄土宗と山岳修験／禅宗と山岳修験／日蓮宗と山岳修験／近代の真言・天台教団と修験教学者／結章／おわりに／参考文献

◆幕末・維新期の町田 民権ブックス32

町田市立自由民権資料館編 町田市教育委員会 (〒195-0063 東京都町田市野津田町897 TEL042-734-4508) 2019年3月 A5 84頁

2018年度第二回特別展「幕末・維新期の町田」の記録／記念講演Ⅰ 地域史からみた幕末維

新一小野路村組合と木曾村組合(馬場弘臣)／記念講演Ⅱ 情報を収集する人びと(小林風)／記念講演Ⅲ 日記からみた八王子千人同心の長州征討(吉岡孝)

◆始まりはひとりから—練馬の女性たちの記録 総論編その五 女性たちの政治参加とまちづくり

練馬女性史を拓く会編・刊 (〒176-0002 東京都練馬区桜台4-37-2 小沼稜子方 TEL03-3991-7087) 2018年11月 B5 103頁

1997年2月に発足し、主に昭和30年代後半からの練馬の女性たちの社会活動を追究する練馬女性史を拓く会の記録集。既刊の聞き書き集『始まりはひとりから 練馬の女性たちの記録』その1～3(2003年9月、2005年9月、2007年9月)、総論編その1 教育(2010年9月)、その2 福祉・保健(2012年11月)、その3 人権・平和・消費者運動(2015年4月)、その4 子どもの文化・社会教育(2017年6月)に続き、政治参加とまちづくりをテーマにまとめる。

◆武州多摩郡拝島村 臼井八良兵衛家文書

橋本静江・臼井澄夫 昭島・歴史を読む会編・刊 (〒196-0015 東京都昭島市昭和町5-5-10 橋本静江／〒196-0004 東京都昭島市緑町3-11-9 臼井澄夫) 2019年4月 B5 140頁

2014年に東京都昭島市拝島町の臼井信雄家より発見された「臼井八良兵衛文書」701点の総目録と38点の翻刻文を収録。解説には1991年に発足した「昭島・歴史を読む会」が当たった。／臼井八良兵衛文書 解説文／臼井本家 略家系図／橋本静江氏と臼井澄夫氏による臼井家の記憶と記録／在方編纂として臼井家／臼井家の経済／明治期の臼井家／臼井八郎兵衛家文書目録

◆ふるさとの天・地・人—板橋区市編さんと公文書館運営に関わって

『板橋史談』連載より

松浦勉著 板橋史談会・(株)ワカプロ・板橋

区公文書館協力 2018年1月 A5 143頁
板橋区史の編纂事業や板橋区公文書館の設立などに携わった著者が、それらの経緯を詳細に紹介した『板橋史談』の連載(287号～294号、2016年2月号～2017年11月号)をまとめる。板橋区史編さんの立ち上げ／図説編の企画から刊行まで／資料編各巻の編集・刊行／通史編の編集と刊行／公文書館の開設と運営／櫻井徳太郎先生と板橋／ご縁への感謝と祈り

◆**民俗学者・野本寛一 まなびの旅**
簡江薫編 玉川大学出版部 (〒194-8610 東京都町田市玉川学園6-1-1 TEL042-439-8935) 2019年3月 A5 149頁 2200円
徹底したフィールドワークを通して「環境民俗学」を拓いた民俗学者・野本寛一が自らの生い立ち、学問、旅の記録を語る民俗学の真髄。はじめにー民俗学者 野本寛一／最初の旅／五人のおばあちゃん／子どものころ／高校教員・野本寛一／フィールドワークは民俗学の原点／展開するフィールド／時間はとめられない／おわりに／付録 フィールドワークのおみやげ「書斎ミニミュージアム」

◆**村野常右衛門関係史料目録**
町田市古文書目録2
町田市立自由民権資料館編 町田市教育委員会 (〒195-0063 東京都町田市野津田町897 TEL042-734-4508) 2019年2月 A4 350頁
民衆家・政党政治家として明治・大正期に活躍した五代目村野常右衛門を中心に、その家族に関わる史料も含めた「村野常右衛門関係史料」の目録。近世文書359点、近代文書3328点、書籍448点、物品24点の総4159点にのぼる多岐にわたる史料群である。解題(松崎稔)／分類目録／編年目録／書籍目録

◆**山崎今朝弥 弁護士にして雑誌道楽**
山泉進・村上一博編著 明治大学史資料センター監修 阿部裕樹・飯澤文夫・中村正也・村上一博・山崎進執筆 論創社 (〒101-0051

東京都千代田区神田神保町2-23 北井ビル TEL03-3264-5254) 2018年10月 B6 343頁 2800円
明治大学史資料センターにおける共同調査・研究による研究叢書。尾佐竹猛、布施辰治、三木武夫、木村礎研究につづき、人権派弁護士であり言論と出版の擁護者としての「雑誌道楽者」であった山崎今朝弥の業績と人柄に迫る。奇人と郷土一弁護士になるまで／叛逆と人権一弁護士・社会活動／道楽と抵抗一雑誌・出版活動／諸語と自由一文献・年譜

◆**「高下日記」第八集**一昭和26年／山下日記一昭和4年 大和市史資料叢書16
大和市役所文化スポーツ部文化振興課市史・文化財担当 大和市 (〒242-8601 神奈川県大和市下鶴間1-1-1 電話046-260-5336) 2019年3月 B5 179頁
大和市史編纂事業による資料叢書第16集。前集(2018年3月)に続き、大和市下鶴間在住の高下春美氏の祖父恭介氏が(大正8年(1919)1月1日から昭和35(1960)1月9日まで書き留めた日記「神前録」のうちの昭和26年(1951)分と、大和市柳橋在住の山下光治氏の父武雄氏の昭和4年(1929)の日記を収録する。／解題(樋口雄一)／「高下日記」昭和二十六年／解題(金澤浩平)／「山下日記」昭和四年／山下日記参考資料 日記巻末・金銭出納帳(写)

◆**捨聖良寛 わたしの良寛(2)**
高野修著 梅花書房 (〒251-0002 神奈川県藤沢市大鋸3-7-33) 2016年9月 A5 126頁
著者の傘寿記念「わたしの良寛」シリーズ第1冊『わたしの良寛(1) 教育者良寛』(2015年)に続く第2冊。捨聖一遍の研究を通して良寛の生涯・思想を見直す。はじめに／出家前の良寛／良寛の出家／出家後の良寛／捨聖良寛／あとがき

◆**地方文書に見る南朝伝承**
ー民俗学的視点からの再アプローチ

南朝史料調査会 幽風舎 (〒228-0812 相模原市南区相南1-2-9 山地悠一郎方) 2019年3月 A4 60頁 非売品
設立7周年を迎えた南朝史料調査会 幽風舎の会員により、永らく偽文書として軽視されていた富士吉田地域に散在する宮下家文書を中心とした旧家の南朝関係文書群に焦点を当てた論考集。南朝を巡る三人の婦人の思い出(山地悠一郎)／宮下文書研究報告書(菊池秀夫)／宮下、柏木、加藤家文書の民俗学的分析(和田直大)／復刻 熊野宮信雅王御事蹟調査論文(昭和十年十一月 熊澤寛道氏著)(南朝史料調査会蔵収)／後征西將軍宮 大仙公園祭 報告(事務局)／如意輪寺 後醍醐天皇御忌 報告(事務局)

◆**長井の民俗ー神奈川県横須賀市長井**
神奈川県歴史民俗調査報告20
安室知編 神奈川大学大学院歴史民俗資料学研究科 (〒221-8686 横浜市神奈川区六角橋3-27-1 TEL045-481-5661) 2019年3月 A4 94頁
横須賀市長井をフィールドとした「民俗資料調査実習」(2016年・2017年)の成果の記録。調査実習の概略／横須賀市長井地区の概略／生産・生業／交通・公益・観光(社会と組織について)／衣・食・住／神と仏／産育、葬送儀礼、年中行事／飴屋踊、御神楽、木遣

◆**歴史をひもとく藤沢の資料 4**湘南台地区 藤沢市文書館編・刊 (〒251-0054 神奈川県藤沢市朝日町12-6 TEL0466-24-0171) 2019年3月 A4 90頁
『藤沢市史資料所在目録稿』1～25(1969年～1994年)などをふまえてまとめられた、御所見地区(2016年)、村岡地区(2017年)、片瀬地区(2018年)につづく地区別の資料解説・目録集第4集。画像でみる湘南台／湘南台の歴史をひもとく／湘南台の歴史資料／付属CD-ROM 藤沢市文書館資料目録(湘南台地区)、藤沢市文書館写真目録(湘南台地区)、本書掲

載・都市計画図

◆**越後史跡紀行ー歴史と人物**
花ヶ前盛明著 新潟日報事業社 (〒950-8546 新潟市中央区万代3-1-1 メディアシップ14階 TEL025-383-8020) 2018年12月 A5 185頁 1400円
『新潟日報』に連載された「越後史跡紀行」(2013年1月～2017年10月)を再編集して収録。山城・平城・館跡など、越後各地に遺された84の史跡をたどる、興亡盛衰や史跡を彩る人物群像にも思いをはせる歴史の旅。

◆**越後村松藩の戊辰戦争**
渡辺好明著 (〒175-0083 東京都板橋区徳丸6-13-11) 2019年1月 B6 354頁 2000円
北越戊辰戦争における村松藩の動向・実態について、『戊辰戦争始末録』をはじめとするさまざまな資料に描かれた人物の動きなどから読み解く。はじめに／村松藩勤王派の台頭と村松七士／開戦まで／北越戊辰戦争／堀直賀の村松撤退と堀貞次郎の擁立／会津追討／戦後処理／あとがき

◆**上越の史跡と人物**
花ヶ前盛明著 上越タイムス社 (〒943-0823 新潟県上越市高土町1-1-6 TEL025-525-6666) 2019年3月 B6 397頁 1900円
1999年8月から2001年12月まで、125回にわたり『上越タイムス』に連載された「上越の史跡と人物」をまとめる(初版2002年11月)。上越地方22市町村に残る歴史の足跡を、越後一の宮 居多神社宮司である著者がわかりやすく解説する。

◆**立山信仰史研究の緒論点**
米原寛著 桂書房 (〒930-0103 富山県富山市北代3683-11 TEL076-434-4600) 2018年11月 A5 368頁 2500円
開山の概念と時期、信仰景観の変容、立山信仰の基層をなす思想など、立山信仰を多角的に考察する。はしがき／序章 立山信仰の研

究史と考察概要／〔第一部 立山信仰の諸相〕日本人の山岳観と靈山立山、立山の宗教景観の変容と開山、「立山信仰」の基層、立山信仰にみる地獄観と浄土観、立山信仰にみる救済の論理、布橋大灌頂 そのカタチと思想、芦峠寺宗徒の立山信仰観—立山曼荼羅の諸相／〔第二部 加賀藩の宗教政策と宗教村落芦峠寺の様態〕加賀藩の宗教政策と芦峠寺・岩峠寺、近世宗教村落奈芦峠寺の様態、芦峠寺衆徒の立山信仰観／あとがき

◆武儀郡古蹟名勝誌（復刻版）

岐阜縣武儀郡教育会編纂 岐阜県郷土資料研究協議会（〒500-8368 岐阜県岐阜市宇佐4-2-1 岐阜県図書館内 TEL058-275-5111）2019年1月 A5 116頁・口絵30頁
大正5年(1916)5月に刊行された『武儀郡古蹟名勝誌』の復刻版。「大正御即位御大典記念事業」として、武儀郡内にある古蹟と名勝とを小地誌。序(松尾國松)／緒言(近藤蔓雄・廣瀬次郎・船渡正躬・木田恒助・吉田需・大野富之助・山田眞一)

◆2018(第31回)平和のための富士戦争展の記録

「平和のための富士戦争展」の会編・刊（委員長：小長谷保 事務局：加藤善夫）2018年12月 B5 64頁
1988年の第1回開催から31回目を迎えた「平和のための富士戦争展」の記録集。「核のない世界をめざして—あなたの考える平和のつくりかたは？」をテーマに、「世界ヒパクシャ展」とNPO団体による平和のつくりかたを中心に展示する。二〇一八 富士戦争展から(写真・記事)／二〇一八 富士戦争展・展示品一覧／二〇一八 富士戦争展の展示内容から／地域の戦争記録 富士飛行場と中国人強制連行(二) (加藤善夫)／アンケートにみる参観者の声／二〇一八 富士戦争展・実行委員の感想／二〇一八年 活動の記録

◆愛知県史 別編 文化財5 工芸

愛知県史編さん委員会編 愛知県（〒460-8501 愛知県名古屋市中区三の丸3-1-2 自治センター8階 総務部法務文書課史編さん室 TEL052-972-9171）2018年9月 A4 690頁
平成6年度に着手した新『愛知県史』編さん事業の第20回配本。別編文化財の最終巻として、愛知県域における金工・染織・陶磁・近代工芸、石材工芸、木工・竹工・紙工・革工をまとめる。金工／染織／陶磁・近代工芸／石材工芸／木工・竹工・紙工・革工／熱田神宮／徳川美術館／所蔵者索引／愛知県内の指定文化財(工芸)一覧／用語解説

◆愛知県史 通史編4 近世1

愛知県史編さん委員会編 愛知県（同上）2019年3月 A4 760+12頁 5000円＋送料
新『愛知県史』編さん事業の第21回配本。関ヶ原の戦いから宝暦年間(1751～64)までを中心に、愛知県域に関わる歴史を叙述する。時代の概観／第一章 総説／第二章 都市の人々の暮らし／第三章 近世村落のすがた／第四章 近世的支配の成立／第五章 安定した社会秩序への道／第六章 近世的支配の特質／第七章 さまざまな産業の展開と殖産興業／第八章 寺社と信仰／第九章 領主と庶民の文化と教育／索引／付録CD-ROM(電子版)

◆愛知県史 通史編5 近世2

愛知県史編さん委員会編 愛知県（同上）2019年3月 A5 719+9頁 5000円＋送料
平成6年度に着手した新『愛知県史』編さん事業の第21回配本。宝暦年間(1751～64)以降から廃藩置県までの愛知県域に関わる歴史を叙述する。時代の概観／第一章 都市の発展と在郷町／第二章 藩政・家政改革の展開／第三章 交通と流通の展開／第四章 都市文化と地方文化の展開／第五章 地域社会の展開／第六章 幕藩体制の解体へ／第七章 維新期の様相／索引／付録CD-ROM(電子版)

◆愛知県史 通史編8 近代3

愛知県史編さん委員会編 愛知県（同上）2019年3月 A5 823+8頁 5000円＋送料
新『愛知県史』編さん事業の第21回配本。昭和2年(1927)の金融恐慌から敗戦までの愛知県域に関わる歴史を叙述する。恐慌から戦争下の愛知県／第一章 昭和初期の県／第二章 恐慌と経済の軍需化／第三章 都志化の進展と社会運動／第四章 恐慌と農山漁村／第五章 昭和初期の教育と文化／第六章 戦時時の政治と社会／第七章 戦時経済と県民の生活／第八章 戦時下の教育と文化／第九章 戦争末期の愛知県／索引／付録CD-ROM(電子版)

◆三重県の獅子舞 平成に伝わる200の舞服部勝行著（〒512-0902 三重県四日市市小杉町1051）2019年4月 A4 171頁
三重県内各地に伝承されている獅子舞の姿をまとめた写真集。県内198か所の現地調査をもとに、地区や祭礼日、奉納神社等の情報とともに、多彩な三重県の獅子舞を紹介する。『三重県の獅子舞』によせて(櫻井治男)／はじめに／三重県の獅子舞考察(分類、古文書などに見る歴史)／一覧表と分布図(北勢地区、中勢地区、伊勢志摩地区、南勢地区、東紀州地区、伊賀地区)／地区別の獅子舞(北勢地区、中勢地区、伊勢志摩地区、南勢地区、東紀州地区、伊賀地区)／『三重県の獅子舞』を読み終えて(前田憲司)／あとがき

◆図説 明智光秀

柴裕之編著 戎光洋出版（〒102-0083 東京都千代田区麹町1-7 相互半蔵門ビル TEL03-5275-3361）2019年1月 A5 157頁 1800円
最新の研究成果と多数の写真・図版を駆使して「真実」の明智光秀像に迫る。オールカラー版。「真実」の光秀像に迫る一序にかえて／巻頭特集 光秀研究の新展開／才略を尽くし、坂本城主へ／激動の丹波攻めとその経営

／燃えゆく本能寺、逆臣へのみち／光秀を支えた一族と家臣、光秀の伝説と史跡をめぐる／コラム／明智光秀関連年表

◆特別展 幕末明治京都遊覧 銅版画の世界 宇治市歴史資料館編・刊（〒611-0023 京都府宇治市折居台1-1 TEL0774-39-9260）2018年9月 A4 69頁

◆宇治市源氏物語ミュージアムリニューアルオープン記念特別企画展 宇治の名所と旅する光氏

宇治市源氏物語ミュージアム編・刊（同上）2018年9月 A4 11頁
明治150年にちなんで幕末明治に京名所を描いた銅版画を一堂に紹介する宇治市歴史資料館の特別展と、『源氏物語』を翻案した『修紫田舎源氏』の足利光氏の錦絵を中心とした宇治市源氏物語ミュージアムリニューアルオープン記念特別企画展の展示解説図録書。〔幕末明治京都遊覧〕京の銅版画／幕末の銅版画／明治の銅版画〔宇治の名所と旅する光氏〕江戸時代の『源氏物語』の受容と『修紫田舎源氏』／『修紫田舎源氏』と旅する光氏

◆第26回企画展 行基と山崎院

大山崎町歴史資料館編・刊（〒618-0071 京都府乙訓郡大山崎町大山崎竜光3 大山崎ふるさとセンター内 TEL075-952-6288）2018年10月 A4 40頁
大山崎町歴史資料館の平成30年第26回企画展の図録。行基生誕1350年を迎え、山崎橋の架橋や山崎院の建立など、大山崎をはじめとする近畿地方における行基の活動を、さまざまな文化財を通して振り返る。図録 行基と山崎院／解説／資料解説／展示品目録

◆平成29年度京都府域の文化資源に関する共同研究会報告書(南山城編)

京都府立京都学・歴彩館京都学推進課編 京都府立京都学・歴彩館（〒606-0823 京都市

左京区下鴨半木町1-29 TEL075-723-4835)

2018年9月 A4 162頁

『京都府域の文化資源に関する共同研究会報告書』平成27年度 洛北編(2016年11月)、平成28年度 丹波編(2017年9月)に続く文化資源発掘プロジェクト「南山城の文化資源」研究プロジェクトの報告書。南山城地域の文化的景観の基層(上杉和央)／木津川の自然と利用の文化(竹門康弘)／名勝地・笠置の観光をめぐる環境変遷と将来展望(香川貴志)／不整形プラン都城案による恭仁京復元(山田邦和)／古代南山城の宗教的環境(佐伯俊源)／南山城のお茶の遺伝的特質の解明(久保中央)／「宇治製茶」製法の誕生と普及一近世南山城茶の江戸販売を手がかりに(島津良子)

◆日本古代伏流文化攷

寺本健三著・刊 2019年4月 A5 248頁

江戸狩野研究のほか、『風水説研究』(2016年5月)を出版するなど幅広い研究活動をつづける著者のもうひとつの研究テーマ、日本古代伏流文化に関する三十年来の論考をまとめる。はじめに／聖山一須弥山石と亀石／亀と古代文化／聖山と塔一頭塔のシンボリズム／飛鳥石人考一散楽の渡来／度羅楽考一女楽伝承／人を馬にする話一口承類話の研究／白馬を「あおむま」ということ一馬の毛並と五行説／安倍晴明覚書／射覆考一牛形の神々の系譜／擬宝珠考一竜神と珠／室生寺伝帝釈天曼荼羅について一帝釈天信仰の系譜／あとがき／付録 須弥山石と亀石

◆舞鶴の地域連携と世代間交流

井上奥本家文書調査報告

京都府立大学文化遺産叢書16

東昇編 京都府立大学文学部歴史学科 (〒606-8522 京都市左京区下鴨半木町1-5 TEL075-703-5259) 2019年3月 A4 160頁

京都府立大学文学部歴史学科による地域の歴史や文化遺産についての研究成果報告第16集。

〔第Ⅰ部 舞鶴の地域連携、世代間交流と文化遺産活用〕舞鶴の地域連携と文化遺産活用(東昇)、舞鶴市郷土資料館出張展示「鎮守府と中舞鶴」(小室智子)、京都府立東舞鶴高校と京都府立大学の連携授業「古文書とフィールドワークを通してみる舞鶴の歴史」(廣瀬邦彦)、東舞鶴高校における高大連携(水野拓也)、舞鶴地方史研究会の活動(小室智子)、多門院地区の世代を超えた連携と古文書を活かした取組(新谷一幸)、舞鶴歴史文化基本構想の策定(松本達也)、博物館の地域の連携(長瀬陸)、「地域史料研究会やわた」の活動(竹中友里代)／〔第Ⅱ部 井上奥本家文書調査報告〕井上奥本家文書解題(東昇)、井上奥本家文書目録、井上奥本による明治42年「余部町史稿」編纂(東昇)、翻刻 作方年中行事・山論・献立・日露戦争

◆大坂除痘館の引札と摺りもの 緒方洪庵記念財団 除痘館記念資料室開設10周年記念 緒方洪庵記念財団 除痘館記念資料室編・刊 (〒541-0042 大阪市中央区今橋3-2-17 TEL06-6231-3257) 2018年12月 A5 59頁

除痘館記念資料室の10周年を記念した資料集。当時の引札・摺りものなど26点の資料を収録する。はじめに一大坂除痘館の引札・摺りものへのいざない(緒方高志)／引札・摺りものへのいざない／天然痘(痘瘡)と大坂除痘館関係略年表／除痘館を支えた人々／「改正増補 国寶大坂全図」(文久三年版)〈部分〉／収録資料目録／論考 大坂除痘館の引札と摺りもの(浅井允品)、大坂除痘館の分苗所記載「引札」について(古西義麿)、大坂除痘館の種痘啓発錦絵について(米田該典)、大坂除痘館のうつりかわり(川上潤)／あとがき(浅井允品)

◆河内長野市所在 石見川墓地調査報告書

奥河内石造物研究会編 河内長野市郷土研究会 (〒586-0032 大阪府河内長野市栄町21-11 椋本進方 TEL0721-52-5593) 2018年9月

A4 47頁

河内長野市石見川地区の両墓制墓地についての現地・聞取調査報告書。調査の経緯と経過(椋本進・海邊博史)／位置と環境(山川綾子)／石見川石塔墓地(詣り墓)の調査 宝篋印塔(海邊博史)、五輪塔(渡邊ゆきの・藤井佐由里・藤井佐由里・武井成実)、反花座(山川綾子)、一石五輪塔(森山由香里)、石仏(渡邊ゆきの)／石見川埋墓墓地の調査 五輪塔(税田脩介)、一石五輪塔(森山由香里)、笠(藤井佐由里)、石仏(堤千畝)／石見川地区葬送儀礼の民俗調査 埋墓墓地の墓上施設(森山由香里)、社会組織(吉村君子)、墓地の現状(吉村君子)、葬送儀礼(吉村君子)、盆行事(吉村君子)、現存史料の調査(阿弥陀如来来迎図および十三仏曼荼羅(吉村君子)、念仏講元帳(森山由香里)／まとめ 石造物調査について(海邊博史)、民俗調査について(吉村君子)

◆楠木正成関係史料(上) 大阪市史史料85 大阪市史編纂所編 大阪市史料調査会 (〒550-0014 大阪市西区北堀江4-3-2 大阪府立中央図書館内 TEL06-6539-3333) 2017年8月 A5 128+2頁 1800円

楠木正成・正行・正儀に關係する史料(本人の発給文書、古記録、軍記物等)を、既刊の刊行物や、一部所蔵機関の有する史料から採録し、それぞれに網文を付け、編年順に配列して収録。上巻(2017年8月)に続き、正儀に関する史料と上巻の補遺を収める。第三章 楠木正儀(正儀と南朝、北朝への帰順・南朝への帰参)／補遺／解説(生駒孝臣)／史料一覧

◆明治大正大阪市史編纂参考談話集

大阪市史史料86

大阪市史編纂所編 大阪市史料調査会(同上) 2017年8月 A5 148頁 1800円
『明治大正大阪市史』編纂時に各方面に取材した記録と、当時行われた明治時代に関わる講演会の速記録等を収録。明治大正大阪市史

編纂参考談話集／昭和四年度聴取記録／明治年間大阪郷土史講演会講演集／御大典奉祝記念講演会誌 挨拶、王政復古と御親政行幸(法学博士尾佐竹猛)／市史談話会速記録(武田氏、宮本氏、近藤氏、庄司氏、江崎氏、小林氏、菅野氏、江頭氏、松好氏)／解題

◆竜王山・忍頂寺の調査Ⅰ一竜王山プロジェクト報告Ⅰ 古代仏都圏の研究Ⅰ

京都府立大学文学部考古学研究室編・刊 (〒606-8522 京都市左京区下鴨半木町1-5)

2019年3月 A4 50頁

「竜王山プロジェクトに係る連携協力に関する協定書」をふまえて行われた大阪府茨木市忍頂寺および竜王山の考古学調査の報告書。調査の目的と経緯(菱田哲郎)／周辺環境と歴史的背景 竜王山の環境(清水邦彦)、史料からみた忍頂寺の沿革(岡島陽子)／測量調査の成果(岡田大雄・岩元亮祐・田口裕貴・鈴木康大・稲本悠一)／発掘調査の成果(新尺雅弘・陰地祐輝・川崎雄一郎・上井佐紀・近藤史昭)／まとめ 考古学からみた竜王山と古代忍頂寺(菱田哲郎)、古代山林寺院としての忍頂寺(吉川真司)

◆講座・古代王権の興亡2

百姓制の成立一十七条憲法と允恭定姓伝承 妙見山麓遺跡調査会紀要28

神崎勝著 妙見山麓遺跡調査会 (〒679-1214 兵庫県多可郡多可町加美区の場294 TEL0795-35-0555) 2018年10月 A4 16頁

妙見山麓遺跡調査会主催の講座「古代王権の興亡」第2回の記録。「百姓」の概念と史料／十七条憲法と百姓(第一～三条=総論、第四条=礼的秩序の百姓への拡大、第五条=百姓之訴の公正迅速な処理、第十二条=百姓への私的譜斂の停止、第十六条=使民の基本)／連称中にみえる「百姓」／允恭定姓伝承の分析

◆講座『出雲風土記』出雲郡(全)

一語釈・注釈 妙見山麓遺跡調査会紀要29
神崎勝著 妙見山麓遺跡調査会（同上）2018
年11月 A4 31頁
妙見山麓遺跡調査会主催の風土記講座『出雲
風土記』出雲郡の記録。出雲郡の総記／出雲
郡号、郡・郷／寺院／神社／山／川／池・江
／海辺／通道／郡司／参考資料 島根県出雲
国簸川郡図

◆講座・古代王権の興亡3

大化の改新 妙見山麓遺跡調査会紀要30
神崎勝著 妙見山麓遺跡調査会（同上）2018
年11月 A4 33頁
左右大臣への超詔（大化元年七月）／東国等
司詔Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ（大化元年八月／大化二年三
月）／僧尼寺院対策の詔（大化元年八月）／鐘
匱之詔Ⅰ・Ⅱ（大化元年八月／大化二年二
月）／録民元数の詔（大化元年九月）／大化改
新詔（大化二年正月）／皇太子奏請文（大化二
年三月）／大化薄葬令（大化二年三月）／旧俗
改廃之詔（大化二年三月）／部民廃止詔Ⅰ・Ⅱ
（大化二年八月／大化三年四月）

◆新・ムラの生活史Ⅱ

香寺町史研究室編（〒679-2131 兵庫県姫路
市香寺町犬飼464-1 犬飼公民館別館 TEL079
-280-6665）香寺歴史研究会刊 2019年3月
B5 148頁
旧香寺町民を中心とした『『村の記憶』を書
き継ぐ会』（2017年5月）による新しい『村の
記憶』Ⅰ（2018年2月）につづく第2集。
まえがき（大槻守）／〔第一部 新・ムラの生
活史〕地域の文化財 行重・狐塚古墳につ
いて（岩田博美）、二之宮神社の懸仏（高田忠
義）、村明細帳にみる行重（小川啓二）、古文
書の整理と保存一岩田二郎家文書の場合（尾
崎恭子）／ムラの暮らし 行重集落内の防火
用水（神崎修）、ツツノ池と井戸（駒田新安）／
戦後の地域活動 香呂の青年団（市場正行）、
中仁野壮年会（高田雅勝）／商工業と農業 犬

飼の商工業発展の推移（金井静雄）、犬飼地区
の圃場整備事業（金沢忠義）、営農組合の設立
と圃場の管理（神崎修）／ムラと戦争 土師の
軍事関係記録一ふるさとと戦争（小原康彦）、
犬飼の太平洋戦争（金井貞文）
〔第二部 山の地名調査〕中村、北恒屋、中
寺、土師、溝口、香呂、行重、矢田部、相坂、
田野、須加院、犬飼、付 中学生への山につ
いてのアンケート集計表／あとがき

◆永野鹿鳴荘ガラス乾板資料調査概報（1）（2）
（3） 私立大学研究ブランディング事業
『帝塚山プラットホーム』の構築による学
際的『奈良学』研究の推進
帝塚山大学奈良学総合文化研究所編・刊（〒
630-8501 奈良市帝塚山7-7-1 TEL0742-48-88
42）2019年3月 A4 （1）47頁・（2）55頁・
（3）55頁

永野太造氏（1922～1990）撮影による「永野鹿
鳴荘」名でのガラス乾板資料（永野太造写真真
資料、総6934枚）の調査概報。帝塚山大学に
寄贈された写真の撮影対象や乾板の状態、硫
酸紙への書き込みなどの基本データの整理を
通して、帝室博物館（奈良国立博物館）に隣接
した奈良市登大路町にて茶店を営み、併せて
仏教美術関連書籍の出版、仏像写真・絵葉書
の販売も行っていた永野太造氏の活動や業績
を明らかにする。序言（鷺森浩幸）

◆『日出新聞』奈良県関係記事Ⅳ

奈良県同和問題関係史料19
奈良県立同和問題関係史料センター編・刊
（〒630-8133 奈良県奈良市大安寺1-23-1 TEL
0742-64-1488）2019年3月 A5 157頁
奈良県同和問題関係史料16『『日出新聞』奈
良県関係記事Ⅰ』（2015年3月）、同17『同Ⅱ』
（2016年3月）、同18『同Ⅲ』（2017年3月）につ
づき、現在の『京都新聞』の前身である『日
出新聞』（明治18年〈1885〉4月10日創刊、同30
年7月1日『京都日出新聞』改題）から、明治

23年1月から同年12月までの奈良県に関する
記事を翻刻・収録する。

◆坂出市史 資料補遺 古代・中世篇

坂出市史編さん所編（〒762-0043 香川県坂
出市寿町1-3-38 TEL0877-44-4044）坂出市
2018年11月 A4 154頁

市制施行10周年記念『坂出市史』と市制40周
年記念事業による年表編・資料編をうけて平
成25年度から始まった『坂出市史』通史編の
編纂事業の一環として、墨書土器や木簡をは
じめ戦国時代の終わりに至るまでの古文書・
古記録など、讃岐国府の置かれた坂出の古代
・中世史を物語る文字資料（古代篇112点、中
世篇230点）を収録する。古代篇 Ⅰ墨書・刻
書等遺物、Ⅱ木簡、Ⅲ記録・編さん資料／中
世篇 Ⅰ古文書・古記録等、Ⅱ石造物の銘文、
Ⅲ崇徳院・白峯寺関連、Ⅳ塩飽島関連、Ⅴ大
坂城築城塩飽産石材関係、Ⅵ棟札等

◆坂出市史 近世資料篇（その一）

坂出市史編さん所編（同上）坂出市 2019
年3月 A4 48頁

市制施行10周年記念『坂出市史』と市制40周
年記念事業による年表編・資料編二冊（昭和
63年）をうけて平成25年度から始まった『坂
出市史』通史編の編纂事業にともなう補遺資
料集。『古代・中世篇』（2018年11月）につづ
き、近世資料2点を収録する。『永代帳』壬
子嘉永五歳正月吉良日／『阿野郡北坂出村御
鷹方止宿并支度覚帳』／解題

◆さかいで塩物語

文化史さかいでシリーズⅤ
坂出市史編さん委員会編 坂出市（同上）
2019年2月 A4 30頁
江戸時代の久米栄左衛門通賢による坂出式塩
田で知られる坂出市の製塩の歴史について、
坂出市域の原始・古代・中世の製塩遺跡を網
羅的に取り上げながら明らかにする。万葉集
と坂出の塩／坂出市内の製塩遺跡／網の浦は

どこか？／塩と私たちの生活／塩づくりの方
法／阿野郡の熬塩／塩の流通／長屋王邸に運
ばれた坂出の塩／菅原道真が見た塩づくりの
民／鎌倉時代の塩づくり／入浜塩田への序章
／掲載資料（図版等）一覧

◆沖縄県史 図説編 前近代

沖縄県教育庁文化財課史料編集班編（〒901-
1105 沖縄県南風原町新川148-3 沖縄県公
文書館内 TEL098-888-3939）沖縄県教育委員
会刊 2019年3月 A4 322頁 非売品
新沖縄県史刊行計画（第3次）に基づく『沖縄
県史 図説編』の2冊目。先史時代から近世
までの琉球列島の歴史をオールカラーでわか
りやすく紹介する。総説／Ⅰ琉球史の時代像
／Ⅱ図やモノでみる多様な琉球史／年表／
付録（CD-ROM）

◆沖縄の宗教・葬送儀礼・戦没者慰霊

京都府立大学文化遺産叢書15
上杉和央編 京都府立大学文学部歴史学科
（〒606-8522 京都市左京区下鴨半木町1-5
TEL075-703-5259）2019年3月 A4 161頁
京都府立大学文学部歴史学科による地域の歴
史や文化遺産についての研究成果報告第15集。
琉球・沖縄仏教研究史について（川瀬貴也）／
日琉関係と禅僧に関する一試論（丸山貴久）／
近世琉球における異国漂着人の遺体処理（稲
穂将士）／明治三四年尚泰の葬儀と旧琉球王
国（藤本仁文）／尚典の葬送について（伊集守
造・鈴木悠）／沖縄戦戦没者の葬法をめぐつ
て一沖縄戦証言集を中心に（井口学）／復帰前
沖縄の南洋群島引揚者による「慰霊墓参団」
派遣問題（浜井和史）／慰霊の記憶の継承にお
ける「場」と交流のしくみ一「沖縄京都の塔」
から（奥谷三穂）／糸満市旧兼城村域の慰霊碑
（上杉和央）／座間味村の慰霊史に関する調査
ノート（上杉和央）／中城村津覇の獅子舞につ
いて（大井雅晴）

地方史情報 139 2019年(令和元年)9月 発行 <http://www.iwata-shoin.co.jp>
定価0円(送料90円) 年間購読料 税込1000円(送料として) 振替口座00100-2-564137
発行所：岩田書院 〒157-0062 東京都世田谷区南烏山4-25-6-103 TEL03-3326-3757